

空取扱トシテ差出シタルモノト認メラルルモノハ取扱規程第十條ノ趣旨ニヨリ便宜航空郵便物トシテ取扱フコト

六、各局ニ於テハ豫メ自局ヲ中心トセル航空郵便物結束關係ヲ考究シ差出日時ノ如何ニヨリ航空取扱ノ效果ナシト認メラルルモノハ引受ノ際差出人ニ注意スルコト

七、規則第三條及同第八條ニ該當スル郵便物ヲ引受局ニ於テ發見シタルトキハ機宜ノ方法ニヨリ成ルヘク差出人ニ注意スルコト但シ結束關係ニ依リ遲達トナルモノハ此ノ限ニアラス

八、郵便取扱所ニ於テハ航空郵便物ノ引受ヲ爲ササルコト

遞送ニ關スル事項

一、一般局及係員ニ於テ引受ケタル航空郵便物ニシテ規程第十三條ニ依リ航空郵便受渡局ニ集中スルトキハ著シク遞送順路ヲ失シ遲延スルモノハ通常ノ方法ニ依リ遞送スルコト

二、航空郵便受渡局ニ於テハ航空郵便線路タルト其ノ他ノ郵便線路タルトヲ問ハス速達ノ線路ヲ選ヒ遞送スヘキハ勿論ナルモ航空郵便線路ニ依ルモ其ノ他ノ郵便線路ニ依ルモ著シキ遲速ノ差ナシト認メラルルモノハ成ルヘク航空郵便線路ニ依リ遞送スルコト

三、無集配局ニ於テ規程第三十四條ノ場合ノ航空郵便行囊ノ送付ヲ受ケタル場合ハ適宜ノ

領收證ヲ作製シ之ト引替ニ郵便物ヲ受取り直ニ便宜ノ方法ニ依リ自局ノ集配受持局ニ之ヲ送付スルコト此ノ場合ニ於ケル人夫賃等ハ當該集配局ニ於テ之ヲ支拂ヒ臨時遞送費トシテ請求スルコト

四、航空郵便受渡局ニ於テ航空郵便線路ノ事故其ノ他ノ事由ニ依リ他ノ航空郵便受渡局ニ名宛シタル締切行囊ノ送付ヲ受ケタル場合ニハ航空郵便線路以外ノ線路ノミニ依リ遞送スルヲ著シク速達スト認メタルモノハ便宜之ヲ自局宛行囊ト看做シ開披シ通常ノ方法ニ依リ遞送シ直ニ其ノ旨該行囊ノ差立局及所轄遞信局ニ報告スルコト

五、粉來航空郵便物ニハ日附印ノ押捺ヲ特ニ勵行スルコト

六、削除

其ノ他

一、規程第二條ノ航空取扱ニ依ルヲ利便トスル主要地域ハ成ルヘク小地域ヲ避ケ大地域ヲ舉クルコト例ヘハ大阪、京都、神戸方面又ハ九州地方、四國地方等ト爲スカ如シ

二、規程第三條ノ附近主要局ハ受渡局所在地及其ノ近郊並近縣ニアル一、二等集配局ニシテ航空郵便ノ利用關係密接ナルモノヲ指スモノナルコト

三、受渡局ニ於ケル差立航空郵便物數及航空料金ノ調査ハ郵便物運送受命者ニ支拂フヘキ

運送料ノ基礎トナルモノニ付最モ正確ヲ期スルハ勿論規程第三十四條ニヨリ不時著陸等航空事故ニ依リ他ノ受渡局差立ノ航空郵便物ヲ繼越スル場合等ニ於テ重複調査トナラサル様特ニ注意スルコト

○航空郵便實施後ノ狀況ニ依レハ航空郵便物ニシテ通常ノ遞送方法ニ依ルモノ比較的多數アルヤニ認メラレ候處航空郵便物ヲ航空遞送スルト否トハ之カ利用獎勵上ニ及ホス影響尠カラサルニ付結束スハキ豫定ノ航空便カ休止スルコト豫メ判明セル場合ハ鐵道遞送ト爲スノ外ナキモ然ラサル場合ニ於テハ甚シク遲延トナラサル限リ當分ノ内可成航空便ニ結束セシムル様配意アレ(昭和四、六、郵業五五二、東京等)

●選舉無料郵便

今般省令第六十七號及公達第八百九號ヲ以テ選舉無料郵便規則及同取扱規程中夫々改正相成候處右ハ衆議院議員選舉法第四百十條第一項並同法施行令第七十三條及第七十四條ノ改正ニ伴ヒ之カ關係規定ニ夫々改正ヲ加フルト共ニ右以外ノ事項ハ付テモ相當改正ヲ加ヘ次ノ總選舉ヨリ施行セラルルコトトナリタル次第ニ付キ各局ニ於テハ豫メ改正規定ノ熟讀研究ニ努メ之カ實行ニ當リテハ萬遺漏ナキヲ期セラレ度左ニ改正要點並處理上ノ注意要項ヲ摘記ス(昭和九、一一、郵業八七三、各)

追而大正十五年二月三日郵業第一〇二六號通牒並從前ノ例規ニシテ改正規定及本通牒ニ牴觸スルモノハ昭和九年十一月遞信省令第六十七號選舉無料郵便規則中改正規則及公達第八百九號選舉無料郵便物特別取扱規程中改正規程施行ト同時ニ總テ自然消滅スヘキ儀ト了知相成度

一、改正ノ要點

(一) 選舉無料郵便規則中

(イ) 第一條第一項ノ選舉無料郵便物差出ノ届書及第三條第一項ノ差出人異動ノ届書ノ選舉事務長ノ連署ハ之ヲ廢止シタルコト

選舉無料郵便

選舉無料郵便

一六八

- (ロ) 第一條第一項ノ届書ニ記載スヘキ郵便物ノ種類及其ノ通數ハ之ヲ差出期日別ニ記載セシムコト
- (ハ) 第一條第一項及第三條第一項ノ届書ニ添付スヘキ證明文書ハ差出人ノ資格ニ應シ差異ヲ設ケタルコト(第一條第二項、第三條第一項後段)
- (ニ) 第一條第一項第二號ノ事項ノ變更ハ原則トシテ差出期日ノ前日迄ニ文書ヲ以テ之ヲ差出郵便官署ニ届出ツルコトヲ要スルモ其ノ差出期日カ選舉期日ノ前六日以内ナルトキハ選舉法第六十七條第三項ノ事由ニ該當スルト否トヲ問ハス總テ差出當日ニテモ之カ届出ヲ爲シ得ルコト(第二條第一項)
- (ホ) 第二條第二項後段ノ場合ニ於テハ第八條ノ規定ニ依ル郵送票ヲ以テ届書ニ代ヘ得ルコト(第二條第二項)
- (ヘ) 第七條第一項但書ノ規定ニ依リ小區域ニ分チ差出スコトノ承認ヲ受ケ其ノ一部ヲ差出シタル後差出人ニ異動ヲ生シタル場合ニ於テ新ニ差出人ト爲リタル者ハ其ノ未タ差出サレサル小區域ヲ通シ同文タルトキハ其ノ殘存小區域ニ對シテモ差出シ得ルニ至リタルコト(第六條但書)
- (ト) 小區域ニ分チ各區域毎ニ差出スコトノ承認ハ市ニ限り町村ニ付テハ之ヲ廢止シタルコト(第七條)

(二) 選舉無料郵便物特別取扱規程中

- (イ) 選舉無料郵便規則第一條乃至第三條ノ届書ヲ受理シタル場合ハ直ニ其ノ旨所轄遞信局ニ通報スルコトトシ謄本ノ調製ハ之ヲ廢止シタルコト尙通報ノ方法並通報スヘキ事項ニ關シテハ總テ遞信局長ノ指示ニ從フコト
- (ロ) 選舉無料郵便物ノ郵送票ニハ取扱者印ノ押捺ヲ要セサルコト(第五條)
- (ハ) 選舉無料郵便物ハ原則トシテ配達局區分トシ唯二以上ノ郵便區ニ分屬スル市町村ニ達スルモノハ遞信局長ノ指定スル選舉無料郵便物繼越局ニ區分スルコトヲ得ルコトトシ受渡局區分ハ全部之ヲ廢止シタルコト(第六條第一項)
- (ニ) 配達局宛締切ト爲スモノニ對シテハ把束記票紙ノ添附ヲ省略スルモ支ナキコト(第六條第二項)
- (ホ) 選舉無料郵便物ノミヲ納メタル大囊行ノ囊行記票ニハ日附印ノ押捺ヲ要スルコトトナリタルコト(第七條第三項)
- (ヘ) 第六條ノ區分方ニ關スルモノノ外第七條ノ行囊納入方ニ關シテモ遞信局長ニ於テ特別ノ取扱方ヲ指定シ得ルノ途ヲ開キタルコト(第八條)
- (ト) 配達又ハ交付シ能ハサル郵便物ハ引受局ニ返送スヘキコトヲ規定シタルコト(第九條 選舉無料郵便)

一六九

選舉無料郵便

一七〇

條第一項)

(チ) 附録様式ニ議員候補者氏名及選舉人數ヲ記入スヘキ欄ヲ設ケタルコト

二、處理上ノ注意事項

(一) 選舉無料郵便物差出届出ニ關スル事項

(イ) 届書ニ記載スヘキ郵便物ノ通數ハ種類別且差出期日別ニ記入セシムルコトヲ要スルモ其ノ通數ハ概數ニテ支ナキコト從テ通數ニ著シキ變更ナキ場合ハ特ニ變更届書ヲ徵スルニ及ハサルコト(規則第一條第一項、第二條第二項)

(ロ) 規則第一條第二項及同第三條第一項ニ依リ届書ニ添附スヘキ證明文書ノ内推薦届出者議員候補者ノ承諾ヲ得シテ選舉事務長ノ選任ヲ爲シタルコトヲ證スヘキ文書ハ當該推薦届出者ノ證明ヲ(若シ推薦届出者ノ證明ヲ得セシムルコト不可能ナルトキハ議員候補者又ハ警察官署ノ證明ヲ)得セシメ其ノ他ハ成ルヘク警察官署ノ證明ヲ得セシムルコト但シ届書末尾ニ證明文ヲ附記シ添附ニ代フルモ支ナキコト

(ハ) 規則第二條第三項ニ依リ郵便票ヲ以テ届書ニ代フル場合ニ於テハ差出人ヲシテ必ラス記名捺印セシムルコト

(ニ) 委任狀ヲ添附シタル代理届ハ之ヲ認ムルモ支ナキコト(第一條乃至第三條)

(ホ) 差出届書等ノ受理ハ郵便受付時間ニ依ルヘキコト

(二) 選舉無料郵便物ニ關スル事項

(イ) 無封ノ書狀ニハ差出人ノ通信文ノ外包括シテ當該書狀ノ内容ヲ爲シ且選舉運動ノ爲ニスルモノナリト認メラル、限リ印刷物、寫眞、名刺、他人ノ推薦狀等モ同封シ支ナキコト但シ此ノ場合印刷物、名刺ノ類ヲ封入シタルモノト然ラサルモノ又其ノ枚數ノ異ナルモノハ何レモ同文ト認ムルヲ得サルコト(施行令第七三條、規則第六條)

(ロ) 選舉無料郵便物タル無封ノ書狀ハ郵便規則第十四條ノ二ノ適用ヲ受クヘキモノナルヲ以テ全部印刷シタルモノニ限ルコト

(ハ) 私製葉書カ郵便規則第十八條ノ二以下ニ規定スル條件ニ適合セサル場合ト雖當該議員候補者ノ選舉運動ノ爲ニスル通信文ト認メ得ル限リ無封ノ書狀トシテ引受支ナキコト此ノ場合ニ於テハ届書中郵便物ノ種類ノ變更届出ナキモ届書該當欄ニ其ノ旨附記ノ上便宜其ノ儘引受ケ支ナキコト(規則第一條及第二條關係)

(ニ) 選舉無料郵便物ノ外部記載事項ニ關シ無封ノ書狀ハ郵便規則第十條、私製葉書ハ同第十五條ノ制限ヲ受クヘキモノナルヲ以テ候補者ノ寫眞其ノ他標語ノ類ハ之ヲ記載シ得サルコト(郵便規則第一四條)

選舉無料郵便

一七一

選舉無料郵便

(ホ) 選舉無料郵便物ノ外部ニハ差出人ノ宿所氏名ヲ記載セサルモ支ナキモ成ルヘク記載セシムル様取計フコト

(ヘ) 規則第十條ニ所謂規定ノ條件ヲ具備セサル郵便物トハ凡ソ左記ノモノヲ指ス

- (1) 選舉無料郵便物ヲ差出シ得サル者又ハ資格ヲ喪失シタル者ヨリ差出シタルモノ
- (2) 選舉人以外ノ者ニ宛テタルモノ
- (3) 選舉區外ニ在ル選舉人ニ宛テタルモノ
- (4) 一部ノ再選舉ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ關係選舉人以外ノ者ニ宛テタルモノ
- (5) 規則第一條ニ依リ届出テタル議員候補者以外ノ者ノ爲ニスルモノ
- (6) 選舉人一人ニ付一通ヲ超ヘ差出シタルモノ
- (7) 受取人以外ノ者ニ宛テタル文書ヲ封入シタルモノ
- (8) 明ニ選舉運動ノ爲ニスルモノニ非スト認メラルモノ例ヘハ廣告ノ如キモノ
- (9) 無封書狀ニシテ規定ノ重量ヲ超過シタルモノ

(三) 選舉無料郵便物ノ取扱ニ關スル事項

(イ) 立候補ハ原則トシテ選舉期日ノ前七日迄ナルモ例外トシテ選舉期日ノ前二日迄ニ爲スコトアリ從テ選舉期日ノ間際ニ至リテ立候補スルモノモアルヘク此ノ場合ニ於テ

(ロ) ハ選舉期日迄ノ間隔極メテ短キヲ以テ之等候補者ヨリ差出ノ郵便物ハ特ニ留意スルコト(選舉法第六七條)

(ハ) 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ選舉期日ニ投票ヲ行フコトヲ得サリシ爲又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アル爲選舉法第三十七條ニ依リ再投票ヲ行フ場合ニ於テハ最初ノ投票期日迄ニ差出サレサリ市町村内ニ對シテノミ差出シ得ルモノナルコト引受ノ際當該郵便物ノ表面ニ規則第四條ニ依ル表示ナキモノハ差出人ニ相當注意スルコト

(ニ) 無封書狀(紙質強靱)ヲ封筒ニ容レスニツ折(往復葉書ノ如ク)又ハ三ツ折(徵稅令書ノ如ク)ニシテ差出サムトスル者アルトキハ各隅ヲ糊代ケト爲スカ又ハ「ゴム」紐等ヲ以テ結束セシムルコト

(ホ) 市町村毎ニ同文タルコトヲ嚴ニ確ムルコト(規則第六條)

(ヘ) 選舉無料郵便物差出ノ場合ニ於テ其ノ内容カ明ニ前回差出ノモノト同一ナリト認メラルトキハ見本ノ提出ハ之ヲ省略スルモ差支ナキコト但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨郵送票ノ餘白ニ附記シ置クコト(規則第八條、規程第五條)

(ト) 郵送票ト見本トハ分離セサル様緊綴シ置クコト尙見本ト郵便物トノ照査ハ事務ニ妨選舉無料郵便

選舉無料郵便

一七四

- (チ) ケナキ限り可及的多數ニ就キ試ミルコト(規程第四條第五條)
- (リ) 道順組立等ニ際シ選舉無料郵便物ノ受取人カ選舉權者ニ非サルコトヲ發見セルトキハ規則第十條ニ依リ取扱フコト
- (ニ) 選舉無料郵便物ニ付テハ當該選舉區外へ轉送ヲ認メラレサルニ付配達不能ノモノト同様其ノ儘差出人ニ還付スルコト
- (イ) 差出人ニ還付スヘキ選舉無料郵便物ニシテ差出人ノ宿所カ選舉區外ニ在ルトキト雖便宜選舉區内ノ當該議員候補者ノ選舉事務所又ハ宿所ニ於テ還付取計フコト(規程第九條)
- (ロ) 鐵道並通常道路ニ於ケル締切ト爲ササル行囊ニ對シテハ選舉無料郵便物ヲ納入シタル場合ト雖「選舉」ノ文字ヲ朱書セル行囊記票ヲ附スルノ要ナキコト(規程第七條第二項)
- (ヲ) 紛來、轉送ニ依ル少數ノ郵便物ト雖別把束トシ其ノ記票紙ニ「選舉」ノ文字ヲ朱書スヘキコト(規程第六條)
- (四) 其ノ他ノ事項
- (イ) 總選舉ハ議會解散セラレサル限り四年ニ一回ナルモ補闕選舉ハ隨時行ハレ其ノ都度

多數ノ選舉關係郵便物ノ差出シアルヘキニ付豫メ關係市町村長ト打合セ可成自局郵便區内ノ選舉人名簿寫ヲ作成シ配達區域毎ニ分類シ置ク等之ニ對應スルノ措置ヲ講シ置クコト

- (ロ) 規則第七條但書ノ場合ニ於テハ左記ニ依ルコト
 - (1) 相當書面ヲ徴シ取扱上支ナシト認メタルトキハ承認スルコト
 - (2) 分割スヘキ區域ハ區畫ノ明確ナルモノニ依リ分タシムルコト
 - (3) 各區域毎ノ差出ハ日ヲ異ニスルモ支ナキコト
- (ハ) 小區域ニ分割承認ノ場合承認官署ニ於テハ自局區内ノ狀況ニハ通シ居ルト雖他局區内分割可能ノ市ノ區畫ニハ通シ居ラサルヲ以テ遞信局及關係市ノ集配受持局ハ豫メ適當ト認ムル分割方法ヲ考究シ差出郵便官署ニ於ケル承認ノ便宜ニ資スルコト
- (ニ) 差出届出ヲ受ケタル郵便官署ニ於テハ豫メ選舉事務所ト連絡協調シ事務運行ノ圓滑ヲ計ルコト
- (ホ) 受取人ノ宿所氏名ノ記載方不完全ナルトキハ郵便物ノ遲延又ハ配達不能トナルヘキ惧アル旨ヲ說示シ可及的ニ完記セシメ尙同居者ニ宛テタルモノハ必ラス肩書ヲ附セシムル様努ムルコト

選舉無料郵便

一七五

選舉無料郵便

一七六

(一) 郵送票ニ選舉人數欄ヲ設ケタルハ引受物數監査上ノ利便ヲ考慮シタルニ外ナラサルヲ以テ差出人ニ於テ之カ記入ヲ困難トスル事情アルトキハ便宜引受局ニ於テ記入スル等機宜ノ取扱ヲ爲スコト

○選舉無料郵便物ニ表示スル「選舉」ノ文字ハ朱記セシムヘキモノト誤解セル向アル趣行違ナキ様可然取計アリタシ(昭和三、一、局報一四二三、各通)

○配達不能選舉無料郵便物ヲ差出人肩書ノ地ニ宛返戻スル向アルモ右ハ引受局へ返送スヘキ義トス(昭和三、二、局報第一四三五號、各通)

○昨日局報第一四三五號通牒ノ件配達不能ノ爲差出人へ還付ノ選舉無料郵便物ニシテ差出人宿所カ選舉區外ニ亙ルモノハ便宜選舉區内ノ當該議員候補者選舉事務所又ハ宿所ニ於テ還付方取計ヒ選舉區外へ還付ノ爲遞送セサル趣旨トス(昭和三、二、局報一四一三、各通)

○選舉無料郵便取扱ニ關シ遞信局ノ照會ニ對スル當局回答要領左ノ如ク了知アレ(昭和三、一、郵業九一、各遞)

●選舉無料ニ關スル指令回答

◇選舉無料郵便物受取人

照會 選舉人名簿ニ登録セラルヘキ確定判決アリタルモノニ對シ選舉無料郵便物ヲ差出シ得ルヤ(二、八名古屋)

回答 差出スコトヲ得

照會 受取人肩書氏名一部相違ノモノニシテ受取人ヲ推測シ得ル場合ニ限り配達スヘキヤ否ヤ(二、八名古屋)

回答 正當受取人ナルコト明カナル場合ニ配達スヘキモノトス

照會 再選舉執行地域内ノ選舉人名簿ニ登録セラレアル者カ同一選舉區内ニシテ當該執行地域外ニ轉居セシ場合轉送スヘキヤ(三、一廣島)

回答 轉送スヘキモノトス

照會 選舉人名簿ト選舉無料郵便物ノ名宛ト一致スルモ本人ノ名ト相違スルモノハ配達スルヤ(川村武次正當ナルニ川口武次トアル如シ)(三、二札幌)

回答 選舉人名簿ノ誤記ナルコト明カナル場合ハ其儘取扱支ナシ

選舉無料郵便

一七七

選舉無料郵便

一七八

照會 一選舉區ニ於テ同一人カ甲乙兩村ノ名簿ニ登録セラレタル結果選舉無料郵便カ二通差出サレタルトキノ處理方(三、二札幌)

回答 地方廳ニ付確メ正當名簿ニ登録セラレタル住居ニ宛テタルモノハ選舉無料郵便物トシテ取扱フヘシ

◇選舉無料郵便物ノ内容

照會 特定ノ人ニ對スル通信文ノ性質ヲ有セサル宣言書ノ類ハ有料郵便ニ關シテハ印刷物トシ選舉無料郵便ニ關シテハ便宜無封ノ書狀トシ取扱ヒタシ支障ナキヤ(三、一廣島)

回答 見解ノ通トス

照會 選舉無料郵便ニ名刺ノ添附ヲ認メラレアルハ郵便規則第十四條ノ二ニ對スル特例ナリヤ(三、二名古屋)

回答 特例ニアラス當該書狀ノ内容ノ一部ヲ爲スモノトス

照會 選舉無料郵便物無封ノ書狀中候補者ノ自傳又ハ略歴ノミヲ印刷シタルモノヲ合封シ支ナキヤ(三、二名古屋)

回答 書狀ノ内容ヲ爲スモノト認メラルル場合ハ合封支ナシ

照會 選舉無料郵便物ヲ正當差出人ニ於テ差出ストキハ他人ノ通信文ノミヲ内容トスルモノ

ニテモ支ナキヤ(五、二大阪)

回答 差出人ノ通信文ト同封スルハ支ナキモ他人ノモノノミニテハ不可ナリ

照會 立候補ノ挨拶、第三者ノ推薦文ト共ニ地方政黨結成ニ對スル祝辭ノ寫眞版、其ノ他ノ漫畫及選舉費寄附ノ勧誘ヲ一枚ノ用紙ニ印刷セルモノヲ合裝セルモノハ選舉無料郵便物トシテ支ナキヤ(五、一札幌)

回答 包括シテ選舉運動ノ爲ニスルト認メラル、限り支ナシ

◇選舉無料郵便物ノ外部表示等

照會 選舉無料郵便物ニ「選舉郵便」ト表示シタルモノハ「郵便」ノ二字ヲ抹消セシメ引受クルモノト思料スルモ疑義ニ涉ル貴局議至急回報アレ(五、一札幌)

回答 貴見ノ通ナルモ抹消ヲ困難トスル事情アレハ將來ヲ注意ノ上便宜其ノ儘引受ケ支ナシ

照會 表示スヘキ「選舉」ノ文字ハ慣用語ト看做シ得ルヤ(三、一名古屋)

回答 看做スコトヲ得ス

照會 選舉無料郵便物ニアラサル郵便物ニ「選舉」ノ文字ヲ表示シアル場合成規違反トシテ處理スヘキヤ尙料金ノ貼付シアル場合ト然ラサル場合トハ取扱ヲ異ニスヘキヤ(三、

選舉無料郵便

一七九

選舉無料郵便

一廣島

回答 一般郵便ノ例ニ依リ處理スヘキモノトス

照會 選舉無料郵便物封皮ニ「何々選舉事務所」ト記載シアリ明カニ規則第一條ノ届書ニ記載シアル議員候補者ノ選舉事務所ヨリ差出シタルモノト認め得ラルル場合ニ在リテモ尙届書ニ記載ノ差出人氏名ト一致セサル場合ハ引受クルコトヲ得サルモノナリヤ(三、二東京同名古屋)

回答 郵便物外部ニ差出人氏名ヲ記載スルト否トハ差出人ノ自由ニ屬スル事項ナルヲ以テ「何々事務所」ヲ差出人ノ宿所ト認め得ラルル場合ハ其儘引受支ナシ

照會 選舉無料郵便物封皮裏面ニ左記ノ如ク差出人ノ宿所、資格、氏名ノ外選舉事務所本部所在地ヲモ記載シタルモノヲ其ノ儘引受支ナキヤ(五、一名古屋)

「東京市何區何町何番地

衆議院議員候補者 何

某

選舉事務所本部

長野縣 豊科町 (電話何番)

回答 差出人ノ宿所ト認め其ノ儘引受支ナシ

照會 選舉無料郵便物封皮裏面ニ差出人ノ宿所氏名ヲ記載スルノ外其ノ側ニ「責任者何某」

ト記載シタルモノヲ其ノ儘引受支ナキヤ(五、一東京)

回答 既ニ印刷濟等ニシテ抹消ヲ困難トスル事情アラハ將來ヲ注意ノ上便宜其ノ儘引受支ナシ

照會 選舉無料郵便物封皮裏面ニ差出人ノ宿所氏名ヲ記載スルノ外其ノ側ニ「責任者何某」ト記載スル代リニ「選舉事務長何某」トアル場合ハ如何(五、一大阪)

回答 「責任者何某」トアルモノト同一趣旨ニ依リ取扱フヘキモノトス

照會 選舉無料郵便物タル無封書狀ノ封皮裏面ニ差出人ノ宿所氏名ヲ記載シタル外其ノ側ニ「推薦者犬養毅」ト併記シアルモノハ如何(七、二熊本)

回答 「責任者何某」ト記載シタルモノト同一趣旨ニ依リ取扱フヘキモノトス

照會 選舉無料郵便物ヲ封筒ニ納メス折疊式トシ其ノ表面ニ名宛ヲ記載シ裏面ニ候補者ノ寫眞ヲ印刷シタルモノハ特ニ將來ヲ注意ノ上引受支ナキヤ(七、二廣島)

回答 其ノ儘引受クルコトヲ得ス

照會 選舉無料郵便物ノ封皮表面下部ニ横線ヲ畫シ裏面ニ印刷シタル外差出人氏名ヲ横ニ印刷スルハ支ナキヤ(一一、一民政黨本部)

回答 支ナシ

選舉無料郵便

◇選舉無料郵便物差出

照會 議員候補者死亡ノ場合其ノ死亡シタルコトヲ選舉長カ告示スル日迄選舉無料郵便物ヲ差出シ得ルヤ(五、二札幌)

回答 告示ノ如何ニ拘ラス生前ニ限ル

照會 再選舉執行前ニ議會解散ノ場合尙選舉無料郵便物ヲ差出シ得ルヤ(五、一大阪)

回答 議會解散ノ場合ハ再選舉ハ自然消滅スヘキモノナルヲ以テ此場合ニ於テハ差出スコトヲ得ス

照會 前項ノ場合ニ既ニ引受ケタル選舉無料郵便物ハ如何ニスヘキヤ(五、一大阪)

回答 既ニ引受ケタルモノハ其ノ儘送達スヘキモノトス但シ現ニ引受局ニ在ルモノハ差出人ト協定ノ上便宜其ノ儘還付スルハ支ナシ

◇選舉無料郵便物ノ取戻及還付

照會 郵便物ノ取戻ニ關シ(七、二熊本)

- (一) 選舉無料郵便物モ事務上支障ナキ限り取戻ノ請求ニ應シ得ルヤ
- (二) 應シ得ルトセハ料金ノ徴收方如何

(三) 取戻後同一地へ再度無料郵便物ヲ差出シ得ルヤ
(四) 右ノ場合差出準備前ノ取戻ナリシ場合如何

回答 (一)ハ應スルコトヲ得

(二)ハ一般郵便物ノ例ニ依リ徴收ス

(三)ハ同一市區町村(小區域分割差出ノ場合ハ其ノ分割區域)全部ノ取戻ナリシトキハ當該地域ニ對シ再度差出スコトヲ得

(四)ハ右同斷

照會 差立後或町村宛ノモノ全部ニ對シ之カ取戻請求アルトキハ通數ニ拘ラス便宜一通分ノ料金ヲ徴收シ支ナキヤ(七、二廣島)

回答 規定ノ料金ヲ徴收スルノ外ナシ

照會 一旦配達ヲ了シタル郵便物ニ選舉區外ノ住居へノ轉送符箋ヲ附シ差出シタル場合ハ料金未納ノ有料郵便物トシテ取扱フヘキヤ(三、二名古屋)

回答 其ノ儘差出人ニ還付スヘキモノトス

◇其ノ他

照會 選舉無料郵便物ニハ郵便取扱規程第四百一條ノ紛來日附印ヲ押捺スヘキヤ(三、二仙
選舉無料郵便

臺)

回答 押捺スルモノトス

照會 特使ヲ以テ配達スル文書ニ「選舉」ノ文字ヲ表示シ一見郵便機關ヲ利用シタルモノノ如ク虚構セル場合ノ取締方法如何(三、一廣島)

回答 現行法規ニ於テハ取締ノ途ナキモ郵便業務上ニ支障アリト認メラルル場合ハ相當注意ヲ促スヘキモノトス

照會 私製葉書ノ制式ニ違反スルモ尙無封書狀トシテ取扱ヒタルモノノ中選舉人ニ非サルモノニ宛テタルモノノ發見還付ノ場合ハ有封第一種ト同様ノ料金ヲ徵收シ支ナキヤ(三、二名古屋)

回答 第一種無封ノ書狀ト同様ノ料金ヲ徵收ス

照會 選舉事務ニ關係アル官吏及吏員ノ範圍如何(二、八名古屋三、一廣島)

回答 選舉事務ニ關係アル官吏及吏員トハ法令又ハ處務規定等ニ依リ選舉ノ事務ニ從事スヘキ地位ニ在ル官吏及吏員並スノ如キ職務系統ニ屬セサルモノニシテ上司ノ命ニ依リ選舉事務ニ從事スル官吏及吏員ヲ指ス即チ地方長官、市町村長及其職務ヲ代理スヘキ者並處務規定ノ定ムルトコロ又ハ上司ノ命ニ依リ選舉事務ニ從事スル官吏及吏員ヲ指稱ス

◇選舉公報ニ關スルモノ

照會 選舉公報ハ何種トスヘキヤ(一一、一東京)

回答 郵便物自體ニ付判斷スル外ナキモ一般的ニハ選舉公報其ノモノハ第四種トス

照會 地方廳ヨリ發送スル選舉公報在裡ノ第四種郵便物封皮表面ニ「必ス投票致シマセウ」等ノ標語ヲ印刷スルモ支ナキヤ(一〇、一二熊本)

回答 支ナシ但シ其ノ文字ハ郵便局ノ取扱ニ支障ナキ様相當注意セシムルモノトス

C 引受・遞送及配達

◎引受検査

○包装ノ一部ヲ切開シタル郵便物ニシテ其包装ノ狀況ニ依リ開封トシテ差出シタルモノト認メラルルモノハ取扱上著シキ手數ヲ要セサルモノニ限り適當ニ切開検査ノ後修補ノ上其ノ種別ニ依リ取扱フヘシ(四〇、一〇、通業乙八二〇二、各)

○郵便料ニ相當スル郵便切手ハ總テ封皮自體ニ貼付スルコトヲ要シ假令封皮ノ一部ヲ切開キ其ノ内部ニ貼付シタルモノハ料金未納トシテ取扱フ(昭和一〇、一一、郵業一〇〇五、私人)

○引受検査ノ際料金未納不足アルモノハ便宜ノ方法ヲ以テ一應差出人ニ注意加貼セシムヘシ但故意ノ未納不足又ハ至急送達ヲ要スト認ムル者ハ例外トス(四三、一二、通業六八二八、各)

○料金不納ノ郵便物處理方ニ關シテハ明治四十三年十二月六日通業第六八二八號ヲ以テ通牒

引受検査

ノ處一般ニ之カ勵行ヲ缺キ居ルヤノ傾アリ殊ニ年未年首ニ於テハ特別取扱ニ非サル年賀狀ニシテ料金未納又ハ不足ノモノ不尠ニ付引受検査ノ際充分留意スヘシ(一五、一一、郵業一三〇九、各)

○規則第十條第二項各號ニ「何々」ト特ニ郵便物ノ種類ヲ冒頭ニ冠記セルモノハ他ノモノニ準用スヘキ限リニ在ラス(四、一二、通業四九七、四臺灣)

○規則第十條第一項第六號ハ郵便物ノ内容品ノ保護例ヘハ「ヌレモノ用心」又ハ「コハレモノ注意」等ノ如キ語辭ヲ包含ス(六、六、通業三二七五、新潟)

○規則第十條第二項第一號ノ郵便物ニハ郵便物内容品ヲ包含ス(六、七、通業二七二六、各)

○陸海軍召集令ニ依リ關係官公署ヨリ發スル郵便物及召集通報人ヨリ應召員ヘ召集通報ノ爲發スル郵便物ノ表面ニM、Mノ如キ微號ヲ標示シアルトキハ取扱上結束ノ錯誤若ハ誤配達等遲延ノ事故ヲ生セサル様特ニ注意スヘシ(八、九、郵二七四七、各)

○郵便物ノ内容検査ヲ爲シタル場合各局ニ於テ便宜押捺スル検査印ハ局名ノ外ハ單ニ「検査」又ハ「検査済」トノミ表示セシムルコトトスヘシ(昭和四、一〇、郵業九三八、各遞)

○無封郵便物表面ニ記載シタル親展ノ文字ハ郵便官署ノ職務上ノ行爲タル内容検査ヲモ禁スルノ意思表示ニアラス(四、三、通業九二五、東部)

○「セルロイド」ハ特殊包装ノ上郵便ニ差出シ得ルモ規定ノ包装ヲ施ササルトキハ絶対ニ危険ナキヲ保シ難キニ付引受ノ際注意スヘシ(四、八、通業二九三三、各)

○近來通信文ヲ筆書シタル書狀ニシテ無封書狀トシテ送受セラルルモノ不尠又差押處分ノ出版物カ多數第四種トシテ郵送セラルル哉ニ認メラルルニ付自今容疑ノ郵便物ニ對シテハ其ノ遞送途中局タルト配達局タルトヲ不問嚴重検査アレ(五、一、通業二一五、各遞)

○郵便物検査ニ關シ左記注意スヘシ(一〇、七、郵二六〇〇、各)

(イ) 無封書狀又ハ第四種郵便物中公安ヲ妨害シ若ハ風俗ヲ壞亂スヘキ文書、圖書ヲ封入セルモノアルモ之ヲ發見セス甚シキハ風俗壞亂ト認ムヘキ書畫ヲ封入シタル第四種郵便物ヲ代金引換トシテ差出スモノアルモ之カ検査ヲ爲サス其ノ儘通過セシムル等ノ事例アリ特ニ内容ノ検査ヲ注意スルコト

(ロ) 郵便物ノ種類及重量ニ對シ料金不足ノモノアルモ之ヲ發見セス殆ント無検査引受ヲ爲スノ觀ナキニアラス爲ニ收入ノ減少ヲ來スコト寡少ナラス仍テ引受局ハ勿論遞送配達

局ニ於テモ出來ル限リ種類料金ノ適否ヲ注意スルコト
(ハ) 繼越又ハ配達ニ係ル郵便物中切手ノ未消印ノモノ發見スルコト多キモ往々之ヲ看過スルノ弊アリ發見ノ際ハ必ラス之カ消印又ハ抹殺(配達途中ニ於テ發見ノ場合)ヲ加ヘ切手再用ノ虞ナカラシムルコト

○郵便物ノ容積測定ニ當リ郵便規則第三條規定ノ最大寸尺ノ容積ヲ假想シ該容積内ニ包容シ得ラルルモノト認メラルル限リ假令其ノ長、幅、厚ノ内孰レカ一邊ノ寸尺カ規定ノ制限ヲ超過スルモ仍ホ支ナシト誤解シ其ノ儘引受ヲ爲ス向多數アルヤニ認メラルル處郵便物ノ寸尺ハ嚴ニ郵便物自體ニ付測定スヘシ(昭和三、一〇、郵業九四八、各)

○印刷物ノ内容中月日、金額等ニ印判ヲ用キタルモノハ印刷ト認ム(五、八、臺灣)

○近來名ヲ商品見本ニ藉リテ事實商品見本ニアラサル物品ヲ差出スモノ少カラサル趣殊ニ容積大ナラサル商品ノ通信販賣ニ此ノ方法ヲ惡用スル傾向アルヤニ付嚴重取締方勵行相成度(六、四通業一九五九、各)

○商品見本ニ對シテハ其ノ性質上代金引換ノ請求ヲ爲シ得サルモノトシテ處理スヘシ(一五、

九、郵業九一六、各)

○普通郵便物ノ差出個數ニ對シ受領證印ヲ爲スノ規定ハ郵便物各個毎ニ對照スルノ繁ヲ避ケ且郵便物ノ宛先等ニ對シ責任ヲ負擔セサル趣旨ナルニモ不拘往々發受人宿所氏名ヲ記載セルモノニ對シ漫然之カ證明ヲ爲ス向有之爲ニ差出人ハ個數對照ノ正確ナラサルモノアルヲ奇貨トシ不正ノ手段ニ惡用スルモノモ有之哉ニ付自今右等違則ノ請求ニ應セサル様注意相成度(六、七、通業三五二七、各)

○封皮甲宛ニシテ其ノ内容ノ書狀乙宛ノ場合乙ヲ受取人ト見ルコトヲ得ス(一二、一一、郵六八二八、仙臺)

○丙發甲宛ノ書狀ヲ丙ヨリ乙ニ宛テ發スル場合該書狀ハ尙特定人甲ニ對スル通信文ナルヲ以テ之ヲ小包郵便物トシ差出スヲ得ス書狀差出人ト小包郵便物差出人ト相異ナル場合亦同シ(一三、五、郵一五〇六、私人)

○内地ヨリ臺灣ニ到著スル郵便物中第三種以下ノ印刷物ハ重量ニ於テ八割二分通數ニ於テ三割三分ヲ占メ居ル所之カ帶紙名宛面ハ縦書セサルモノ及字體過少ナルモノ多數アル爲取扱

上支障抄ナカラサル趣臺灣總督府交通局ヨリ來牒ノ次第アリタルニ付郵便規則第六十四條ノ五ノ規定参照ノ上各局ニ對シ相當注意相成度（一五、九、郵業一〇二四、各遞）

○傳染性危険アル患者ヨリ差出ス郵便物ニ消毒濟印章ヲ押捺スルハ支ナシ（昭和二、一二、郵業一二八〇、廣島）

○番號ノ記載ハ「一、二、三」ノ字體ニ依ルコトナリタルモ在來通り「壹、貳、參」ノ字體使用ヲ必要若ハ適當ト認メラルル場合ハ右字體ニ依ルモ支障ナキコト（昭和四、八、郵業八五七、各）

○特殊郵便物引受帳甲乙ヲ使用スル場合ニ於テ引受番號ヲ共通トナストキハ甲ヨリ乙ヘ乙ヨリ甲ニ移ル際ニハ各其ノ引受際餘白ニ「以下乙ヘ」又ハ「何號ヨリ甲ヘ」等相當記入スルコトニ通牒ノ次第アルモ爾今當該局ニ於テ處理上支障ナシト認メタル場合ハ之カ記載ヲ省略支ナシ（昭和九、二、郵業五三、各）

○風景入日附印又ハ特殊日附印ヲ押捺スル引受ニ關シテハ左記了知アレ（昭和七、七、郵業五一五、私人）

一、官製葉書ニ別ニ料金ヲ納付シタル場合ト雖繪葉書ニアラサレハ本日附印ヲ押捺スル引受ヲ爲サス

書留料ヲ納付シタル場合ト雖書狀若ハ繪葉書ニシテ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノノ外本日附印ヲ押捺スル引受ヲ爲サス

二、官製葉書二枚ヲ貼り合せ中ニ手紙ヲ封入シタルモノハ第一種ト同一ノ取扱ヲ爲シ料額印面ハ有效トスルモ此ノ場合本日附印ヲ押捺スル引受ヲ爲サス

◎ 依託引受

○ 燈臺ヨリ發スル通常郵便物（郵便料納付ノ爲通貨ヲ託スルモノヲ除ク）ハ集配手ノ服務上支ナキ限り便宜差出方依託ニ應シ支ナシ（三三、六、通郵乙五九三五、三四、三、郵乙三〇六五、各一、昭和四、六、郵業五八三）

○ 郵便ニ依リ郵便物ノ差出方ヲ依頼シ來ルモノハ郵便物ノ封皮餘白ニ郵便頼信ノ文字ヲ朱書シタル後一般郵便物ト同様取扱フヘシ（三八、一〇、通法乙六〇四四、各）

○ 記念ノ爲繪葉書ニ相當料金ノ切手ヲ貼付シ無集配局ノ日附印押捺ノ上差立方要求スル者アルトキハ事務上支障ナキ限り便宜應スヘシ（四一、三、業業乙二一八四、各）

○ 市内特別取扱郵便物ハ郵便ニ依ル差出方ノ依頼ニ應セス尙一般公衆ニ對シ誤解ナキ様周知方取計フヘシ（六、八、通業四三二一、各）

◎無料郵便

- 無料ノ性質ヲ有セサルモノハ郵便局ニ於テ受取開披後ト雖差出人ニ還付シ料金二倍ヲ徴收ス(四二、七、通業三三〇六、東京)
- 三等局ノ委託ニ依リ其ノ渡切經費支辨ニ屬スル用紙類ノ購買配付ヲ目的トスル購買組合等ヨリ之等物品ヲ其ノ所要局ニ配付スル場合ハ無料郵便ニ依ルコトヲ得ス(四四、八、通業四八六三、各)
- 電信業務ニ關シ青島日本局宛テ發送スル郵便物ハ有料トシ名宛ハ「支那山東省、青島日本電信局」ト記載スヘシ(一一、四電報各遞)
- 特殊銀行債券募集廣告ハ窓口揭示用ノモノニ限り無料トス(元、八、通業一八二、札幌)
- 轉送願ハ有料、轉居届ハ便宜無料トス(二、六、通業二五九六、北部)
- 特殊銀行ヨリ郵便局ニ對シ債券募集事務ニ關スル照會通牒ヲ發スル場合又ハ募集廣告紙應無料郵便

募申込書用紙、借入申込書用紙、定款、貸出規則、利率表、計算表、其他參考書類ヲ送付スル場合ハ無料ニアラス（二、一二、通業五一六九、廣島、三、六、貯規五四〇、東部、西部）

○無料特殊郵便物ヲ配達後再出スル場合ハ無料ニアラス（三、一一、通業四六四六、關東）

○無料郵便ノ範圍ハ大體郵便官署ノ事務執行上必要ナルモノ又ハ郵便官署ノ事務執行上參考トナルモノ等主トシテ郵便官署ノ爲ニスルモノニ限り其ノ他特ニ無料ト爲スヲ適當ト認ムル事由アルモノハ各條ニ於テ之ヲ規定シ無料郵便ノ範圍ヲ明ニシタルヲ以テ自今特ニ無料郵便ノ取締ヲ嚴ニシ濫用ノ弊ニ陥ラサル様留意相成度殊ニ部内ノ從事員ヨリ差出ス無料郵便物中ニハ濫用ニ亘ルモノモ有之様被認ニ付嚴ニ取締方取計相成度又從來無料郵便物中書留ト爲スヲ要セサルモノヲ書留トシテ差出スモノ少カラサルニ付之等ニ對シテモ適當ニ匡正方措置相成度（五、七、秘、一二二一、各遞及電氣、管船、爲貯局長、官房各課長）

○遞信公報ノ原簿配達ニ關シテハ左記了知相成度（六、三、通業一三三〇、文書課）

一、原簿配達ハ内地ノ集配局ニ於テ二箇所（其ノ集配局ヲモ合セ）以上ニ配達スルモノニ限ルコト尙其ノ配達先ハ遞信部外ニ屬スルモノニテモ支ナシ

一、配達原簿ハ凡ソ左ノ標準ニ依リ調製シ豫メ各配達局ニ送付シ置クコト但シ異動ノ際ハ配達局宛郵便物結束中ニ納メ發送スルモ支ナシ（原簿雛形略ス）

○左記ノ書類ヲ無料郵便ニ依リ發送スル場合ハ從來書留ニ依ル向有之モ此等ノ書類ハ其ノ性質上ヨリ見ルモ特ニ書留トスルノ必要無之様被認ニ付事務ノ簡捷ヲ期スル爲自今普通郵便ニ依ルコトニ相當取計相成度（六、九、通業五一九七、各遞）

- 一、三等局長カ債主タル場合ニ於ケル歳出金繰替拂證票及同通知書
 - 一、現金支拂後ノ歳出金繰替拂領收書
 - 一、收納濟ノ歳入金納入告知書
 - 一、歳入金納入督促狀（滯納處分ノ爲ニ發スルモノヲ除ク）
 - 一、印紙切手類買受請求書（無料爲替同封ノモノヲ含ム）
- （其ノ他略ス）

○切手類買受請求書ニ無料爲替證書同封ノ郵便物ハ特ニ書留郵便ニ依ルノ必要ナシ（六、九、長野）

○無集配局宛郵便物ニハ必ス集配受持局名ヲ肩書スル様規程第三條ヲ嚴ニ勵行相成度（九、

一一郵一三六三、各

○無料郵便物ノ範圍並之カ取扱方制限ニ準據セサルモノアリ就中無料郵便ノ濫發ノ如キハ嚴密ニ之ヲ取締リ又特別取扱規程ニ依リ特定セラレタル事項ハ必ス勵行シ配達局又ハ繼越局ニ於テ取扱違反ヲ發見シタルトキハ事故通報ノ手續ニ依リ相當注意方取計フヘシ（一〇、七、郵二六〇〇、各）

○資金又ハ過超金封入無料價格表記郵便物中封緘紙貼付方不完全ノモノアルニ付引受ノ際注意スルト共ニ遞送途中局又ハ配達局ニ於テモ封緘ニ異狀アルモノハ立會者ヲ設ケ重量ノ検査ヲ行ヒ取扱中ノ責任ヲ明カニシ行違ヒナカラシムヘシ（一〇、七、郵二六〇〇、各）

○無料書留郵便物ノ範圍ニ關シテハ無料郵便物特別取扱規程第二條ノ規定ヲ嚴ニ勵行シ苟モ不當ト認ムルモノ發見ノ場合ハ監督局經由相當警告方取計相成度（一一、四、郵一四七九、各）

○公衆ヨリ無料郵便物差出ノ際特ニ特殊取扱ト爲シ得ヘキ明文ナキニ不拘漫然特殊取扱トシテ引受ケ或ハ普通郵便料ヲ免除シ特殊取扱料ノミヲ納付セシメ之ヲ特殊郵便物トシテ取扱

フ等各局區々ニ互レルモ右ハ無料郵便物特別取扱規程第二條ノ趣旨ニ依リ重要ナル文書又ハ物件其ノ他相當事由アリト認メラルモノノ外無料特殊郵便物トシテ取扱フヘキ限ニ無之ニ付強ヒテ特殊取扱ニ依ラムトスル者アルトキハ總テ有料郵便ニ依ラシメラレ度尙貯金規則第十五條、振替金規則第十九條及第二十二條等ニ依ル届書又ハ請求書ノ如キモノハ其ノ性質上總テ無料普通郵便ニ依ラシムヘキ主意ニ付了知ノ上取扱上違算ナキヲ期セラレ度（一四、九、郵業四七二、各）

○電信電話工用器具及材料等多數差出ス場合ハ總テ運送便ニ依ラシメ無料郵便ノ取扱ヲ爲ササル様注意アレ（一五、四、郵業四九七、各遞）

○無料郵便物取扱ニ關シ左記ノ通知アレ（一五、七、郵業三五五、一仙臺）

- (一) 郵便規則第四條ノ二ハ郵便法第二十八條ニ掲クル各種ノ事務ニ關スル郵便物ノ意義ヲ解釋シタル規定ナルヲ以テ簡易生命保險法第三十三條ニ所謂簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ノ範圍モ亦自ラ右郵便規則第四條ノ二ノ規定ニ準スヘキ義トス從ツテ右範圍外ノモノハ無料郵便トシテ差出シ得サルモノトス但シ審査請求書又ハ被保險者死亡通知書ノ如キハ支ナシ
- (二) 郵便規則第五條及第六條ノ一ハ簡易生命保險法第三十三條ニ依リ差出ス無料郵便物ニ

無料郵便

二〇二

對シテモ當然適用アルモノトス從ツテ前號ノ範圍外ノモノヲ差出ス者アルトキハ事由ヲ懇示シテ有料ヲ以テ差出サシメ若シ引受後發見ノ場合ハ郵便規則第六條ノ一ニ依リ取扱フヘキ義トス

○事務用葉書ニ付テモ一般私製葉書ノ製式規定（郵便規則第十八條ノ二及第十八條ノ三）ニ照ラシ之ニ牴觸スルコトナキヲ要ス（昭和九、一一、郵業九〇八、各遞）

○第三種ノ認可ヲ受ケタル郵便物ノ見本ヲ遞信局へ送付スル場合ハ有料トス（昭和九、四、郵業二八六、私人）

●小包郵便

○一旦配達シタル普通小包ハ轉送還付ヲ許ササル趣旨ナリ（四一、七、新潟）

○「宛名ノミヲ記載シタル封皮」ヲ小包郵便物トシテ差出スハ支ナキモ「通信文ヲ印刷シタル印刷物ニ名宛ヲ記入シタルモノ」ハ小包郵便物トシテ差出スヲ得ス（一三、五、郵一五〇六、私人）

○小包送票ヲ包裝自體ニ印刷セルモノハ取扱上支障ナキ限り使用セシメ支ナシ（一三、八、郵二二八三、大阪）

○送票刷込小包郵便物名宛紙ニシテ様式紙質共ニ適當ナルモノハ之カ製造發賣支ナシ但シ遞信省認可等ノ文字ハ使用ヲ避クヘシ（一三、一一、郵三三四一、私人）

○普通小包郵便物ニ對シテハ其ノ送票ニ配達局名ノ記入ヲ要セサルノミナラス小包自體ニ郵便切手ヲ貼付スルモ剝落ノ虞ナキモノハ一般ニ涉リ送票ノ使用ヲ省略シ得ルコトトナリタルニ付取扱上相當注意ノコト（昭和四、八、郵業八五七、各）

○臺灣宛小包郵便物中煙草封入ノモノ往々アリ右ハ臺灣ニ於テハ三十八年三月律令第一號ニ依リ政府ノ命ヲ受ケタル者ノ外煙草ノ移入ヲ禁シアルニ付各局ハ其ノ旨ヲ揭示シ尙引受ノ際ハ差出人ニ注意スヘシ(三九、四、通法甲一六七六、各)

○近來煙草包有小包郵便物ヲ朝鮮宛發送スルモノ頻出スル趣ノ處朝鮮ニ於テハ朝鮮煙草專賣令ニ依リ政府及政府ノ命ヲ受ケタル者竝自用煙草ニシテ政府ノ許可ヲ受ケタル者ノ外移入シ得サルニ付爾今此ノ種郵便物ノ引受ニ際シテハ當該官憲ノ命令書、許可證若ハ之カ謄本ヲ呈示セシムル等明カニ規定ノ手續ヲ經タルモノナルコトヲ確メタル上引受クル様留意スヘシ(一三、九、郵二六七一、各)

○小包郵便物引受方ニ關シ左記注意スヘシ(一〇、七、郵二六〇〇、各)

(イ)小包郵便物引受ノ際秤量方不完全ノ爲料金徴收ヲ誤リ又ハ切手及送票ノ貼付方不完全ノ爲直ニ離脱スルモノ多シ秤量ノ正確ヲ期スルハ勿論送票貼付方粗雜ニ流レサル様相

當注意スルコト

(ロ)小包郵便物ニ「小包」又ハ「書留小包」ノ記號ヲ洩セルモノ多數アリ特ニ書留小包ノ記號洩ハ遞送途中送票脱落ノ際取扱上過誤ヲ生シ易キニ付一層注意スルコト

(ハ)小包郵便物左裡品不著ノ申出テヲ爲スモノ多シ其ノ原因スル所多クハ包裝ノ不完全ニ由ルモノノ如シ包裝ニ關シテハ包裝規則ノ定ムルアリ引受ニ際シ充分ノ注意ヲ拂ハハ如上ノ事故ヲ未然ニ防止シ得ヘシ宜シク機ヲ見テ之レカ一般的注意ヲ惹クハ勿論引受ニ際シテハ特ニ嚴密ナル検査ヲ行フヘキコト

○丙發甲宛ノ書狀ヲ丙ヨリ乙ニ宛テ發スル場合該書狀ハ尙特定人甲ニ對スル通信文ナルヲ以テ之ヲ小包郵便物トシ差出スヲ得ス書狀差出人ト小包郵便物差出人ト相異ナル場合亦同シ(二三、五、郵一五〇六、私人)

○小包ノ外部ニ「代金濟」ノ文字ヲ記載セルモノハ規則第十條ノ範圍外トス(四〇、一一、通業乙九九二八、東京)

○小包ニ添付シ得ル送狀添狀ニハ規則十條以外ノ事項(通信文ヲ除ク)ヲ記入スルモ支ナシ(四一、八、通業乙九三四四、東京)

○小包郵便物ノ外部ニ「保險附」ト記載シタルモノハ郵便規則第十條第一項第四號ノ所謂送達上ノ慣用語トス(昭和九、三、郵業一七四、札幌)

○小包ニ添付セル左記ノ文書ハ送達後ノ處理方法ヲ記載セルモノニシテ一般ノ慣習ニ依ル送状トハ認メ難シ(四四、一〇、通業五七九二、東京)

一、雲切目薬百七十箇

右ノ通御送り候間御入帳御賣弘下サレ度候

○小包ニ添付セル左記文書ハ一般ニ使用セラルル慣用語ニシテ特別ニ處理方法ヲ表示シタルモノト認メ難キヲ以テ送状トシテ取扱フヲ穩當ト認ム(五、四、通業八八九、廣島)

拜啓株券百枚本日御送付申上候間何卒萬事宜敷御取計被成下度此段御願申上候也

○近時小包郵便用荷札トシテ巷間ニ發賣ノモノニハ其ノ裏面ニ廣告文等印刷スルモノアルモ右ハ郵便規則第十條第三項ニ依リ取扱得サル儀トス但シ荷札ノ名稱登錄番號、製造所等ハ印刷スルモ支ナク其ノ程度ハ現物ニ付キ適當ニ判定スヘシ(九、七、郵二三八九、各)

●植物検査品在中小包取扱方

○植物検査品ト表記シアル小包ハ一般ノ手續ニ依ルノ外左記ニ依リ處理スヘシ(三、一〇、通業四四九九、長崎、神戸、東京、門司、下關、函館、昭和三、一、郵業七二、那覇追加)

一、「植物検査品」ト表記シタル小包郵便物到着シタルトキハ適宜ノ方法ニヨリ其旨ヲ植物検査官吏ニ通知シ其出張ヲ請求スヘシ

二、植物検査官吏出張シタルトキハ主務者立會ノ上前條ノ小包郵便物ヲ其ノ検査ニ供スヘシ

三、開披及再裝ハ植物検査官吏ヲシテ之ヲ爲サシメ封緘及名宛ノ箇所ヲ損セシメサル様注意スヘシ

四、検査終リシ後其儘再裝シ能ハサルトキハ更ニ適宜ノ包裝ヲ爲サシメタル後封蠟其他ノ方法ヲ以テ封緘シ認印ヲ押捺セシムヘシ但シ價格表記小包郵便物ニ就テハ最慎重ニ再裝ノ手續ヲナサシメ検査ノタメ封緘ヲ毀損シタルトキハ更ニ無料價格表記郵便物封緘ヲ貼付シ其ノ封緘ト封皮トニ掛ケ認印ヲ以テ鮮明ニ封印セシムヘシ

五、前號ノ小包郵便物再裝ノ際損傷其他重量減少等ノ異狀ヲ發見シタルトキハ郵便物ニ其旨ヲ附箋スヘシ

六、検査官吏ニ於テ棄却其他ノ處分ヲ必要トスル旨申出テタルトキハ之ヲ交付シ適宜ノ様式ニ其ノ事由及個數其他必要ノ事項ヲ記入シ受領印ヲ徴スヘシ

●取集、差立、遞送及到着

○集配二度地ニシテ休日、休暇日減便ノ場合使用スル取集便札ニハ適宜ノ記號ヲ符シ開函正否ヲ監査スルコトトスヘシ（昭和五、五、郵業四二七、各遞）

○蠶種在中郵便物ハ火氣又ハ日光ニ近付ケサル様注意スヘシ尙蠶種在中大行囊ノ標札ニハ差立局ニ於テ「蠶」ノ文字ヲ記入シ取扱上特ニ前段ノ注意ヲ爲スヘシ（四〇、三、通業乙一五七五、各、三、一二、通業五五三八、各、五、六、通業二七九七、各）

○蠶種在裡郵便物ノ取扱中種々包装破損シ蠶卵ニ障害ヲ與ヘ若ハ蠶兒發生ニ至ラシムル等各種ノ事故ヲ醸成シテ公衆ニ迷惑ヲ蒙ラシメ惹ヒテ事業ノ信用ヲ傷クルコトハ甚タ遺憾ノ次第ニ付各局ニ於ケル之カ取扱上ノ注意ヲ喚起スルト共ニ一面公衆ニ對シ蠶種差出上ノ注意並利用規定ノ周知等ニ努ムヘシ（一四、六、郵業九一、各遞）
追而蠶種在裡郵便物ノ引受多數ニシテ特ニ護謨廻轉通信日附印ノ使用ヲ必要トスル局アラハ相當事由ヲ詳具シ交付方申出アレ

○蠶種在裡書留通常郵便物ニシテ形體大ナルカ若ハ一局ニ遞送スルモノ相當數量アリテ赤行
取集、差立、遞送及到着

囊ニ納ムルヲ不便トスルモノハ直接大行囊ニ納メ締切ト爲シ其ノ票札ニハ赤色ノ「◎印」ヲ附シ差立得ルコトニ決裁セラル（昭和三、九、郵規七七〇、各遞）

○赤行囊缺乏ノ場合ハ近距離ノモノヨリ合封紙代用支ナシ（三、八、通業三二七五、各）

○關釜間船内局差立締切大行囊記票ニハ量目ノ記入ヲ省略ス（四、三、通業一〇九六、各）

○資金及過超金特別遞送方法開始ニ付左記了知アレ（四、七、通規四〇〇八、各遞）

一、晝間便ト夜間便トアル線路ニ於テ資金又ハ過超金ノ遞送金額五百圓以上ニ達シ之ヲ夜

間遞送ニ付スルハ危険ノ虞アル個所ニ對シテハ其ノ遞送ヲ晝間便ニ指定スルコト

二、資金又ハ過超金ヲ遞送スル線路ノ各便カ夜中危険時刻ニ發著スルモノナルトキハ他ノ

遞送便又ハ集配便ノ結束上支ナキ限リ危険ノ惧ナキ他ノ時刻ニ變更スルコト

三、特別遞送方法ハ左記各號ニ依リ施設スルコト

(1) 遞送線路ノ各便カ夜中便ニシテ第二項ニ依ル能ハサル個所ニ對シテハ別ニ危険時刻

ヲ避ケ臨時便一便ヲ開設シ又ハ規定便ニ遞送人ヲ一名増加配置スルコト

(2) 晝間便ト夜間便アル線路ニシテ年末其ノ他季節ノ關係ニ依ルカ又ハ線路ノ状態ニ依

リ晝夜何レノ時刻ニ於テモ危険ノ惧アル個所ハ晝間又ハ夜間便ニ對シ遞送人ヲ一名

増加配置スルコト又晝間一便ノ線路ニシテ前記ト同一状態ノ個所ニ對シテモ亦右方

法ニ依ルコト但シ二人挽人車送ノ線路又ハ一線路途中危険ナル個所ニ常時遞送荷量

ノ關係上補助人夫ヲ附セルトキハ本文ノ施設ヲ爲サス

(3) 前各號ノ施設ハ遞送金額一回金五百圓以上ノ場合ニ限ル

(4) 前各號ニ依リ特別施設ヲ必要トスル場合ト雖モ保護銃ヲ携帯セシムルニ依リ危険ヲ

避ケ得ラルル見込ノ線路ニ在リテハ前各號ニ依ラス保護銃ヲ携帯セシムルコト

六、第三項ニ依リ遞送人ノ増加配置ヲ指定シアル線路ト雖モ當該便ニ過人夫ヲ差立ツル場

合ハ別ニ増加遞送人ヲ差立サルコト

七、第一項及第三項ノ施設ハ資金又ハ過超金ノ遞送金額五百圓以上タルヲ要スルニ付其ノ

在中價格表記通常郵便物ハ郵便物區分規程第九條乃至第十一條ノ取扱ヲ爲サス郵便取

扱規程第五十七條第一項第四號ノ赤行囊ニ納入シ各繼越局ニ於テ直チニ遞送金額ヲ

知り得ル様豫メ關係各局へ通知セラレタシ

八、特別遞送方法ニ依ル便ノ遞送記ハ左記區別ニ依リ調製セシムルコト

(イ) 遞送線路ノ開設又ハ規定便ニ増便スル場合ハ備考欄ニ「國庫金遞送」ト朱書セシム

- (ロ) 遞送人ヲ増加スル場合ハ人夫數欄ニ「二人」ト記入シタル上尙備考欄ニ「國庫金扱 遞送人増配」ト朱書セシムルコト
- (ハ) 過人夫ノ差立ヲ爲シ別ニ遞送人ヲ増加セサル場合ハ備考欄ニ「國庫金遞送」ト朱書セシムルコト
- (四、五、九乃至十五略ス)

○閉囊便ニ郵便物ヲ託送スル場合ニ於テ其ノ託送料金ヲ斤量ニ依リ計算支給スル場合ノ外閉囊便差立郵便物受授證ノ斤量ハ之カ記入ヲ省略シ得ルコトニ決裁セラル (五、一〇、通規四一四一、各遞)

○殖民地宛小包郵便物ニシテ包裝破損シ易キモノハ結束トセス可成行囊ニ納メ差立ツヘシ (五、一二、通業五八九一、各遞)

○近來外國文字表記アル郵便物ニ挿譯ヲ爲サス其ノ儘遞送スル向アリ爲ニ誤區分遲延等ノ事故不尠趣ニ付自今規定ノ手續勵行相成度 (六、二、通業七六九、各)

○配達局ヲ異ニスル二名以上ノ住所氏名ヲ記載シタル郵便物ハ何レカ速達スル肩書地ニ向ケ 遞送スヘシ (六、六、通業三二一八、北海道)

○第三種以下郵便物遞送規程制定ニ付左記了知アレ (六、八、通規五六六五、各遞)

- 一、從來必要ニ應シ定メラレタル各種印刷物ノ特別遞送方法ハ總テ廢止セラル
- 二、分送局繼越區分増加ノ結果到着郵便物ノ全部ヲ正當結束便ニ結束セシメ難キトキハ三種以下ニ限り適宜次便以下ニ繰下ケ遞送スルコトヲ得
- 三、當時三種ト其ノ他トヲ區別シ取扱フ局ニ於テハ各別ニ通數ヲ調査シテ區分先ヲ指定セラレ度此ノ場合ノ一般郵便物ノ區分通數制限ハ之ヲ十通ニ低減ス (四乃至六省略)
- 七、遞信公報、海軍公報、株式取引所日報及蠶種郵便物ノ如キ急送ヲ必要トスルモノハ本規程ニ依ラシメサル趣旨ナリ

○取扱規程一七一條第三項及二五五條第三號但書ノ規定ハ繼越赤行囊アル場合ニモ適用ス (六、九、通業四六四四、名古屋)

○小包郵便物ヲ行囊ニ納ムル際區分規程百五條及百六條ノ手續ヲ勵行セス且運搬ニ際シ之ヲ投擲スルカ如キ粗暴ノ取扱ヲ爲シ在中品ヲ毀損スルモノアルヤニ認メラル充分注意相成度
(七、一、業七二、各遞)

○鐵道小荷物ノ重量ハ百瓩(二十六貫七百匁)以內ト制限セラレタルニ付小荷物トシテ託送スル郵便物ノ締切重量モ該制限ニ反セサル様注意アレ(八、九、郵三〇〇五、各)

○到着郵便送達證多數ニシテ各便毎ニ總括表ヲ附シ整理スル向ニ在リテハ當該總括表ニ適當ノ日附印欄ヲ設ケ之ニ一箇ノ到着日附印ヲ押捺シ送達證各葉ニ對スル日附印ハ省略スルモ支ナシ(一五、九、郵業一一〇二、各)

○取扱規程第一百七條ノ締切標準時分ハ事情ニ應シ多少延伸スルモ支ナキ儀トス(昭和三、六、郵業四二三、札幌)

○冬季(自十二月至翌四月中旬)樺太廳管内發著郵便物ノ遞送ハ結氷風雷等海陸交通上ノ障害アル爲圓滑ヲ缺キ從來ノ實況ニ徴スレハ右期間中同管内發著郵便物ノ遞送所要日數ハ大

體左記ノ通ニ付郵便物著否取調請求ニ對シテハ如上ノ事情ニ鑑ミ相當日時ヲ經過セルモノノ外徒ニ照復ヲ重マルノ手數ヲ避クル様取計相成度(一五、一二、郵業一四五八、各遞)

東海岸 東白浦、元泊、登帆、知取宛ノモノハ十日乃至二十日
同 泊岸、内路、敷香、散江宛ノモノハ十五日乃至三十日
西海岸 南名好、宗仁、久春内、萌菱宛ノモノハ十日乃至二十日
同 阿内、鶺城、惠須取、名好、安別宛ノモノハ十五日乃至三十日
灣内 長濱、遠淵、彌滿龍、泥川、内砂ノモノハ十日乃至二十日

○郵便車ニ乗務ノ係員交替ノ際當該係員ニ於テ作成シタル大行囊ヲ同一郵便車内ニ於テ名宛係員ニ直接引繼ク場合ハ鐵道郵便取扱規程第十條ニ依ル行囊ノ封緘ハ省略支ヘナシ(昭和一一、四、郵業三四三、各遞)

●配達及集金郵便取立

○配 達

- 書留郵便物ハ單ニ形式的ニ代人ト肩書捺印スルモ何等代理權限ナキ者ニハ配達スヘカラス
(三七、一二、通庶乙二八〇六八、鹿兒島)
- 個人商店宛特殊郵便物受領ニ際シ當該個人商店名ノ印章ヲ使用スルハ支ナキ義トス(昭和四、七、郵業六七一、東京)
- 特殊郵便物再度配達ノ場合ハ必ス其ノ事由ヲ配達帳ニ記入スヘシ(二、一、通業二六五、各)
- 特殊郵便物配達帳及配達證ニ記載スヘキ受取人ノ宿所ハ當該局ニ於テ明確ニ知悉シ事故調査上等ニ支障ナキ場合ハ宿所ノ全部又ハ一部ノ記載ヲ省略スルモ支ナシ(昭和七、九、郵業六七二、大阪)
- 未納不足ノ二名宛郵便物ヲ最初ノ一名ニ於テ受取拒絶シタル場合ハ他ノ一名ニ配達スルニ不及直ニ還付ス(三九、一二、通業乙一〇六一、仙臺)

配達及集金郵便取立

配達及集金郵便取立

二一八

○料金未納不足郵便物ノ差出人ヨリ配達局ニ向テ相當切手ヲ送附シ來リタルトキハ配達前ナラハ貼付ノ上便宜完納郵便物トシテ配達スルモ支ナシ(六、八、通業四三九五、東部)

○受取人ノ請求ニ依ル別配達郵便物配達ノ際別配達料ヲ納附セサルトキハ其儘配達ヲ了シタル後追徴ノ手續ヲ爲スヘシ(四〇、四、通業乙二六六二、各)

○普通小包ニ對シ規程外ニ配達帳ヲ調製シ之ニ受發人宿所氏名記入又ハ受領印ヲ徴スルカ如キハ承認セラレス(四一、六、通業乙四七五五、仙臺)

○速達郵便配達方ニ關シ左記注意スヘシ(四四、二、通業八八〇、東京、横濱)

一、返信ヲ要スル速達ヲ配達ノ際ハ其ノ順路ニ當ル他ノ速達又ハ電報ノ外兼配セサルコト
一、速達ハ受取人又ハ其ノ代理人ニ必ス手渡シスルコト若シ不在等ノ場合ハ普通郵便物ニ限リ郵便受箱ニ投入スルコト

○集配人郵便物配達ノ際消印洩ヲ發見シタルトキハ封皮等ヲ一應申請ケ持戻ラシメ相當消印ノ上返付スヘシ(二、一〇、通業四七五〇、各遞)

○配達證明書發送洩事故ニ就テハ從來屢々注意スル所アリタルモ今尙發送ヲ洩ス向不尠趣ニ付爾今嚴重ニ注意相成度(六、八、通業三九六六、各)

○郵便物多數ニシテ服務ノ實況上一時ニ之ヲ配達シ難キトキハ急速配達ヲ要セサル第三種乃至第五種普通々常及普通小包郵便物ニ限り當日ニ於ケル次便以下ノ集配便ニ適宜分割シテ配達シ得ルコトニ決裁セラレタルニ付左記了知ノ上濫用無之様相當措置アレ(六、九、通規六八四五、各遞)

一、官報、日刊新聞、遞信公報、遞信局報其ノ他各官公署ニ於テ發行スル公報、縣報、郡報又ハ相場日報等ハ急速配達ヲ要スルモノトシテ取扱フコト
一、分割シテ配達セムトスルトキハ引受又ハ到着順若ハ郵便物ノ性質等ヲ考慮シ勗メテ不權衡ヲ來サシメサルコト
一、分割シテ配達シタルトキハ郵便日記帳ニ其ノ旨登記スルコト

○郵便規則第七十三條ノ適用地ニ在ル者ヨリ自己宛郵便物ヲ該地域外ノ場所ヲ指定シ之ニ配達方請求アリタルトキハ事務上支障ナキ限リ轉送ノ請求ト看做シ之ニ應スルコト但シ該場所ニ於テ配達ヲ了スルコト能ハサリシトキハ之ヲ持戻リ該郵便物ニ對シ初メヨリ其ノ請求

配達及集金郵便取立

二一九

ナカリシモノト同様ニ處理スルコト（昭和四、八、郵業八五七、各）

○破産者宛ノ郵便物ニ關シ裁判所ヨリ破産法第九十條第一項ノ規定ニ依リ破産管財人ニ配達方囑託アリタル場合ハ其ノ取消迄左記郵便物ト雖モ破産管財人ニ付取立、交付配達ヲ爲スコト（昭和五、七、郵業六二〇、廣島）

- 1 破産者ヲ支拂人トスル集金郵便ノ取立
- 2 破産者宛ノ代金引換郵便物到着通知書ノ配達及引換濟現品ノ交付
- 3 破産者ヘ名宛シタル訴訟、審判及審査書類ノ配達
- 4 破産管財人ニ配達スヘキ旨ノ裁判所ノ囑託ノ内容ニ何等ノ條件ナキ場合但シ差出人カ管財人ナル場合ニハ便宜破産者ニ配達シ支ヘナキコト

○郵便物ノ受取義務ニ關シテハ左記了知アレ（昭和六、一一、郵業八四四、大阪）

- 1 明治四十三年七月十四日東京局照會ニ對スル通信局回答中「特ニ受取義務アル場合」トハ現行法上破産法第九十條ノ破産管財人之ニ該當スルコトアルヲ謂フ
- 2 左記一號乃至四號ノ名宛人ニ對シ同居ノ親族又ニ受取人ニ非サル宛所ノ者ハ孰モ受取ノ義務ナシ

名宛

- 一、意思無能力者 同居ノ親族又ハ受取人ニ非サル宛所ノ者
法定代理人
- 二、精神病者 監護義務者
- 三、委任者 委任代理人
- 四、死亡者 家督相續人又ハ遺産相續人

○集配途中ニ於ケル郵便物ノ保護ニ付テハ左記了知遺憾ナク措置アレ（昭和九、七、郵業五四八、各遞）

- 一、郵便集配用車ハ施錠ヲ完全ニシ集配手車ヲ離ルルトキハ其ノ完否ヲ確知スル様平常訓練スルコト
- 二、郵便物ヲ積込ミアル車ヲ離レ附近ヲ配達スルトキハ車ノ監視ニ付十分配意シ無監視ノ状態ニ置クコトナカラシムコト
- 三、集配車ハ使用ノ都度監視員等ヲシテ錠前ノ完否ヲ検査セシムルコト

○天幕生活者宛ノ郵便物ト雖モ其ノ宛所明確ニシテ且郵便規則第七十三條ノ事由ニ該當セサル限り其ノ宛所ニ配達スヘキモノトス（昭和一〇、一〇、郵業八七八、東京）

○郵便物ノ差出人ヨリ「名宛人表記ノ場所ニ居住セサル場合ハ本郵便物ニ限り特ニ差出人ニ返戻アリ度」ト郵便物ニ記載申出アルモ右ハ現行郵便制度ノ建前上應シ難キモノトス（昭和九、七、郵業四九三、他官署）

○集金郵便取立

○集金郵便取立方ニ關シ左記注意スヘシ（一一、七、郵二六〇〇、各）

（イ）集金郵便到着帳中「交附月日當務者印」欄以下各欄ノ記入ヲ洩シ處理ノ要領不明ノモノアリ之カ記載ヲ洩ササルハ勿論郵便取扱規程第三條ノ三ニ準シ毎日其ノ出入數ヲ對

照檢査スルコト

（ロ）集金郵便取立不能事由ハ形式ニ流レシメス詳細ノ事實ヲ記載セシムル様嚴重注意スルコト

○集金郵便ニ依ル現金取立ハ一、二等及特定三等局ニ限り遞信局長ノ承認ヲ受ケ吏員ヲシテ之ヲ爲サシメ支ナキコトニ決裁セラル（一五、四、郵業四、各遞）

○保險集金主務者印乙號ハ集金郵便ノ現金受領證ニ押捺スル場合ニノミ代用支ナシ（昭和八、

二、郵業八五、東京）

○普通三等局ニ在リテモ遞信局長ノ承認ヲ受ケタル場合ハ保險集金吏員ヲシテ集金郵便等現金ノ取立ヲ爲サシメ支ナシ（昭和五、六、郵業三七六、各遞）

○右吏員ハ女子ナル場合モ支ナシ（昭和八、一二、郵業八四一、熊本）

●交付(代金引換、留置等)

○軍艦ニ配達スヘキ郵便物ハ軍艦ノ印鑑又ハ其ノ代表者タルコトヲ證明スルニ足ル書類携帯ノ者出局シ局内ニ於テ交付方請求スルトキハ其ノ需ニ應シ支ナシ(三五、九、通郵甲四三四三、各)

○川止等其他非常事故ノ爲配達ヲ爲ス能ハスシテ持戻リタル郵便物ハ受取人出局交付方請求スルトキハ正當受取人タルコトヲ確メ且事務上支障ナキ限り局内ニ於テ交付支ナシ(四〇、九、通業乙七〇二九、仙臺)

○留置郵便物ノ交付ハ郵便受付時間中トス(昭和五、七、郵業四五三、名古屋)

○代金引換留置期間經過後ト雖差立便ノ關係ニテ未タ留置キアル中ニ引換方申出テタルモノハ期間滿了ノ翌日爲替取扱時間終了迄便宜留置キ引換ニ應スヘシ(二、一、通業二六五、各)

○留置普通郵便物交付ノ際ハ受取人ノ受領印ヲ徴スルニ及ハス(四、三、通業一一三九、北部)

交付(代金引換、留置)

交付(代金引換、留置)

二二六

○代金引換交付ノ際代人受領ニ付テハ必スシモ委任狀ヲ要セス(四、七、通業二九八二、西部)

○代金引換留置期間經過後ト雖千島ノ如キ冬季三四月間絶航ノ爲還付不能中ニ引換方申出テタルモノハ引換ニ應シ支ナシ(五、五、通業二四六五、北海道)

○無集配局ニ於テ引換フヘキ代金引換郵便物ニ對スル到著通知書ヲ受取人亡失セシ場合ニ於ケル再度通知書及同原符ハ當該無集配局ニ於テ調製スヘキモノトス(一四、一一、郵業八八一、各)

○代金引換郵便物ノ交付ハ爲替貯金事務取扱時間内ニ限ル處蠶種在裡ノ代金引換郵便物ニ限リ受取人ヨリ交付方要求アリタル場合ハ左記ニ依リ便宜之ニ應シ支ナシ(昭和二、五、郵業四七七、各)

一、毎年自七月一日至九月十日ノ間日曜日ニ於テハ午前八時ヨリ正午迄便宜要求ニ應シ一般ノ例ニ依リ代金ト引換ニ郵便物ヲ交付ノコト
二、代金ハ出納官吏又ハ出納員ニ於テ之ヲ受領シ現金出納計算規程第六十一條ニ依リ相當處理ノコト

三、到著通知書ハ翌日爲替主任ニ之ヲ交付シ到著通知書原符摘要欄ニ爲替主任ノ受領印ヲ徵スルコト

四、到著通知書原符摘要欄ニハ「蠶種時間外交付」ト記載シ相當責任者ニ於テ捺印ノコト

○鹿兒島縣大島郡内各局ニ限り周年休日及休暇日ニ於テ午前八時ヨリ正午迄蠶種在裡代金引換郵便物ヲ特ニ交付シ得ルコトニ決裁相成候條昭和二年五月郵業第四七七號通牒ニ依リ處理アレ(昭和七、七、郵業五一三、熊本)

交付(代金引換、留置)

二二七

●訴訟審判及審査書類

○今般省令第三十八號公達第八百八十八號ヲ以テ訴訟審判及審査書類郵便規則並同取扱規程制定セラル左ニ關係規定ノ改正要點及注意事項ヲ摘記ス（昭和四、九、郵業八五六、各）
追テ本通牒ニ牴觸スル従前ノ例規ハ總テ自然消滅シタル儀トス
一、規定ノ改正要點

- (一) 訴訟書類郵便物送達不能ノ場合市町村長ニ預ケ置キ告知書ヲ門戸ニ貼付シ以テ送達ト爲ス方法ヲ廢セラレタルコト
- (二) 配達ノ際宛所ニ於テ名宛人ニ出會ハサル爲之ニ代ツテ交付シ得ル同居者ハ親族タルヲ要セス又雇人ハ同居者タルヲ要セサルニ至リタルコト
- (三) 審査書類郵便物ノ特別取扱料金ハ從來三錢ナリシヲ五錢ニ改メ其ノ他凡テノ取扱方ハ訴訟書類及審判書類郵便物ト同様トナリタルコト
- (四) 訴訟書類郵便物ノ表面ニ表示スル「訴訟書類」ノ文字ハ審判書類、審査書類郵便物ニ對スル如ク差出人ニ於テ記載ノコトニ改メラレタルコト
- (五) 訴訟、審判及審査書類トモ表面ニ記載スル書留ノ文字ハ省略シ得ルコトトナリタルコト

訴訟審判及審査書類

- (六) 郵便送達證書ノ名稱ヲ郵便送達報告書ト改メ之ヲ郵便物ノ裏面ニ貼付シテ差出スコトニ改メラレタルコト
- (七) 書類送達委任簿ヲ用ヒ同時ニ多數ノ郵便物ヲ引受ケタル場合從來引受帳ハ各別ニ調製シタリシモ一通ノ引受帳ニ一括記入ノコトニ改メラレタルコト
- (八) 配達場所ハ(一)宛所(二)宛所以外ノ住所、居所、營業所又ハ事務所(三)受取ヲ拒マサレハ名宛人ニ出會ヒタル場所ノ孰レヲモ撰擇シ得ルコトトナリタルコト
- (九) 從來郵便送達證書ニハ受取リタル者ノ署名捺印ヲ要シタリシモ改正ノ郵便送達報告書ニハ受取リタルモノノ署名又ハ捺印ノ何レカ一方ニテ可ナルコトトナリ尙其ノ何レヲモ爲シ得サル場合ニ於テモ捺印等ヲ爲サシメス集配手ニ於テ其旨記入ノコトトナリタルコト
- (三) 宛所以外ノ場所ニ於テ配達シタルトキ、名宛人以外ノ者ニ交付シタルトキ、配達スヘキ場所ニ差置キタルトキ等ハ各相當事項ヲ配達帳餘白ニ記入スルコトトナリタルコト
- 二、取扱上注意ヲ要スル事項
 - (一) 郵便送達報告書用紙ハ訴訟審判又ハ審査書類郵便物ノ量目ニ算入セサルコト
 - (二) 郵便送達報告書用紙ノ添付ナキカ又ハ相當事項ノ記入ナキ場合ハ配達局ニ於テ便宜ナリタルコト

- (三) 調製若ハ記入ノ上其旨引受局へ通牒ノコト
- (四) 郵便送達報告書ノ作成ニハ鉛筆ヲ用フルコトヲ得サルコト
- (五) 郵便送達報告書ニハ現ニ受取リタル者ヲシテ署名又ハ捺印セシメ尙二欄、三欄ニ記載シタル事務員、雇人、同居者ニ交付又ハ差置キタルトキハ其ノ資格ノ下ニ其ノ氏名ヲ集配手ニ於テ記入スルコト
- (六) 宛所以外ノ出會ヒタル場所ニ於テ配達スル場合ニハ必ス名宛本人ニ之ヲ爲スコトヲ要スルニ付格段ノ注意ヲ拂フヘキコト
- (七) 訴訟、審判又ハ審査書類ノ送達ヲ受クヘキ者左ノ場合ニ該當スルトキハ其ノ訴訟、審判又ハ審査書類郵便物ハ裁判所等ニ於テ夫々下記ノ者ニ名宛シ差出スヘキモノニ付若シ之ニ依ラサル爲宛所ニ於テ配達シ能ハサル場合ハ其ノ旨附箋シ差出裁判所等ニ還付スルコト
 - (イ) 軍事用ノ應舎又ハ艦船ニ屬スル軍人軍屬ナルトキ
 - (ロ) 在監者ナルトキ
 - (ハ) 訴訟無能力者ナルトキ

其ノ應舎又ハ艦船ノ長
 刑務所長
 法定代理人

訴訟審判及審査書類

○高等海員審判所ヨリ郵便送達報告書調製上左記事故アリ支障不尠旨申出アリタルニ付相當注意方取計アレ（昭和五、二、郵業一八〇、各遞）

一、郵便送達報告書中ノ（一）（二）（三）ノ欄中不要ノ欄ハ之ヲ抹消スヘキモノナルニ不拘之カ抹消セサルモノ

二、名宛本人以外ノ者ニ送達シタル場合ハ（二）ノ欄相當資格ノ下ニ受取リタル者ノ氏名ヲ記入スヘキモノナルニ之カ記入ヲ爲ササルモノ

三、送達年月日時並送達ノ場所ヲ全然記入セサルモノ又ハ送達場所記載方簡單ニ失スルモノ

●名宛變更及取戻

○取戻ノ請求ハ引受局ニ限ル（三四、一二、通郵乙一〇五一四、大阪）

○取戻郵便物還付ノ際ハ直ニ請求人ニ交付セス配達ノ例ニ依リ取扱フヘシ但シ取扱規程第三十七條第三號ノ場合ハ此限ニ在ラス（三四、一二、各）

○郵便物取戻ノ場合差立準備前トハ未タ行囊ニ納メサルトキヲ謂フ（四〇、四、通業乙二六六二、各）

○郵便物ノ取戻又ハ名宛變更ノ通知ヲ遞送途中局ニ爲ス場合ハ其ノ通知ヲシテ無効ニ歸セシメサル様特ニ細心ノ注意ヲ拂フヘシ（四三、一二、通業六八二八、各）

○名宛變更ニハ肩書ノミノ變更ヲモ含ム（三、五、通業二〇五四、各）

○規則七十九條第二項ニ所謂差立ハ自局ニ於テ引受ケ且自局ニ於テ配達スル郵便物ニ關シテハ配達ト解シ取扱フヘシ（一四、三、郵六八二、大阪）

●轉送及還付

- 書留郵便物ハ代人受領後轉送ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス(三六、一二、通庶乙一三七六、東京、三四、九、長野)
- 留置郵便物ノ轉送留置、配達又ハ轉送配達ハ便宜其ノ請求ニ應ス(三七、四、通庶甲二三四六、各)
- 郵便規則第八十一條ニ依ル轉送郵便物ノ局留置ノ請求ニ付テハ明治三十七年四月通庶甲第一二三四六號通牒ノ趣旨ニ依リ處理支ナキ義トス(昭和四、七、廣島)
- 晝間不在ノ故ヲ以テ勤務先へ轉送方請求アルモ之ニ應セス(四〇、三、通業乙一七四六、仙臺)
- 一旦配且達シタル書留ハ轉送又ハ還付セサルニ付之カ請求ノ付箋ヲナシ投函シタルモノハ書留ノ記號ヲ抹消シタルモノハ料金未納ノ普通トシテ取扱ヒ記號アルモノハ成規違反トシテ還付ス(四〇、九、通業乙六九一〇、各)

○到著日附印押捺ナキ郵便物ノ再出ニ關スル日限調査ハ引受印又ハ差出月日ニ依リ配達ノ日ヲ寛カニ見込ミ算出シ右不明ナルモノハ便宜日限内ニ差出シタルモノトシテ取扱フヘシ(元、八、通業五二二、各)

○受取人不明ノ爲郵便物還付ノ際差出人ヨリ該受取人ハ肩書ノ地ニ現住スルコトヲ立證シテ之カ再配達方ヲ要求シタル場合ハ其ノ申立ヲ事實ト認ムルトキハ之ニ應スルモノトス(四、四、通業一五六四、西部)

○未納不足郵便物ヲ料金徴收配達後轉送請求スルモノアルトキハ料金徴收済ノ旨符箋シ一般郵便物ト同様取扱フヘシ(四、七、通業二九八二、西部)

○一旦還付シタル郵便物ヲ差出人ヨリ配達局ノ調査粗漏トシテ再出シタルトキ該郵便物カ最初肩書完全ニシテ差出人ノ申出ヲ事實ト認ムルトキハ再配達ヲ試ムルモノトス(五、七、通業三七七三、西部)

○配達後十日ヲ經過シテ差出シタル爲未納トシテ取扱ヒタル郵便物ヲ受取人受取ヲ拒ミタル際ハ最初ノ差出人ニ還付シ不納額ノ二倍ヲ徴收ス(六、六、通業三二一八、北海道)

○内國郵便物ノ受取人外國ニ移轉シタルトキト雖當該郵便物カ外國郵便ニ適合スルモノハ外國へ轉送スルコトヲ得料金徴收方ハ萬國郵便條約施行規則第四百五條、外國郵便取扱規程第百八十八條及同條ノ二ニ依ルヘシ(六、八、通業四三九五、東部)

○配達不能郵便物ハ差出人居住地ノ集配受持局ニ送付スヘキモノナルニ不拘引受局ニ還付スル向アリ殊ニ切手別納及約束郵便物中ニ多キ趣ニ付一般ニ注意アレ(一五、四、郵業五三〇、各遞)

○自局ノ配達ニ係ル年賀特別取扱郵便物中受取人所在不明又ハ移轉先不明等ノ爲配達不能ノ事實明瞭ナル郵便物ハ爾今左記ノ通處理スヘシ(一五、一、郵業九七三、各)

一、配達局ニ於テハ年内ト雖直ニ年賀特別取扱郵便物ト同一ノ遞送方法ニ依リ引受局(差出人居所ノ集配受持局トス)へ返送スルコト

二、返送ヲ受ケタル局ニ於テハ他ノ年賀特別取扱郵便物配達ト同時ニ差出人ニ還付スルコト

○通貨封入ノ内國普通々常郵便物差出人外國ニ居住ノ事實判明ノ爲外國宛還付ノ場合ハ郵便規則第八十二條ノ二ノ例ニ依リ差出人ニ對シ郵便規則第四條第二項第二號ニ依ル通貨價格

表記料ノ三倍及還付ニ要スル郵便料（外國郵便ニ依ル書留又ハ同價格表記料）並還付手數料送付方照會ノ上相當處理スヘシ（昭和二、五、郵三一三、大阪）

○郵便物ノ受取人他ニ移轉シ其ノ移轉先分明ナルトキハ轉送スヘキ義ニ候處最近某局ニ於テハ受取人ヨリ依頼ヲ受ケタリト稱シ郵便物轉送方ノ請求ニ對シ取扱當務者ハ其ノ儘之ヲ受理シ轉居先ニ郵便物ヲ配達シタルニ事後ニ至リ事實受取人ノ依頼ナカリシコト及受取人以外ノ者之ヲ受取り開披シタルコト判明シ重大ナル問題ヲ惹起シタル事例有之如斯ハ當ニ郵便物ノ受發人ニ至大ノ迷惑ト損害トヲ蒙ラシムルノミナラス延テハ公衆ヲシテ事業ニ對シ疑惑ノ念ヲ懷カシメ斯業ノ信用上影響スル所鮮少ナラサルモノ可有之ニ付爾今轉居届出アリタル場合ハ口頭申出タルト書面提出シタルトヲ問ハス果シテ轉居ノ事實アリヤ否ヤ其ノ眞否ヲ確認ノ上轉送スル様處理上充分留意アレ（昭和四、一〇、郵業九六〇、各）

○普通小包ヲ轉送請求者ニ於テ書留小包トシテ轉送方請求スルコトヲ得ス（四〇、一〇、通業乙七七二八、札幌）

○一旦配達シタル普通小包ハ轉送還付ヲ許ササル趣旨ナリ（四一、七、新潟）

○市内特別郵便物ヲ還付スル場合ハ差出人取扱區域外ニ居住スルトキト雖其儘還付スヘシ（四三、五、通業六七二、大阪）

○同一人ニ宛テタル小包數個到着ノ場合甲ハ何地ヘ乙ハ何地ヘ等分割轉送方請求シ得サルモノトス（二、五、通業一五七〇、札幌）

○同一人ニ宛テタル數個ノ留置小包ハ分割受取又ハ分割轉送ヲ請求スルコトヲ得ス單ニ携帶上ノ都合等ニ依ルモノハ便宜ノ處理ニ出テ支ナシ（二、八、通業二八三八、新潟）

●郵便切手類ノ効力

○偏隅斜截若ハ中央横斷ノ形跡アル如キ斷片ヲ接合シタル切手ハ無効トス（三三三、一〇、仙臺）

○觀兵式記念郵便切手ヲ電信、電話及爲替料金ニ使用セムトスル者アルトキハ便宜有效トス（三九、四、通法乙三六五九、各）

○誤テ消印又ハ汚班シタル切手ハ未使用ト雖無効ナリ（三九、一一、通業四七八、各）

○郵便葉書ノ料額印面以外ノ部分ヲ汚班毀損シタルカ爲第一種ト同一ノ取扱ヲ爲ス場合ニ於テ葉書ノ原形ヲ失ハサルモノノ料額印面ハ有效トシテ取扱フ（二、二、通業二七五六、各）

○封緘葉書ノ料額印面ノ印刷シアル一面全部ヲ存スルトキハ便宜有效トシテ第一種トシテ取扱フ同半面ノミ切抜キタルモノハ無効トス（八、六、郵一七六八、北京）

○法第三十條ニ謂フ料金ヲ表彰スヘキ證票トハ郵便葉書ニ在リテハ料額印面ノミナラス其ノ全面ヲ指稱ス（一三、三、郵八七二、私人）

郵便切手類ノ効力

○郵便料ニ相當スル郵便切手ハ總テ封皮自體ニ貼付スルコトヲ要シ假令封皮ノ一部ヲ切り開キ其ノ内部ニ貼付シタルモノハ料金未納トシテ取扱フ(昭和一〇、一一、郵業一〇〇五、私人)

●郵便禁制品

○石炭、木炭、樹脂、結晶セル樟腦及植物油ノ如キハ發火性ノモノニアラスシテ火氣ニ接觸セサレハ燃燒セス故ニ包裝完全ナルニ於テハ危險ト云フヲ得サルモ之等ノ物件ヲ禁制品トスルヤ否ハ其ノ實體ニ付相當認定スヘシ(三五、一〇、神戸)

○生活セル蛇ヲ包有セル小包郵便物ト雖モ包裝絶對ニ完全ナルモノハ禁制品ニアラス(一〇、九、大阪)

○死體ハ郵便禁制品トス(昭和三、七、郵業六四七、名古屋)

○裸體繪葉書類取締方ニ關シ今般内務省警保局長ヨリ各廳府縣長官宛別紙寫ノ通通牒ノ趣ニ付右取締方針參照ノ上禁制品認定方取計相成度(一一、一、郵四七一五、名古屋)

内務省祕第二一三六號ノ丙 大正十年十二月二十三日

各廳府縣長官宛

湯地内務省警保局長

裸體繪葉書類取締方ニ關スル件依命通牒

郵便禁制品

裸體繪葉書類取締ニ關シテハ名畫及美術上相當ノ價值アリト認メラレルモノノ縮寫ニ對シテハ比較的寬大ニ又肉體ノ寫眞ハ美術ト認メス比較的嚴重ニ取扱來候處最近ニ至リ曩ニ不問ニ附シタルモノト原畫ハ同一ナルモ其ノ印刷ヲ粗惡ニシ若ハ原書ノ調子ヲ表現スル爲ト認メラレサル著色ヲナシ之ニ依テ反テ挑發的ノモノトナリ爲ニ禁止セラルルモノアルノ情況ニ有之右ハ畢竟發行當事者ニ於テ取締ノ方針ヲ諒解セサル結果ト被存候ニ付自今大體左記標準ニ該當ノモノハ禁止相成ヘキ筈ニ付貴管内印刷業者繪葉書販賣店及輸入繪葉書取扱店等ニ對シ豫メ該標準指定ノ上懇篤御諭旨相成度

追テ左記五號該當寫眞ニシテ陰部ノ一部ニテモ寫サレタルモノハ(兒童ヲ除ク)猥褻寫眞トシテ大正七年十一月七日訓第七一六號訓令ニ依リ御取扱相成度

記

- 一、相當美術上ノ價值アリト認メララル裸體ノ繪畫若ハ彫塑像ノ縮寫ト雖モ其ノ態度又ハ周圍ニ配セル物體若ハ著色ノ爲メ挑發的ニ表現サレタルモノ
- 二、印刷粗惡不鮮明若ハ寫影小ニシテ美術上ノ價值ヲ認メラレサルモノ
(例、一ノ繪葉書内ニ數個ノ繪畫ヲ排列スルカ如シ)
- 三、美術上ノ資料ニ供スル目的ニテ發行セルモノト認メラレサルモノ
(例、兒童ノ玩具ニ供スル目的ニテ發行スルカ如シ)

四、原畫ニ基キ之ヲ修正シ若ハ加筆セルモノト認メララルモノ
(例、陰部ヲ特ニ黒クスルカ如シ)

五、態度及向ノ如何ヲ問ハス全裸體ノ肉體ヲ撮影シタルモノ

六、肉體ノ寫眞ニシテ半身若ハ布片ヲ纏ヘルモノト雖モ其ノ姿體表情ノ醜惡ナルモノ

七、男女抱擁、接吻(兒童ヲ除ク)ノ繪畫彫塑像ノ縮寫及寫眞

○今般内務省警保局長ヨリ各應府縣長官宛別紙ノ通々牒ノ趣ニ付郵便禁制品認定上ノ參考ニ供セラレ度(一一一、一〇、郵六五〇六、各遞)

内務省警第一七九號 大正十二年十月二十八日

應府縣長官宛

内務省警保局長

出版物取締ニ關スル件依命通牒

本年十月十一日特殊ノモノヲ除キ一般出版物ノ差押處分ノ委任解除ノ旨電報通牒候處震火災ニ因ル慘死者及罹災婦人ノ沐浴ヲ撮影シタル寫眞及繪葉書ノ類ニ對シテハ將來モ改メテ稟伺ニ及ハス内務大臣ヨリ風俗ヲ害スルモノトシテ發賣頒布禁止差押處分ノ命令アリタルモノトシテ差押ノ上現品添付報告相成度

郵便禁制品

郵便禁制品

二四六

○廣告印刷物ニ一見恰モ春畫淫本ノ類ヲ提供スルカ如キ挑發的の字句ヲ羅列シタルモノハ其ノ現品ノ如何ヲ問ハス廣告自體風俗上有害ト認メラルルニ付郵便禁制品トシテ處理スヘシ（二三、四、郵八八九、各）

○極少量ノ黃磷ヲ含ム殺鼠劑ハ郵便禁制品トシテ處理スヘキニアラス但シ引受ニ際シテハ包裝ノ適否ニ充分注意スヘシ（一五、一〇、郵業一二一九、廣島）

○所謂「幸運ノ手紙」ハ郵便禁制品トシテ處理スヘキ限ニ非ス（昭和六、五、郵業三八八、内務省、東京、名古屋、廣島、仙臺）

●成規違反

○一旦配達シタル書留ヲ轉送又ハ還付方ノ付箋ヲ爲シ投函セルモノハ其ノ書留ノ記號ヲ抹消セサルモノハ成規違反トシテ再出者ニ還付ス（四〇、九、通業乙六九一〇、各）

○書留小包ニ通貨ヲ封入セルモノノ如キ郵便法違反トセス成規違反トシテ規則第四條ノ取扱ヲ爲スヘシ（四一、一、通庶乙二二一九七、橫濱）

○商品見本雛形ハ其ノ文字表記アルモ他ノ要件ヲ缺クモノハ成規違反トシテ還付ス（四五、二、通業五六五四、各）

○投函シタル約束郵便物ハ成規違反トシテ還付ス（二、八、通業三七二一、東部）

○普通郵便物中通貨在中ナルコト發見シタルカ爲差出人ニ還付スル場合ハ價格表記郵便物トシテ取扱フヘシ（四、二、通業八一五、長野）

○商品見本ノ文字アルモ營業名ノ記載ナキモノハ成規違反トシテ還付ス（六、六、通業三三一八、北海道）

成規違反

二四七

●犯罪及事故郵便物

○犯罪郵便物ハ差出人不明ノ場合ト雖受取人ニ交付スヘカラス(三一、六、小乙八六五、大阪)

○第四種中寫眞亡失封筒ノミ到着シタルモノ配達ノ際受取人ハ受取ヲ拒ムコトヲ得ス(三八、一通庶乙四五〇、廣島)

○特殊郵便物配達ノ際封印ニ異狀アルモノハ相當附箋ノ上受取人ノ注意ヲ惹キ事故アルモノナラハ賠償權ヲ保有セシムル様努ムヘシ(三九、一〇、通法乙八九七六、各)

○受取拒絶ノ爲判決確定後裁判所ヨリ廻送セラレタル郵便物ハ再度受取人ニ配達スヘシ(四一、三、通業乙一五一九、東京)

○同居ノ親族カ同居ノ他ノ親族ニ宛タル料金完納郵便物ノ受取ヲ拒ミ又ハ受取人ニアラサル宛所ノ者ニ於テ其ノ受取ヲ拒ムモ特ニ受取ノ義務アル場合ヲ除クノ外法第二十三條違背ニアラス(四三、七、東京)

○郵便物不著取調ノ爲差出シタル證據材料ハ調査終了迄取置クヘシ
無集配局引受ノ代金引換郵便物ノ取調ニ對スル引換局ノ回答ハ該無集配局ノ集配受持局經
由ニ之ヲ爲スヘシ(二、一、通業二六五、各)

○損害ノ疑アル郵便物ニ對シ立會閉披ヲ求ムルノ手續ハ其ノ受領ヲ強制シ得ヘキ郵便物ニ對
スル處理手續ニシテ代金引換ノ如ク任意受取人ノ來求ヲ俟テ交付スルモノニハ適用ナシ
(二、九、通業四二七九、北海道)

○禁制品封入ノ疑アル郵便物ハ其ノ遞送途中局タルト配達局タルトヲ問ハス特ニ嚴重檢査ス
ヘシ(五、一、通業二一五、各遞)

○郵便法違反其ノ他ノ事由ニ依リ押收セラレタル小包郵便物ヲ處理濟ノ上差出人ニ還付スル
場合ハ有料郵便物トシテ還付シ若シ料金増加ヲ要スル區域ニ還付ヲ要スルトキハ料金差額
ヲ徴收スヘシ(六、六、通業三二一八、北海道)

○行囊主管局ヘ納付ノ過超行囊中ニ郵便物殘留セル事實往々アリ右ハ郵便物ノ遲延、亡失等
ノ事故ヲ醸成スルノミナラス事業ノ信用上甚タ遺憾ノ義ニ付行囊開披ノ際ハ篤ト注意シ事

故ノ防遏ニ努ムヘシ(一〇、二、郵三五五、各)

○濕濡又ハ毀損郵便物ヲ其ノ儘遞送、配達スルモノアリ殊ニ小包郵便物ノ毀損ニ在リテハ遞
送途中在裡品脫出シ公衆ノ迷惑尠カラサルニ付規定通損所ノ修補ヲ勵行スヘシ(一〇、七、
郵二六〇〇、各)

○小包郵便物引受後ニ於テハ假令包裝不適當ニ因ル毀損ノ場合ト雖モ之ヲ差出人ニ還付セス
規程三百九十四條ノ手續ヲ了シ送達スヘキモノトス(一三、六、郵一八七九、廣島)

●差押郵便物

○差押郵便物ノ通達方ハ全部公報ニ掲載ス至急ヲ要スルモノハ地方廳ヨリ直接遞信管理局ニ通知アル筈ニ付其ノ通知ヲ受ケタルトキハ至急通知ヲ要スル關係局ニ對シ管理局ヨリ電報又ハ電話ヲ以テ通報シ其他ノ區内各局ニ對スル文書通知及局報掲載ヲ廢止スヘシ(二、四、通業一四八八、各管)

○新聞紙ノ差押命令中其ノ記號例令ハ「市内版、市外版、第一版、第二版、ABC又ハ黒點數等ヲ附記シアル場合ハ號數ヲ同シクスルモ其ノ記號ニ該當スルモノノミ差押フヘシ(三、七、秘三四一、各遞)

○新聞紙等差押方ニ關シテハ左記ノ通便宜ノ取扱ヲ爲スヘシ(三、一二、通業三六九四、各遞)

- 一、警察官署ニ於テハ郵便官署ヨリ差押郵便物ノ受領方要求アリタル場合ハ未タ差押ノ命令ニ接セサルトキト雖モ假ニ之ヲ受領シ置キ命令ノ到達ヲ待テ正規ノ手續ヲ爲スコト
- 一、郵便官署ニ於テハ警察官署ヨリ差押執行命令書ヲ提示シ差押郵便物ノ引渡方要求アリタル場合ハ未タ差押ノ通報ニ接セサルトキト雖當該郵便物ハ其ノ通報ニ接スル迄自局

差押郵便物

ニ留置キ遞信公報告知其ノ他ノ通報ヲ待ツテ正規ノ手續ヲ爲スコト

○風俗ヲ壞亂スルモノト認メ内務大臣ニ於テ發賣頒布ヲ禁止セラレタル繪葉書ヲ郵便法違反トシテ告發シタルニ檢事ハ郵便規則第一條ノ二第一號ニ該當スヘキモノニアラス隨テ其ノ所爲罪トナラストシ不起訴處分ニ附シ還付シタリ此ノ場合同郵便物ハ取扱規程四百三十六條以下ニ依リ警察官署ニ引渡スヘキモノトス(七、一一、郵一五三二、名古屋)

○内務省ニ於テ新聞紙差押處分ニ際シ事項ヲ指摘シテ差押方訓令ノ場合ニ於テモ從前ノ通常該號全部差押ノ上警察官署ニ引渡ヲナシ郵便官署ハ之カ還付ヲ受ケサルコト(但シ郵便官署ニ於テ該當記事ナキ部分ノ還付ヲ特ニ請求シタル場合警察官署ハ處理上支障ナキ限り之ニ應スルコト)ニ内務省ト協議濟ニ付取扱上遺漏ナキ様處理スレ(九、一一、郵三七八三、各遞)

○内務大臣ニ於テ發賣頒布ヲ禁止シタル出版物ハ既ニ個人ノ占有ニ歸シタル單個ノ物件ト雖モ尙之カ差押ヲ執行シ該差押郵便物ハ取扱規程第四百三十六條ニ依リ最寄警察官署ニ引渡スヘシ(一三、六、郵一七五六、各遞)

●軍隊及軍艦宛郵便物取扱方

○軍隊ニ屬スル郵便物及電報並爲替貯金ハ左ノ取扱手續ニ依リ取扱フヘシ(四二、八、通業甲六六七、各)(一五、四、郵業二一一號ヲ以テ改正)

第一條 軍隊宛郵便物及電報並爲替貯金ハ一般ノ規定ニヨルノ外尙本手續ノ定ムル所ニヨリ取扱フヘシ但年末首其他特別ノ場合ニ於テハ豫メ軍隊ト協定ノ上本手續ニ依ラサルコトヲ得

第二條 普通通常郵便物ハ聯隊本部、大隊本部及各中隊毎ニ區分シ各其ノ郵便受取函ニ配付スヘシ但シ聯、大隊本部ニ於テ郵便受取函ヲ共用スルトキハ其ノ區分ヲ省略スルコトヲ得

第三條 平常特殊郵常郵便物ノ配達數僅少ナルカ又ハ其ノ他特殊ノ事由アルトキハ軍隊ト協定ノ上前條ノ各郵便受取函ヲ聯、大隊本部又ハ衛兵所等便宜ノ場所ニ取纏メ併置セシムルコトヲ得

第四條 第二條ノ場合ニ於テ中隊ノ明カナラサルモノハ大隊本部ニ又大隊ノ明ナラサルモノハ聯隊本部ニ區分スヘシ

第五條 書留、價格表記通常郵便物及小包郵便物ハ聯隊本部大隊本部又ハ中隊ニ配達シ相當軍隊及軍艦宛郵便物取扱方

軍隊及軍艦宛郵便物取扱方

二五六

責任者ニ引渡スヘシ

第六條 料金取立ノ上交付ヲ要スル郵便物及料金追徴ヲ要スル電報ハ各本部又ハ中隊ノ相當責任者ヲ經テ成規ノ手續ヲ爲サシメ又直ニ其ノ手續ヲ了シ能ハサルモノハ該責任者ニ料金取立書又ハ料金受領證書ヲ預ケ置クコトヲ得

第七條 電報及速達郵便物ハ名宛シタル各本部又ハ中隊ニ配達シ相當責任者ニ引渡スヘシ以下省略

○軍隊宛郵便物ハ受領者ヲシテ名簿ヲ調製シ置カシムル様協議シ受授ヲ正確ニスヘシ(一、一、通業二六五、各)

○艦船宛郵便物ノ集中局ニ對シ艦船行動速知ノ爲特ニ海軍省ト交渉ノ上海軍公報ヲ配布シ直接同省ヨリ集中局長宛親展トシテ送付セルヘキニ付嚴ニ秘密ヲ保タシメ主務者以外ニ對シテハ絕對ニ閱覽セシメサル様取締ラルヘシ(六、一一、規六八、各遞)

●郵便函ヨリ發見シタル物件等處理

○郵便函ヨリ發見シタル物件及裁判所ヨリ還付ヲ受ケタル物件等ハ左記ニ依リ取扱フヘシ(四〇、五、通業甲三八五、各)

- 一、郵便函内ヨリ發見シタル郵便切手ニシテ郵便物ヨリ離脱セシモノト認メラル、モノハ之ヲ消印スヘシ
- 二、郵便函内ヨリ發見シタル物件ニシテ郵便物内ヨリ脱出シタルモノト認メラルモ發受人不明ノモノハ不能還付郵便物ノ例ニ依リ之ヲ取扱フヘシ
- 三、郵便函内ヨリ發見シタル郵便切手類及其ノ他ノ物件ニシテ前二項ニ該當セサルモノハ遺失物法ニ依リ之ヲ處理スヘシ
- 四、裁判所ヨリ還付ヲ受ケ又ハ犯人ヨリ回收シタル郵便切手ニシテ郵便物ヨリ剝取りタルモノナルトキハ之ヲ消印スヘシ
- 五、裁判所ヨリ還付ヲ受ケ又ハ犯人ヨリ回收シタル郵便物内ノ物件ニシテ發受人不明ノモノハ不能還付郵便物ノ例ニ依リ之ヲ取扱フヘシ
- 六、第一項及第四項ノ場合ニ於テ其ノ郵便切手ニ該當スル郵便物アルトキハ之ニ貼付シ若其ノ郵便物不明ナルトキハ郵便日記帳ニ貼附シ其ノ事實ヲ明記シ置クヘシ

郵便函ヨリ發見シタル物件等處理

二五七

○郵便函内ヨリ發見シタル郵便爲替證書ハ爲替取扱規程第二十三條ニ準シ處理スヘシ(四一、八、通業甲九七六、各)

○官廳ノ拾得ニ係ル遺失物取扱方ノ件(四四、七、遞經主第二九六三)

官廳ニ於テ拾得シタル遺失物ヲ警察官署カ公告シタル後一箇年ヲ經テ遺失主ヨリ申出ナキ場合ハ一般會計所屬官廳ノ拾得ニ係ルモノニ付テハ警察官署ニ於テ直ニ歳入ニ編入ノ手續ヲ爲シ又特別會計所屬官廳ノ拾得ニ係ルモノハ警察官署ヨリ該拾得物ノ下戻ヲ受ケ相當手續ノ上歳入ヘ拂込ノ手續ヲナスヘシ

●陛下及殿下宛郵便物取扱方

○陛下及殿下宛郵便物並電報ハ郵便法電信法違反ノモノヲ除キ其他ハ普通ノ取扱ニ依リ宛所ニ於テ相當係員ニ配達ス其ノ宛所記載ナキモノハ左ノ所轄局ニ於テ當該送達先ヘ配達ス(三、三、通業一〇二二、各遞)

宛名	送達先	所轄局
天皇陛下	宮内大臣官房總務課	東京中央局
皇后陛下	皇后宮職	同
皇太子殿下	(東宮御所)東宮職	赤坂局

○陛下宛郵便物ニシテ表記文字ヨリ推察シ禁制品(不敬ニ渉ル文字等)ヲ封入セル疑アルモノハ法十六條ニ依リ差出人ニ開示ヲ求メ若シ開示ヲ求ムルコト能ハサルトキハ其ノ取扱ヲ拒絕スヘキ性質ノモノニ付此ノ場合ニ於テ差出人不明ナルトキハ法十四條ニ依リ不能還付トシテ處理スヘシ(五、三、通業一〇四〇、北海道)

●各種期間ノ計算方

- 郵便電信局ニ於ケル時間ハ中央標準時ニ依ル(三一、五、郵甲二七〇九、各一)
- 通信法規中間計算方ニ付テハ期間計算方ニ關スル民法ノ規定ニ依ル追テ「何日ヨリ起算シ」トアルモノハ起算日ヲ特定シタルモノトス(四二、六、東京)
- 通信法規中「何々ノ日ヨリ何日間」トアル場合ノ期間計算方ハ初日ヲ算入セス但シ初日カ午前零時ヨリ初マルトキハ例外トス(三、一〇、通業一九三、西部)
- 留置郵便物ノ留置期間ハ留置局變更ト共ニ更新ス但局廢止ノ結果留置局變更ノ場合ハ前後通算ス(三六、六、通郵乙六九〇五、大阪)
- 代金引換到著通知書ノ發送ヲ洩シタル爲留置期間ヲ滿了セシメタルモノハ更ニ通知書ヲ發送シ成規ノ期間留置クモノトス(三七、八、通庶甲一八五一、臺灣)
- 留置ノ指定アル代金引換ハ單ニ留置局所ヲ指定シタルモノト看做シ代金引換トシテノ留置期間ヲ延長セス(四〇、六、通業乙二四九、東京)

各種期間ノ計算方

○代金引換到著通知書調製上必要事項ヲ引受局ニ照復中ノ期間ハ便宜留置期間ニ計算セス
(六、六、通業三二七五、新潟)

○通信ニ關スル法令ニ依リ取扱期間ノ定メアルモノニシテ現金受拂ヲ伴フ場合其ノ期ノ末日
カ祝祭日等ニ當リ當該局ニ於テ現金受拂ヲ取扱ハサルトキハ其ノ翌日ヲ以テ期間滿了スル
モノトシテ處理スヘシ(八、一二、郵二〇八六、各)

○無集配局ニ於テ交付スヘキ代金引換郵便物到著通知書ニ記載スヘキ留置期間ハ留置局タル
無集配局ニ到著スヘキ日ノ翌日ヨリ起算シ之ヲ記入スヘキモノトス(一一、八、郵二九七
四、各)

○一日(午前午後ノ區別亦倣之)ハ午前零時零……ニ始マリ午後十一時五十九分五十九……
ニ終ルモノニシテ正十二時ニ到達シタルトキハ其ノ瞬間ニ於テ翌日トナリ之ヲ午前零時ト
呼稱スヘキモノトス(一一、八、郵三一一一、各)

○到著通知書ニ留置期限ヲ記入スル場合ハ八年十二月郵第二〇八六號通牒ニ不拘郵便規則ノ
定ムル期間ニ依ルヘキモノトス(一三、六、郵一七五七、廣島)

●私書函貸與

○私書函使用規則改正ニ付テハ左記了知アレ(九、五、郵一一七八、各遞)

一、使用廢止ノモノヲ直ニ他ニ使用セシメサル等ノ方法ニ依リ前使用者宛ノ郵便物ト混淆
ヲ防クコト

二、使用者ノ發信郵便物ニハ常ニ「何縣何局私書函第何號」ト肩書セシメ番號周知ニ努メ
シムルコト

○郵便私書函使用者ニ宛テタル郵便物ハ其ノ私書函番號ヲ肩書セサルモノト雖配付シ得ルコ
トトナリタルモ彼我何レヨリ見ルモ私書函番號記載ノ普及ハ最モ望マシキ所ナルヲ以テ之
ヲ記載セサル郵便物ハ私書函ニ配付セラレサル場合アルヘキ旨ヲ懇示シ從來通之カ普及ニ
努ムルコト(昭和四、八、郵業八五七、各)

○郵便私書函使用ニ關シテハ左記了知アレ(昭和五、七、郵業四五三、名古屋)

- 1 郵便私書函ヨリ郵便物ヲ受取ルコトハ郵便受付時間ノ制限ニ拘ラサルモノトス
- 2 郵便規則第六十七條ノ二後段ノ場合ニ於テ郵便官署ノ窓口交付ヲ受クル郵便物ニ付テ

私書函貸與

二六四

ハ郵便受付時間外ニ請求シ得ス

○郵便私書函ハ遞信官署ト雖無料ヲ以テ使用セシメ得サル義トス（昭和七、一一、郵業八七
二、大阪）

現業事務雜件

現業事務雜件

三 現業事務雜件

●通信日附印及印肉使用方

○歐文日附印其ノ他ノ「ゴム」印ハ從來「アニリン」色素ヲ以テ製シタル紫色「インキ」又ハ「ブリウブラツクインキ」等ノ類ヲ使用ノ處右ハ一種ノ藥液ヲ以テ洗滌スルトキハ紙質又ハ切手面ヲ損セスシテ印影ヲ洗滌シ去ルノ虞アルニ付「ゴム」印使用ノ印肉ハ可成酸類ニ侵サレ難キモノ假令ハ松烟ノ類ヲ以テ製シタル墨色ニ極メテ稀薄ナル油料ヲ加ヘタルモノノ類ヲ使用スヘシ（三六、一二、通郵甲一八五四、各一）

○日附印更植ノ際ハ適當ノ方法ニ依リ検査シ誤植ナキ様注意スヘシ（三八、一、通庶乙八五三、各）

○スタンプ用黒肉使用方ニ付左記了知スヘシ（三八、九、通郵乙九六五、各一）

一、黒肉ヲ使用スルニハ左圖ノ如キ肉褥ヲ調製スヘシ（材料ハ旋物又ハ金屬製トシ羅紗又ハ小倉片綾綿布ノ類ヲ以テ覆ヒ下部底板ハ鋏又ハ木捻ニテ取付其ノ内部ハ古毛氈若ハ絨毳毛布等ノ布片ヲ重ネ凸凹セサル様圖ノ如ク調製スルモノトス）
（圖ハ略ス）

通信日附印及印肉使用方

- 一、肉褥面ハ毎朝必スフラツシニテ塵埃ヲ掃除シ黒肉ヲ濃淡其ノ度ニ適スル様注入スヘシ
- 一、肉褥ハ常ニ凸凹又ハ裂所ヲ生セサル様注意シ大破ニ到ラサル前取替フヘシ

○通信日附印ハ現業事務以外ノ普通ノ文書等ニ使用スヘカラス(三九、二、通法乙七六六〇、各)

○日附印押捺方不良ニ付左記事項嚴ニ勵行セシメラレタシ(二、一〇、通業四七五〇、各遞)

- 一、日附印及肉池ノ掃除ヲ嚴ニスルコト
- 二、日附印磨滅ノモノハ平常速ニ之カ引換ニ努ムルコト
- 三、日附印ノ押捺方徒ニ敏速ヲノミ事トシ一回ノ印肉ニテ多數ノ郵便物ヲ連續押捺スル如キ弊ナカラシムルコト
- 四、配達局ハ勿論途中局ニ於テモ郵便物ノ區分ヲ爲ス際ニハ消印洩等ノ有無ニ注意スルコト
- 五、集配人配達ノ際消印洩ヲ發見シタルトキハ封皮等ヲ一應申受ケ持戻ラシメ相當消印ノ上返付スルコト

○郵便受付時間外ニ於テハ現ニ日附印ノ使用ヲ要スル場合ノ外日附印規程第六條ニ依リ日附

印ノ更植ヲ要セス(七、四、通業二一九、各)

○警句入日附印ハ事務ニ支障ナキ限リ特別取扱年賀郵便物ノ引受ニモ押捺差支ナシ(八、一、二、郵四〇〇四、各通)

○特殊通信日附印ハ告示以外ノ郵便物ニ使用セサル様左記事項特ニ注意アレ(九、七、郵二一五〇三、各遞)

- 一、郵便物ノ種類ヲ限リタル場合ニ於テハ該種類以外ノ郵便物ニハ絶對ニ使用セサルコト
- 二、郵便繪葉書ニ限リタル場合ニ於テ通常葉書ニ簡單ナル國旗又ハ其ノ他ノ鉛筆畫ヲ描出シタルモノノ如キハ繪葉書トシテ取扱ハサルコト
- 三、當局ヨリ肉汁ヲ交付シタル場合ニ於テハ所定肉色以外代用品ハ絶對ニ使用セサルコト

○郵便物日附印押捺方ニ關シ左記事項了知ノ上相當注意方取計相成度(一三、九、郵二九〇四、各遞)

- 一、郵便切手及葉書ノ消印ハ其ノ料額印面ノ重要部分ト郵便物トニ掛ケ鮮明ニ押捺スルコト
- 二、日附印ニ肉汁附著ノ有無ヲ顧ミス數箇ノ郵便物ヲ連續消印スル向アリ印影不鮮明ノ主

因ニ付特ニ留意ノコト

三、日附印ノ掃除ヲ勵行シ若シ磨滅凹凸等アル場合ハ直ニ之カ取替ヲナスコト

四、肉池ノ不良ナルモノハ速ニ改善シ印肉ハ必ス通信日附印規程第七條所定ノモノヲ使用スルコト

五、郵便物差立區分ノ際切手類消印洩ノモノ發見スルコト多キモ往々之ヲ其ノ儘看過スルノ弊アリ特ニ此ノ弊ヲ矯ムルコト

六、繼越又ハ配達ニ係ル郵便物中切手類未消印ノモノ發見ノ場合ハ必ス消印又ハ抹殺（配達中發見ノ場合）ヲ加フルコト

七、自動押印機ニ依ル消印洩ノモノ特ニ多キニ付左記事項留意ノコト

（イ）機械ノ取扱ヲ丁寧ニシ且掃除ヲ勵行スルコト

（ロ）機械取扱者ハ可成之ヲ一定シ置キ熟練者ヲシテ擔當セシムルコト

（ハ）機械ノ調整ニ付テハ特ニ留意シ尙常ニ研究ヲ怠ラサルコト

（ニ）機械ニ掛ケタル後豫メ消印適否ヲ検査シ消印洩ノモノアリタルトキハ其ノ原因ヲ探究シ之カ排除ニ努ムルコト

○通信日附印ニ使用スル印肉類ニ關シテハ其ノ印影洗除ノ惧ナカラシムル爲通信日附印規程

第七條ニ規定ノ外明治三十六年十二月通郵甲第一八五四號等ヲ以テ通牒ノ次第有之ニモ不拘尙往々護謨歐文通信日附印又ハ護謨廻轉通信日附印ニ對シ紫色等ノ如キ右所定外ノモノヲ使用スル尙有之哉ニ被認ニ付爾後斯ル行違ナキヲ期スルト共ニ印面ノ腐蝕シタルモノニ對シテハ其ノ印影ヲ附シ之カ引換方申出アレ

追テ所定ノ黒若ハ黒類似ノ印肉ヲ使用スル場合護謨印面ノ腐蝕シ易キハ全ク其ノ印影洗除ヲ防クカ爲ニ混合セルモノノ作用ニ因ルモノニシテ印影洗除ヲ防カントスル以上他色ノ印肉ヲ使用スルモ護謨印面ノ腐蝕ハ免レ難キ義ニ付了知アレ（一四、七、郵業二五八、各）

○通信事業創始五十年紀念祝典舉行ノ際來賓等ニ贈與シタル紀念郵便切手帳ニ限り今後發行ノ紀念郵便切手ヲ貼付シ紀念日附印押捺方希望スル尙アルトキハ便宜其ノ需ニ應シ切手ニ消印スルコトナク該印切手帳ニ印刷シアル日附印印影ノ例ニヨリ押捺方可然處理アレ（一〇、八、郵第三一二七、各遞）

○特殊通信日附印ハ單ナル紀念印章ニアラサルヲ以テ特ニ通牒シタル場合ノ外當該告示ノ使用範圍外ニ涉リ絶對ニ使用シ得サル義トス（一四、四、郵一一〇六、仙臺）

○護謨和文廻轉通信日附印ハ大體第三種以下ノ引受郵便物ニシテ消印ヲ要スルモノ一日平均

○九百通以上アル局又ハ蠶種郵便物ノ引受多數アル局ニ限り使用セシムル方針トス(大正四、十二、郵業一〇八七、大阪)

○右通牒ノ次第アルモ杓子等消印上護謨廻轉日附印ノ使用ヲ著シク便トスル郵便物多數アル局ニ對シテハ平均通數ニ滿タサルモ特ニ使用セシムルコトアルヘシ(昭和三、一二、郵業一、二〇三、大阪)

○差向普通小包ノ引受數一日平均八十箇以上アル局ニシテ特ニ廻轉日附印ノ設備ヲ必要トスル向ニ對シ交付シ得ルコトニ決裁セラル(昭和八、五、郵業二三九、各遞)

○左記郵便物品ニ對シテハ當局ニ於テ指定又ハ認可シタル局ニ限り設備シ得ルコトニ規定セラレ居ルモ爾後貴局既達豫算内ニ於テ購入及維持ヲナシ得ル場合ハ貴局限り指定又ハ認可支ヘナシ

追而購入ニ際シテハ物品規程ノ關係上必ス當局經由ノコトニ取計アレ(昭和九、七、郵業五八〇、各遞)

一―二略
廻轉日附印(和文用、歐文用)

○外國郵便交換局ニ於ケル護謨歐文日附印ハ外國通常郵便物中商品見本、價格表記箱物等ニシテ其ノ形態ニ依リ金屬製日附印ノ使用ヲ不便ト認ムルモノ及外國小包郵便物ノ押捺ニ使用シ其ノ他ノ郵便物ニハ金屬製歐文日附印ヲ使用スヘシ(六、一一、通外八七一一、各遞)

○特殊通信日附印使用ノ際ニ於ケル取締方ニ關シ數次通牒ノ次第アルモ尙近來往々民間ニ於テ販賣スル紫色、藍色所定外ノ印肉ヲ使用シ又ハ無切手ノ物件ニ對シ記念消印ノ需ニ應スル等違則ノ取扱ヲ爲ス向アリ洵ニ遺憾ノ次第ニ付特ニ左記事項ニ關シ格別ノ配意アレ(昭和六、三、郵業一九二、各遞)

- 1 肉汁ハ本省交付品タル内閣印刷局製鳶色肉汁ニ限ルニ付ソレ以外ノモノハ絕對ニ使用セシメサルコト
- 2 引受及記念消印ハ告示セラレタル使用方法及使用期日以外ニハ絕對ニナサシメサルコト
- 3 印類ノ保管ヲ嚴重ニシ且使用期間經過後ハ遲滞ナク遞信博物館へ返納方取計ハレタキコト

○記念ノ爲繪葉書ニ日附印ノ押捺ヲ需ムル者アルトキハ料金相當(一錢五厘以上)ノ切手ヲ通信日附印及印肉使用方

貼付シタルモノニ限り事務上差支ナキトキハ之カ需ニ應シ消印支ナシ(四二、九、通業乙六九一九、各)

○風景入通信日附印使用局周知宣傳ノ目的ヲ以テ使用局相互間ニ切手無貼付ノ白紙ニ風景入通信日附印影ヲ押捺送付方照會スル向アルモ右ハ押捺シ得サル義トス(昭和八、四、郵業二四六、大阪)

○郵便官署ヨリ事業周知ノ趣ヲ以テ切手貼付ナキ白紙ニ風景入通信日附印押捺方申出ノ場合ハ昭和八年四月郵業第二四六號大阪遞信局ニ對スル回答了知ノ上處理アレ(昭和八、五、郵業三〇一、名古屋)

●各種揭示及廣告

○郵便規則第七十三條適用地ハ局前揭示其ノ他ノ方法ニ依リ公衆ニ周知セシムヘシ(三八、九、通法乙四八三三、長野)

○郵便電信電話爲替貯金案内ハ局前ニ揭示スヘキ料金表等ノ代用トシテ交付シタルモノニ付局前揭示ノ上鎖鑿ヤ又ハ釘付トナシ適當ノ保管ヲ爲スヘシ(四二、一〇、通業甲六三九、各四四、一、同四〇九、各)

○特殊銀行ノ債券募集、元利金支拂並貸付事務ノ特別取扱ニ關シ今後當該銀行ヨリ郵便局取扱ニ關スル局前揭示ノ印刷物ヲ差出シタルトキハ其ノ形狀大ナラス局前ノ體裁ヲ害セサルモノニ限り之ニ應スルコトトシ其ノ他小形廣告用紙等ヲ公衆ノ居宅ニ配付方申出ツルモノ之ニ應スヘカラス(四、三、通業三七七一、各)

○遞信局、通信官署標札標燈及揭示規程第十五條第一項第十二號及第十六條第二項第四號ニ其ノ他必要ト認ムル事項ノ揭示方ヲ規定セルハ勿論事業上ニ關スルモノナルニ不拘近時事業ニ何等關係ヲ有セル宣傳又ハ廣告用印刷物等ノ局前揭示ヲ爲セルカ如キハ規定ノ主旨ニ

反スルノミナラス事業上必要ナル揭示ニ對スル障害トナルヘキ場合尠カラス又公衆溜所若ハ揭示場ノ體裁ヲ損スル惧アルニ付爾後之等揭示セサル様注意アレ尙特殊銀行ノ債券募集元利金支拂並貸付事務ノ特別取扱ニ關スル局前揭示方ノ大正四年三月二十四日通業第三七七一號通牒ハ業務上支障ナキ限度ニ制限セルニ近來其ノ形狀頗ル大ナルモノアリ甚シキハ特ニ立粹ヲ用フルカ如キ該通牒ニ反スルノミナラス官署ノ體面上一層嚴重ノ取締ヲ要スヘキニ付爾今斯ル特殊揭示ト雖モ堅三尺ヲ限度トシ幅之ニ相應スルモノノ外掲出スヘカラス(一一、三、郵八六二、各)

追而業務上ノモノト雖モ爾今本文後段ノ主旨ニ準シ揭示場ニ相應シ體裁ヲ損セサル程度ニ止メラレタシ

○他官廳ヨリ揭示物等公衆溜所ニ掲出方依頼アルモ應スヘカラス(一二、一二、郵六九七四、仙臺)

○郵便切手收入印紙賣捌所ニ掲出スル目標ハ特ニ貴官限り遞信局、通信官署標札標燈及揭示規程第六條左記雛形ノ大サノ範圍内ニ於テ之カ擴大方承認支ナシ(一五、二、郵業一四八、各遞)

○郵便函時刻票様式廢止ニ付テハ左記了知アレ(昭和六、一、郵業四四、各遞)

- 一、郵便函時刻表ハ自今掲出ヲ要セサル義ナルモ禁止スル趣旨ニアラサルヲ以テ地況等ニ依リ之カ掲出ヲ必要ト認ムル向ハ適宜ノ様式ニ依リ掲出スルハ支ナシ
- 二、郵便函附近ノ切手類賣捌所ニ對シテハ當該郵函ノ開函時刻ヲ通知シ置キ公衆ニ不便ヲ與ヘサル様配意スルコト

○郵便函廣告ノ出願ニ對スル當省ノ方針ハ左ノ如クナルニ付爾今此ノ種ノ出願アリタル場合ハ相當懇示ノ上受理セサル様取計アリタシ(昭和六、七、各遞監督長私信)

- (一) 郵便函、電柱、公衆電話等ノ公用道路使用料ハ現在無料ナルモ之ヲ利用シテ遞信省カ收益ヲ計ルコトハ自然占用料支拂等ノ面倒ナル問題ヲ生スル惧アルコト
- (二) 右ノ外尙左ノ如キ支障アリ
 - (1) 郵便函ヲ毀損セシムル惧アルコト
 - (2) 一見郵便函ナリヤ廣告塔ナリヤノ見分ケ困難ナルコト
 - (3) 維持伴ハサル場合ニ郵便函ヲ不體裁ニ陷ラシムル惧アルコト
 - (4) 郵便函設置場所變更等ノ場合ニ廣告ノ爲自由ニ變更シ得サルカ如キ場合ノ生スル惧アルコト

(5) 郵便函ノ塗替、立替等ノ際相當施設者ト折衝スルノ手數アルコト

○郵便函及公衆電話表示柱建設方道路管理應ノ許可ヲ得タル上申請スルモノアリタル場合ハ許可地域等調査ノ上左記條件ニ依リ徽章使用ノ許可取扱アレ(昭和五、六、郵業五五一、各遞)

- 一、表示柱カ郵便函又ハ公衆電話ト接近シ爲ニ事務上又ハ公衆ノ利用上妨ケトナラサルコト若ハ兩者ノ距離餘リ距リ爲ニ其ノ位置ヲ示ス目的ニ副ハサルカ如キコトナキコト
- 二、廣告事項カ安寧秩序竝ニ風俗ヲ害ササルコト
- 三、郵便函開函時刻其ノ他規定等ハ當初ヨリ改正變更等ノ場合ヲ考慮提出セシメサルコト
- 四、郵便物秤量用衡器ヲ取付ケタルトキハ施設者側ニ於テ常時検査ヲ勵行シ其ノ正衡ヲ期セシムルコト

●度量衡器ノ使用及検査

○局備付衡器ハ検査官吏臨局検査スヘキニ付検査所へ提出スルニ及ハス(四二、七、通業甲三八二、各一)

○局備付ノ度量衡器受檢ノ際之ヲ検査所ニ提出スルトキハ他ノ検査ニ先チ検査セラルル管ニ付其ノ場所カ附近ニシテ且事務上支障ナキ場合ハ提出受檢スヘシ又倉庫等ニ保管ノモノニ對シ受檢ノトキハ受檢ノ場所及期日等ヲ協定シ尙器類ノ運搬等ニ相當便宜ヲ計ルヘシ(三三、四、通業一三二八、各遞)

○衡器ノ保管及検査方不完全ノモノアリ別途「秤ノ使用心得」送付スルニ付常ニ事務室ニ備付置キ使用上參考ニ供スルト共ニ左記各項勵行相成度(四、一、通業四二七、各)

- 一、衡器ハ立會者ヲ設ケ毎月一日之カ検査ヲ行フコト
- 二、衡器ニ異狀アリト認メタルトキハ直ニ臨時検査ヲ行フコト
- 三、定時及臨時ニ行ヒタル検査狀況ハ其ノ都度郵便日記帳ニ記載シ置クコト

○各府縣カ大正十一年度ニ於テ執行シタル度量衡器検査成績表ニ依レハ郵便局所備付ノ衡器

度量衡器ノ使用及検査

ハ他官公所ノモノニ比スルモ亦民間使用ノモノニ較フルモ甚シキ不良ノ割合ヲ示セリ各局ハ管内各局所ヲシテ大正十年一月通業第四二七號通牒ノ定時検査ヲ勵行セシムルト共ニ之カ取締ヲ嚴ニシ成績ノ向上ヲ期スヘシ殊ニ近クメートル法ノ施行モ迫リタル結果衡器ニ依ル取引ハ一層注意ヲ惹ク可キ付此ノ秋ニ於テ充分注意ノ喚起ニ努ムヘシ(一三、四、郵一一一六、各遞)

○小包受付用皿秤ノ設備方ニ關シテハ左記ニ準據スヘシ(一三、五、郵一四四四、各)

- 一、計量スヘキ物體ヲ置ク受付臺ノ位置ニハ物體ヲ可成滑リ易カラシムル爲金屬製丸棒ヲ併行ニ取付秤量ノ位置迄ハ平面運搬ヲ爲スニ便スルコト
- 二、秤量皿面ハ物體ヲ置クヘキ受付臺面ト併行ナルカ若ハ之ヨリ多少低キヲ可トシ可成受付臺面ヨリ高キヲ避クル様据付クルコト
- 三、秤量ト受付臺トハ能フ限り接近セシメ計量物體ヲ捧クルコトノ勞力ヲ節約シ得ヘキ位置ヲ撰定スルコト

○郵便局所備付衡器ノ検査ニ關シテハ明治四十二年七月通業甲第三八二號通牒ニ依リ一定官吏臨局執行スヘキモノナルモ各府縣ニ於テモ一々臨局検査執行ノ困難ナル事情可有之ニ就テハ大正三年四月通業第一三二八號通牒ニ依リ従前通事務上支障ナキ限り努メテ搬出受檢

セシメ然ラサル場合ニ在リテモ相互協定ノ上便宜ノ方法ニ依リ検査勵行方取計相成度(一三、一一、郵三三二七、各遞)

○郵便局所備付衡器ノ取締ニ關シテハ各局ニ於テモ検査ノ勵行取扱ノ鄭重ヲ期セシムル様銳意督勵セラルルニモ不拘其ノ成績ハ依然向上セス右ハ畢竟

- (一)取扱者ニ於テ兎角衡器ヲ輕視スルノ傾向アルコト
- (二)郵便物ノ増加ニ伴ヒ秤量使用ノ倍々繁劇ナルコト
- (三)取扱當務者ノ衡器使用方其ノ他衡器ニ關スル知識ノ欠缺隨ツテ自然取扱上不注意ナルコト

等ニ基因スルモノト認メラルルニ付爾今左記了知ノ上相當措置シ徹底的ニ成績ノ向上ヲ期セラレタシ(一五、五、郵業五九〇、各遞)

記

- 一、日常生活上及事業上ニ於ケル衡器ノ地位ヲ從事員一般ニ周知セシムルコト
- 衡器ヲ輕視スルノ弊ハ要スルニ衡器カ日常生活上並事業上如何ニ重要ナル地步ヲ占ムルカ其ノ地位ヲ了解セサルニ原因スルモノニシテ洵ニ遺憾トスル所ナリ殊ニ最近京濱乃至京阪神各大都市内郵便局ニ於テ頻發シタル衡器ノ事故モ其ノ大多數ハ取扱ノ不注意

度量衡器ノ使用及検査

意ニ因ルモノニシテ如斯ニ假令取扱當務者ニ惡意ナシトスルモ公衆ハ直ニ當務者其ノ人ヲ疑ヒ遂ニハ事業全體ニ對シ疑懼ノ念ヲ懷クニ至リ事業上影響スル所蓋シ尠ナラサルヘキニ付此ノ點ハ篤ト留意セシメラレタキコト

二、衡器ニ關スル智識ヲ會得セシムル方途ヲ講スルコト

管内各局取扱當務者ニ對シ機宜ノ方法ニ依リ衡器ニ關スル智識ヲ習得セシムルノ外事務研究會、三等局長會及一二等局長會議其ノ他講習會開催等ノ如ク多數集會ノ機ニ於テ地方廳等ヨリ特ニ専門技師ヲ招聘シ講演ヲ請ハシムルコト

三、整正責任者ノ專任

局長自ラ衡器整正ノ責ニ任シ其ノ保存並使用方法ノ適否ヲ指導監督スルハ勿論尙一、二等局ニ在リテハ當該局主事若ハ相當責任者三等局ニ在リテハ局長代理事務員ヲ衡器整正擔務者ト定メ左記各號實行ノ任ニ膺ラシムルコト

(イ) 据付 衡器ノ据付ニ關シテハ大正四年一月通業第四二七號通牒別冊(郵便編上卷

五七八頁以下掲載)ニ依ルノ外最モ注意スヘキハ据付場所ノ選定ナリ即チ押印臺上又ハ押印臺ニ接近セシメ其ノ他震動ノ影響ヲ受クル所ニ据付クルトキハ調子玉自然ニ弛緩シ又及及受ニ故障ヲ生スルニ至ル且自動秤ニ在リテハ最モ差狂ヲ生シ易キニ付特ニ注意スルコト

(ロ) 掃除及手入、秤量ノ皿、桿、增錘等ハ常ニ塵埃ノ附着セサル様掃除スルノ外各部ノ及及受等ノ要部ハ毎週一回以上極少量ノ油ヲ浸シタル布片ヲ以テ双先及双先ノ當ル部分ヲ拭フコト

平常兎角掃除及手入ヲ怠リ及及受其ノ他重要部分ニ塵埃、土砂、水分ヲ附着セシメ又油氣ヲ潤渴セシムルノ結果及ノ摩擦ヲ早メ錆ヲ生シ或ハ損傷セシメ差狂ヲ生シ遂ニ感シヲ失ハシムルニ至ルモノ甚タ多シ殊ニ金屬桿秤ニ在リテハ其ノ構造上支點ノ部分ニ塵芥ノ附着シ易キモノナレハ特ニ注意シ且ツ金屬部分ハ常ニ油氣ヲ保タシムルコト但シ油ハ時計油又ハ機械油ヲ最モ適當トシ揮發油、石油ノ如キ輕キモノ及「グリース」ノ如キ粘リタルモノハ之ヲ避クルコト尙油ノ分量ハ乾キタル布片ニテ拭キ取リタル後殆ント油氣ヲ認メサル程度ニ止ムルコト

(ハ) 整正及整理 衡器ハ毎朝使用ニ先チ左記方法ニ依リ整正及整理スルコト

- (1) 衡器ハ之ヲ水平ニ裝置シ且偏動セサル様据付ヲ爲スコト
- (2) 直點若ハ標點ヲ整正スルコト

運錘アル秤量ハ運錘ヲ直點ニ懸ケ桿ノ上下振動整調ニシテ順次睨ノ中央ニ靜止スルモノト爲スコト

自動秤ノ指針ハ直點若ハ標點ヲ正確ニ指示セシムル様整正シ且指針ハ正面ヨリ

之ヲ視定スルコト

四、定期検査ノ執行

衡器ハ毎月一、十一及二十一日ノ三回局長（局長故障アル場合ハ相當責任者）立會ノ上整正擔務者ヲシテ検査ヲ行ハシムルコト

検査方法ハ別記ノ通トス

五、衡器ノ修覆引換ヲ迅速且容易ナラシムルコト

輕微ナル故障ハ當該局長ヲシテ便宜ノ方法ニ依リ修理ヲ行ハシメ又引換ヲ要スルモノハ速カニ引換ノ手續ヲ爲サシムルコト尙此ノ場合ハ不良ノ箇所ヲ詳細ニ記入シ且其ノ原因ヲ併記セシムルコト

検査ノ方法

秤量差狂有無ノ検査方法ニ關シテハ前掲通牒ノ別冊ニ記載セラレアルモ左記各號ハ之レカ補充トシテ何人モ短時間ニ且容易ニ検査シ得ル方法ヲ最モ平易ニ記述セルモノト

一、準備

（イ）置場所ニ試験ヲ始ムルニハ先ツ其ノ置場所ヲ考ヘネハナラヌ。其ノ場所ハ試験ノ後秤ヲ置イテ使用セントスル豫定ノ場所ヲ最モ適當トシ或ハ他ニテモ差支ハナイカ要

スルニ置場所ノ「ガタ付カ」サルコトト水平テアルコトカ肝要テアル

（ロ）秤ノ水平ノ正シ方一秤ノ水平ヲ見ルニ水平器ノ氣泡カ直中ニアル様又ハ棒或ハ鎖ヲ下ケタ水平器テアルナラハ其ノ下端カ穴ノ直中ヲ指ス様ニ秤又ハ臺ノ下ニ「カイ物」ヲスレハ宜シイ

（ハ）空懸ト皿ニハ品物ヲ載セス又増錘モカケナイ時（増錘ハ吊シテ置ク）目盛桿ノ上ヲ滑ル様ニ出來テ居ル「送り錘」ヲ動カシテ目盛ノ零ヲ指サセテ即チ空懸トスル。此ノ時手ヲ放ツテ桿ノ振レ方ヲ見ルノテアルカ桿ノ端カ「睨ミ窓」ノ上下ノ縁何レカ（ニ）ニ當ツタ儘テ全ク振レナイカ又振レテ居テモ窓ノ上下何レカニ片寄ツテ振レテ居レハ先ツ之ヲ調整セネハナラナイ

（ニ）直點（即チ零點）ノ調製法一調製トハ此ノ振レヲ上下何レニモ片寄ラス等分ノ振レヲ起サセルコトヲ言フノテ其ノ方法ハ桿ノ一端ノ捻子棒ニアル調子玉又ハ左ニ廻シテ見ルノテアツテ之ヲ數回ヤレハ大概ハ調整カ出來ル

二、検査

（イ）直點ノ検査一以上ノ準備カ出來タナラハ指先テ皿ヲ上カラ下ヘ輕ク押スコト數回後手ヲ放ツテ桿カ等分ノ振レヲシナイモノハ狂ツテ居ルノテアル

（ロ）掛量ノ検査一増錘ノ一個ヲ皿ノ上ニ載セ「送り錘」ヲ動カシテ桿カ「睨ミ窓」ノ内

テ等分ニ振レル様ニシ所謂桿ヲ完全ニ釣り合ハセル。其ノ時「送り錘」ノ指ス目方ト載セテアル増錘ノ本當ノ重サ(定錘ト印シアル増錘ハ其ノ書イテアル目方ノ五分ノ一テアル)ト比較シテ差カアレハ狂ヲ生シテ居ル證據テアル然シ其ノ差カ一目盛ニ相當スル重サノ半分以内ノ重サナラハ其ノ儘使用シテ差支ヘナイ

(ハ)感シノ検査―前號(ロ)ノ場合ニ桿カ完全ニ又ハ一目盛ノ半分以内テ釣合ツタナラハ「送り錘」ヲ前號へ各一目盛ツツ動カシテ桿ノ振レ方ヲ見ル其ノ振レ方カ依然トシテ「睨ミ窓」ノ直中テ等分ニ振レテ居ルカ又ハ上下何レニ片寄ツテ居テモ其ノ片寄り方カハツキリト肉眼テ認メルコトノ出來ヌモノハ狂ツテ居ル證據テアル

(ニ)四隅ノ検査―前號(ロ)ノ場合ニ桿カ完全ニ又ハ一目盛ノ半分以内テ釣合ツタナラハ皿ニ載セテアル増錘ヲ皿ノ四隅ニ置キ換ヘテ其ノ度毎ニ桿ノ振レ方ヲ見ル其ノ振レ方カ依然トシテ「睨ミ窓」ノ直中テ等分ニ振レテ居ルカ又ハ上下何レカニ片寄ツテ居テモ「送り錘」ヲ前後各一目盛以内動カシテ等分ノ振レカ起ル様ニナルモノハ其ノ儘使用シテ差支ヘナイ

(ホ)搾リノ検査―前號(ロ)ノ場合ニ桿カ釣り合ツタナラハ桿ヲ指先テツカミ双ト双受トノ當リ工合ヲ少シ變ヘル氣持ニテ桿ヲ前後左右へ輕ク動カシ桿ノ振レ方ヲ見ル、其ノ時桿カ「睨ミ窓」ノ直中テ振レルモノハ狂カナク又上下何レカニ片寄ツテ居テモ

「送り錘」ヲ前後各一目盛以内動カシテ「睨ミ窓」ノ直中テ振ル様ニナルモノハ其ノ儘使用シテモ差支ヘナイ
以 上

●徵發及課稅

○郵便局舎及一家屋ノ内郵便局用ニ分界供給スル部分ノ建造物ハ徵發ヲ免除セラル又郵便用ノ車馬ハ勿論之ニ随伴スル處ノ遞送人、集配人ノ儀ニ付テモ徵發ヲ免除セラルヘキモノナリ(二一〇、一、山形)

○三等局長他人所有ノ家屋ヲ借用シ局員ノミ住居セシメ事務取扱ヲ爲スモノハ假令局舎内ト雖一竈ヲ設クルモノニ付其竈主ハ戶數割ノ賦課ヲ免ルル能ハス(二三、三、中園)

○三等局舎使用ノ土地家屋ハ町村制第九十七條(町村制第一百一條三項)ニ依リ町村稅ヲ免除セラル其ノ一半ヲ割シテ住居又ハ店舗ニ充ツルモノハ局舎使用ニ屬スル部分ノミ前段同様免除セラルヘキモノナリ(二三、七、縣治局回答)

○三等局長カ局舎用トシ無料ニテ供給スル家屋ノ中事務用一途ニ供スルモノハ勿論又其一半ヲ割シテ事務用ニ充ツルモノト雖其ノ事務用ニ供スル部分ニ對シテハ營業稅法第十八條(營業收益稅法第七條)ノ範圍外トシテ課稅ヲ免除セラルヘキ義ナリ(三〇、三、主稅局回答)

○三等局ニ於ケル切手印紙ノ割引額及渡切費ニ對シ所得稅ヲ賦課セラルルノ可否ニ關シテハ

公然大藏省ト協商ヲ遂ケタル義ニハ無之モ此類ノ經費ニハ殘餘ヲ生スヘキ餘地ナキ筈ニ付解釋ノ如何ニ關セス自然課稅ノ事實相生セサル筈ト認ム此趣旨ニ依リ可然處理アレ(三八、七、通庶乙一二四二、廣島)

○三等局舎敷地ノ中公用ニ供スル分ト私用ノ分ト判然區別シ難キモノハ地租條例第四條(地租法第二條)ノ範圍外トシテ課稅セラル追テ局舎專用土地ハ免租セラルヘキ義ナリ(四〇、一一、通業乙八四一八、長崎)

○特三局ノ局舎ニ對シテハ國ヨリ局舎料ヲ渡切ルヲ以テ該敷地ハ通信官署ノ有料借地ト認ムルヲ相當トシ地租條例第四條第一項第一號但書(地租法第二條但書)ノ規定ニ依リ免租セラレサル旨大藏省ヨリ回答アリタリ(四一、三、通業一五一八、高松)

○右ニ對シ當省ニ於テハ郵便法第七條第二項電信法第十一條第二項ノ規定ハ一般稅法ニ優先シテ適用サルヘキモノニシテ妥當ナラサル旨ヲ指摘シ大藏省ト折衝シタルモ同省ハ依然地租條例ノ規定ヲ適用スヘキモノトノ見解ヲ堅持シ讓サルヲ以テ昭和六年二月郵業第一〇號ヲ以テ貴見ニ承服シ難キ旨ヲ通告シタリ

○郵便、電信、電話ニ使用スル物件ハ專用タル以上何等ノ賦課ヲ受クルコトナキハ郵便法、電信法ニ於テ明定スル所ニシテ敢テ稅法規ニ俟ツ迄モナシ然ルニ課稅應ハ之ト多少見解ヲ異ニスルモノノ如ク爲ニ專用條件ニ在リテモ猶課稅セル實例アリ最近神戸市ニ於テハ遞送受命者ノ所有スル郵便物遞送専用自働車十一輛ニ對シ私人ノ所有ナルコト、有料ニテ提供セルコト等ヲ理由ニ數回課稅セリ而シテ右課稅ハ偶々課稅額ノ多額ナリシト關係者ノ措置宜敷ヲ得タル關係上縣參事會又ハ行政裁判所ニ於テ孰レモ郵便法ニ觸ルルモノナリトシテ取消サレタリ而シテ右ト同様ノ違法處分ヲ受ケ而モ何等救濟ノ途ヲ講セスシテ了ルモノ亦決シテ尠シトセサルヤニ思料セラレ事業上洵ニ遺憾ニ付此ノ際之等郵便、電信、電話專用ノ物件提供者ニ對シテハ克ク法規ノ趣旨精神ヲ徹底セシムル様相當配意アレ(昭和六、一一、郵業一〇、各遞)

○家屋ノ一部ヲ局舎ニ供シ區劃判然セサルモノハ郵便專用ニアラストシ家屋稅ヲ賦課セラルルモ違法ニアラス又右ハ郵便專用ト否トヲ問ハス現ニ郵便ノ用ニ供スルモノナルカ故ニ差押フルコトヲ得ス(四二、三、通業乙一〇九七、東京)

○三等局渡切經費ノ殘額ニ對シ所得稅ノ賦課ハ現行規定上不得免ルモ其ノ所得額ノ決定ニ方リ各局申告ノ基礎額ニ反シ或ハ推定ニヨリ不當ノ決定ヲ受クルカ如キ場合ハ所得稅法第六

十條ニ依リ相當異議ノ申立ヲ爲スヘキモノトス（八、八、郵二六五〇、各遞）

○郵便取扱所事務室ト雖モ郵便専用ノ部分ニ對シテハ郵便法第七條第二項ヲ適用セラルヘキモノトス（昭和二、三、郵業三一、名古屋）

○三等局々舎新築ニ對シ府縣ニ於テ不動産取得稅ヲ課スルモ斯ノ如キ課稅ハ郵便法第七條及電信法第十一條ノ適用外トス（昭和三、四、郵業二〇六、名古屋）

○三等局長ノ所有スル郵便、電便、電話専用ノ物件ヲ市町村ニ於テ戸數割賦課ノ資力算定ニ見積ル向アルモ已ムヲ得サル所トス（昭和六、三、郵業一五六、熊本）

●他官署又ハ公衆ノ依託

○人民ヨリ郵便、爲替、貯金ノ統計其他常務外ニ係ル取調方依託アリタルトキハ本局ヘ伺出テ指揮ヲ受クヘシ（一八、七、驛遞總官達甲一七一、各一）

○他官衙ヨリ同様ノ依託アリタルトキハ秘密ニ關スル事項ノ外事務支障ノ有無ニ依リ便宜處分スヘシ（二二、一二、公達四八四）

○新聞社ヨリ郵便、電信、爲替、貯金等ノ統計通知方願出ツルトキハ通報支ナシ（二四、一、高岡）

○紀念ノ爲繪葉書ニ通信日附印ノ押捺ヲ需ムル者アルトキハ料金相當（一錢五厘以上）ノ切手ヲ貼付シタルモノニ限り事務上差支ナキトキハ之カ需ニ應シ消印支ナシ（四二、九、通業乙六九一九、各）

○小形廣告紙ヲ公衆ノ居宅ニ配付方申出ツルモ應ス可カラス（四、三、通業三七七一、各）

○稅務署又ハ同官吏ヨリ集金郵便又ハ代金引換ノ差出人、差出月日、金額、爲替及振替貯金

他官署又ハ公衆ノ依託

ノ拂渡金額等取調方要求アルモ之ニ應スル限りニアラス(四、八、通業三二九一、各)

○縣會議員當選無效訴訟ニ關シ民事訴訟法第三四六條ニ依リ切手別納又ハ市内特別郵便引受帳ノ謄本提出方控訴院ヨリ囑託アルモ提出スヘキ限ニアラス(昭和二、一一、郵業一二六六、熊本)

●他官署又ハ公衆へ依託

○郵便物受取人又ハ差出人居所不分明ナルトキハ郵便電信局ヨリ其地戸長役場ノ取調ヲ乞フ儀モ可有之ニ付其ノ際故障ナク其ノ求メニ應セシムヘシ(二〇、五、訓令四、各府縣)

○停車場ノ設置ノ慈善箱ニシテ郵便函ニ紛ハシキモノハ相當注意ノ上塗換又ハ改造セシムル様手配シ尙該函ヨリ郵便物ヲ發見シタルトキハ直ニ郵便函ニ投入セス其ノ旨郵便局ニ届出シメ郵便局ニ於テハ之ニ事由附箋ノ上遞送配達セシムヘシ(三五、一二、通郵乙一五四九八、各一、五、一〇、通業四九三七、各遞)

○地名ヲ冠稱スル官公署會社等ニシテ其實所在地ヲ異ニスルモノハ郵便物發受人相互間ニ於テ肩書地名記載方交渉セシムヘシ(二、八、通業二一三七、各)

●現業局吏員ノ心得ヘキ事項

○今般大臣訓示ノ次第モアリ左記事項注意スヘシ(三六、一〇、親庶甲四三二八、各一)

一、老幼婦女ニ對スル窓口ノ應接ハ特ニ意ヲ用ヒ決シテ嫌惡恐怖ノ念ヲ生セシムルコトナキヲ期スヘシ

一、公衆ニ對シテハ特ニ其ノ言語ニ注意シ例ヘハ「アナタ」「宜シウゴザイマス」「イケマセマ」[彼方ノ口ヘイラツシヤイ]等ノ如キ叮嚀ナル言語ヲ用ヒ如何ナル場合ニモ決シテ傲慢不遜ノ言語ヲ使用スヘカラス又遞添集配人ニ對シテモ此ノ點深ク注意ヲ加フヘシ

一、手續不案内ノ者若ハ各種ノ質問者ニ對シテハ殷勤ニ且詳細ニ説明ヲ與ヘ公衆ヲシテ喜ンテ通信機關ヲ利用スルニ至ル様仕向クヘシ又無筆ノ者ニ對シテハ代書人アル局所ニ於テハ之ヲ指示シ其ノ設ケナキ局所ニ於テハ支障ナキ限り可成代書ノ便ヲ與フヘク又違式誤脱等アル書面ハ代テ補正ノ勞ヲ取り速ニ用辨セシムヘシ

一、公衆溜所ニ於ケル筆記臺、文房具、印肉、糊、腰掛等ハ常ニ整理シ筆墨ノ如キハ時々新シキモノト取換ヘ使用ニ耐ヘサルモノヲ置クカ如キコトナキ様公衆ノ利便ヲ圖ルヘシ

一、公衆溜所ニハ必要ノ事項ヲ揭示シ置キ常ニ現行法規ト齟齬セサル様訂正ヲ加ヘ且汚損

現業局吏員ノ心得ヘキ事項

- シテ不體裁ノ觀ヲ呈セサル様務ムヘシ
- 一、窓口ノ内外ハ特ニ掃除ニ注意シ貼紙樂書等ノ不體裁ナキヲ期スヘシ
 - 一、窓口ニ於ケル現業員カ其ノ座席ニ於テ食事ヲ爲スカ如キハ不體裁ニ付可成公衆ノ洞觀セサル場所ニ於テ交替喫飯セシムヘシ
 - 一、現業員殊ニ窓口吏員カ執務中喫煙スルカ如キハ事務ノ進行ヲ妨害シ且危險ナルヲ以テ室ノ一隅便宜ノ場所ニ喫煙所ヲ設ケ執務ノ間合ヲ以テ喫煙スルコトニ改ムヘシ
 - 一、現業員ニハ豫メ本務外事務ノ修習ヲ爲サシメ事務ノ繁閑ニ應シテ相互共助スルノ途ヲ講セシメ公衆ヲシテ空シク時間徒費セシムルカ如キコトナキヲ期スヘシ
 - 一、局長課長ハ窓口ニ接近シタル場所ニ座席ヲ設ケ窓口事務ヲ監視スヘシ若シ自ラ差支アル場合ニハ代理者ヲシテ其ノ任ニ當ラシメ公衆ニ對スル吏員ノ説明應答不充分ナリト認ムルトキハ公衆ニ満足ヲ與フル様自ラ應接スヘシ
 - 一、公衆ノ申告ニ接シタルトキハ局長自ラ懇切ニ之ヲ聞取り直ニ其ノ事實ヲ調査シ叮嚀ニ之カ結果ヲ通報スヘシ決シテ杜撰ニ之ヲ峻拒スヘカラス
 - 一、事故ノ調査、取扱手續ノ説明等ニ付キ公衆ト交渉スル場合ニハ可成簡便ナル方法ヲ採ルヘシ例ヘハ電話加入者ナラハ電話ヲ利用シ又加入者以外ノ者ナラハ書面ヲ以テ照會スル等公衆ヲシテ態々出局セシムル如キ煩ヲ避ケシムヘク郵便、電報ノ拔書探問等ニ

テ公衆ヨリ書類ヲ徵スル場合ノ如キモ其ノ記入方及手續ヲ簡易ニシ可成手數ヲ掛ケシメサル様注意スヘシ

- 一、公衆ニ對スル往復文書ハ特ニ其ノ用語ニ注意シ例ヘハ「貴下御請求云々」「貴殿御差出云々」「御差出被下度云々」ト云フ如キ通俗書簡文體ヲ用フヘシ
- 一、現業員殊ニ窓口吏員ハ常ニ容儀服裝ヲ正シクシ決シテ不體裁ノ衣服ヲ著用シ或ハ腕捲リヲ爲ス等苟モ品物ヲ傷クルカ如キコトナキ様注意スヘシ
- 一、遞送集配人ノ服裝ニシテ不潔不整其ノ容姿亂雜ナラムカ公衆ニ不安ノ念ヲ起サシメ事業ノ信用ヲ害スルコト大ナルヲ以テ能ク其ノ服裝ヲ整備シ尙之カ檢閲ヲ怠ルヘカラス
- 一、郵便柱函又ハ掛函ノ破損汚穢セルモノハ事業ノ信用ヲ害シ郵物物ノ保安ニ關スルコト重大ナルヲ以テ平素能ク巡視シ之カ修補ヲ怠ルヘカラス
- 一、郵便物ノ誤區分ハ遅延不達ヲ來シ公衆ニ不便又ハ不測ノ損害ヲ與フルコト大ナルヲ以テ常ニ區分表ノ整理ニ注意スレハ勿論當務者ヲシテ平素能ク區分ニ熟練セシメ誤區分ナキヲ期スヘシ

○通信従業員ノ執務方ニ關シテハ屢々訓達セラレタルモ尙公衆ニ對スル應接懇切ヲ缺クトノ世評絶エサルハ遺憾ニ付執務ノ鞏實ヲ期スルハ勿論公衆ノ申告ニ對シテハ實狀ヲ述ヘテ

充分ノ辯明ヲ與ヘ又窓口ニハ應接ノ箇所ヲ定メ質疑若ハ申告ノ受付所タルコトヲ見易ク表示シ局課長又ハ主事等相當責任者ヲシテ親シク之ニ應接セシメ尙文書申告等ニ對シテハ瑣事ト雖モ輕々ニ看過スルコトナク常ニ業務ノ信用ニ關スルコトヲ顧念シ相當調査ヲ遂ケ迅速ニ疏明スルニ力メ若シ取調等ノ爲遲延スル場合ハ其ノ旨ヲ通シテ誤解ナカラシムル様措置スヘシ(八、一、郵二一四、各遞)

●窓口及室内器具配置方

○左記事項注意ヲ要ス(三七、七、秘一九五、各一)

- 一、一箇ノ窓口ニハ一人ノ吏員ヲ要スルヲ以テ事務閑散ナル局ニ不相應ノ窓口ヲ設クルハ吏員配置上不經濟ナリ是ヲ以テ窓口ノ數ハ各受付吏員ノ負擔シ得ヘキ事務ノ分量ヲ標準トシテ定ムルコトヲ要ス受付事務ノ繁閑ハ毎日略一定セルヲ以テ繁忙時間内ハ窓口ノ數ヲ増シ又夕刻後ノ如キ閑散時間内ハ窓口ノ數ヲ減シ各種ノ事務ヲ合併受付ヲ爲サシムルノ方法ヲ取ルヲ要ス局ニ依リテハ夜分ハ窓口閑散ナルヲ以テ窓口吏員ヲシテ差立事務等ヲ補助セシムル向アリト雖斯クストキハ受付吏員不在ノ窓口多ク公衆ニ迷惑ヲ感セシムルヲ以テ此ノ場合ニ處スル方法トシテハ窓口ノ數ヲ減シ一箇所若ハ二箇所ニ各種ノ事務ヲ統ヘ取扱ハシメ以テ受付吏員ナキ窓口ヲ開キ置クコトアル可カラス
- 一、現業室ニハ常時必要ナキ書籍、机、椅子等ヲ備ヘ置クコトナク室内全部一目ヲ以テ見渡シ得ル様設備スルヲ要ス是レ現業員ノ行動ヲ便ナラシムルノミナラス郵便物電報ノ紛失ヲ避クルノ利益アリ

(外十一項略ス)

◎各種ノ注意又ハ取締方

○郵便繪葉書ノ流行ニ連レ益々精巧優美ナルモノヲ發行シ其多ハ紀念トシテ永久保存セラレムカ爲郵便ニ差出スモノナルニ依リ紙質検査ノ際又ハ文書ニ添屬發送スル場合之ヲ曲折汚斑セサル様注意シ又日附印ノ押捺ヲ鮮明ニスヘシ(三八、六通法乙一二一四、各)

○信書ノ秘密ヲ侵スヘカラサルコトハ屢々内訓セラレシモ吏員及集配人等ニシテ第二種郵便物ノ通信ヲ漏洩シ或ハ依託配達ヲナス等ノ慮ナシトセス尙近來郵便物ノ検査ヲ名トシ新聞紙雜誌等其封皮ヲ脱シ閱讀看過シ爲ニ發送ヲ遲延シ又ハ離脱セシ封皮ニ對シ挿入ヲ誤リ實物ニアラサルモノヲ送達シ終ニハ紛失ニ歸セシムル等ノコトアルニ於テハ發受人ニ對シ迷惑ヲ蒙ラシメ延テ斯業ノ威信上不都合尠ナカラサルニ付一層監督上注意シ且本件ニ關スル申告等ハ嚴重調査ノ上相當措置スヘシ(三八、三通庶乙三九四二、各一)

○特殊郵便物配達ノ際ハ特ニ事故ノ有無ニ注目シ若シ其封印等ニ異狀アルモノハ相當附箋ノ上受取人ノ注意ヲ惹キ受取後ハ賠償ノ責任ナキ旨ヲ懇示シ事故發生ノモノハ努メテ賠償ノ權ヲ保有セシムル様注意スヘシ又價格表記郵便物ノ配達ニ際シ集配人立會ノ上開封スルハ違則ニシテ事故ノ場合ニ公衆ノ苦情ノ惹起スルニ付嚴ニ集配人ヲ取締ルヘシ(三九、一〇)

各種ノ注意又ハ取締方

通法乙八九七六、各

○日附印ハ結束上支障ヲ及ホササル範圍ニ於テ之カ押捺方特ニ注意スルト同時ニ日附印ノ掃除ヲ勵行シ若其ノ磨減凸凹等アル場合ハ直ニ之カ引替ノ手續ヲ爲シ又肉池ノ不良ナルモノハ速ニ之ヲ改良スル等力メテ印影ヲ判明ナラシムヘシ(四〇、九、通業乙六三九五、各)

○近時使用濟切手類ノ蒐集愛翫者増加ニ伴ヒ本邦及聯合國發行切手ヲ偽造スル者有之就中五圓十圓ノ切手ハ偽造最モ多キヤニ認メラルルニ付之カ取締方内務省ニ警告致置キタルニ付貴管内ニ於テ偽造行爲ヲナスモノアリト認メタルトキハ直ニ警察官署ニ申報スル等機宜ニ依リ措置ノ上事實即報相成度(五、二、通業六一二、各遞)

○毎年冬季ニ際シテハ鐵道便受渡前後ニ於テ行囊ヲ竊取セラルル例不尠右ハ畢竟當務遞送人等カ待合申別室ニ於テ暖ヲ採ル等郵便物ノ監視ヲ怠ル結果ト認メラルルニ付嚴重取締相成度(五、一二、通業六〇一八、各遞)

○郵便物ヲ受取人ニ非サル者ニ交付シタルトキハ通信阻害ノ目的ニ出テタル場合ノ外罪トナラサル判例モ有之候處今回秋田縣老方局集配人カ單ニ其ノ勞ヲ厭ヒ郵便物ヲ小學校生徒ニ委託シテ配達シタル事件ニ對シ受取人ノ告訴ニ依リ集配人ハ四十圓ノ罰金ニ處セラレタル

事例アリ今後同様ノ事件頻出スルニ於テハ甚タ遺憾ニ付嚴重取締方配意相成度(五、一二、秘二二三四、各遞)

○近來郵便物ノ表記ヲ略記スルモノ増加ノ傾向アリ此ノ際一般公衆ヘ注意方措置アレ(七、二、業四一一、各遞)

○年賀郵便差出勸誘上新聞紙等ヲ利用シ各局ノ取扱狀況等ヲ報導スルハ適切ナル方法ト認ムルモ差出人氏名及通數等ハ明記發表セサル様注意アレ(七、一二、郵一九三三、各遞)

○遞信省被服類規程ニ依ル制服ニシテ保存期間經過後之ヲ交付スル場合ハ必ス徽章ノ除去ヲ爲サシメ又退職者ヨリノ返納品ハ嚴ニ之ヲ取締ル等規定勵行方嚴達アレ(一三、四、郵九三〇、各遞)

○各戸ニ住所及氏名記載シタル標札掲出方ニ關シテハ從來督勵スル所アルモ未タ其ノ勵行充分ナラサル爲彼我共ニ蒙ルヘキ不便不利尠ナラス殊ニ將來改正衆議院議員選舉法施行セラレタル場合ニ於テハ多數ノ選舉關係郵便物配達上一層之カ勵行ヲ期セシムルノ要アリ然共市町村及警察官署等ノ協力ナク獨リ通信官署ノミニテハ公衆ヲシテ本件勵行セシムルコ

各種ノ注意又ハ取締方

トハ效果甚タ薄弱ナルニ付今回内務省へ交渉シ助力方回答ヲ得タルニ付各局ヲシテ相當措置セシメラレタシ（一五、三、郵業二五〇、各遞）

○三等局ノ發出スル文書ニシテ自局區内以外ニ達スルモノニハ爾今必ス文書自體ニ記載ノ局名ニ府縣名ヲ冠記セシメラレ度（二、三、郵業二九二、各遞）

○D型自働押印機ノ取扱振り及取扱者ノ技能ニ關シ調査ノ結果左記ノ如キ通弊事故アリ成績概シテ良好ナラサルノミナラス本機ノ取扱方法ヲ研究セル向皆無ノ状態ニアリ從ツテ押印能率ノ如キ少數ノ優秀者ヲ除キ大多數ハ多數ノ消印洩ヲ生スルノ實況ニアリテ精巧ナル本機モ其ノ取扱ノ良否及技能ノ優劣如何ニ依リ機械ノ性能發揮ニ及ホス影響過大ナルニ付取扱方法ニ關シ充分研究實行方徹底セシムルト共ニ將來郵便競技會開催ノ際本機ニ依ル押印ニ就テモ競技セシメ技能ノ向上ヲ圖ル様措置相成度（一五、七、郵業八六七、各遞）

一、日附印影ノ位置ニ注意セサル向アルコト

- 二、日附印影ノ隋圓ナルト正圓ナルトニ注意セサル向アルコト
- 三、掃除ノ充分ナラサル向アルコト殊ニ内部掃除ヲ勵行スル向殆ントナシ
- 四、流油一般ニ不足勝チナルコト
- 五、「ベルト」ノ伸縮ニ注意ヲ拂ハサル向アルコト
- 六、部分品（附屬品ヲ含ム）ノ保管充分ナラス紛失ノ向尠ナカラサルコト

●受付時間及時ノ勵行

○今般告示第六九三號ヲ以テ飛行場ニ設置セル郵便局分室ノ郵便、電信、電話ノ受付時間ハ分室前ニ揭示スル所ニ依ルコトニ定メラレタルトコロ其ノ受付時間ハ當該局ニ於テ利用關係ヲ計リ實際ノ必要ニ應シ適當ニ定ムヘキモ平常ノ受付時間ハ少トクモ飛行機ノ始發著時刻ノ三十分前ヨリ、終發著時刻ノ三十分後迄ノ間ヲ標準トシテ定ムルコトニ取計アレ但シ右受付時間内ト雖モ一般取扱時間外ニ差出ス電報ニ付テハ時間外ノ取扱ヲ爲スヘキモノトス爲念(昭和一一、四、郵業二八三、東京、名古屋、大阪、熊本)

○六月十日ハ恰モ千二百五十一年前本邦時報ノ創始セラレタル記念日ニ相當スルヲ以テ此ノ機ニ際シ時間勵行上格段ノ注意ヲ拂ヒ以テ事務能率増進ヲ期スルコトトシ九、十及十一日ノ三日間ヲ「時ノ勵行」日ト定メラレタルニ付左記事項了知ノ上時間ノ勵行嚴守ヲ期セラレ度依命(一〇、六、郵二〇一一、各)

- 一、時計ハ常ニ整調シ一般ノ標準トスルコト
- 二、報告其ノ他時期ノ定メアルモノハ必ス其ノ日時ヲ過ラサルコト
- 三、發著事務等時間ノ定メアルモノハ必ス之ヲ遵守スルコト
- 四、事務ノ取扱ハ正確且迅速ニシ時ノ節約ヲ期スルコト

受付時間及時ノ勵行

受付時間及時ノ勵行

三〇八

五、時間ノ記載ハ正確ヲ期スルコト

○六月十日ハ本邦報時ノ創始セラレタル記念日ニ相當スルヲ以テ此ノ機ニ際シ特ニ時ノ勵行ヲ期スルタメ昨年及一昨年ノ二回ニ亘リ「時ノ勵行日」ヲ定メタル所其ノ結果時ニ關スル觀念一般普及セラレ事業上裨益スル所尠カラサル様認メラルルニ付テハ自今毎年六月九日十日及十一日ノ三日間ヲ「時ノ勵行日」ト定メ昨年六月二日附郵第二〇一一號通牒六月四日公報掲載ノ趣旨ニ依リ時ノ勵行ヲ一層恪守スル様取計ハレタシ(一一、五、郵二〇二六、各遞)

● 雜件

○三等局長郵便爲替貯金ニ關スル法規若ハ貯金勸誘書ヲ自費ヲ以テ印刷シ局前ニ揭示若ハ公衆ニ配付セムトスルトキハ遞信局長ノ認可ヲ受クヘシ(二五、六、公達二三〇)

○爾今各局所ニ於テ繪葉書ヲ發行セムトスル場合ハ其ノ發行者名義ノ如何ヲ問ハス豫メ所轄遞信局長ノ認可ヲ受クヘシ尙明治三十九年八月官秘發第三九二五號通牒ハ自然消滅ノ義ト了知相成度(昭和二、一一、郵業第一二〇八、各)
追テ右繪葉書ハ局内外ヲ問ハス發賣スヘカラサル義トス

○局内部作業狀況撮影方申出アリタル場合ハ通信ノ秘密ヲ確保シ且事務ニ支障ナキ限り許可シ支ナシ(一五、六、郵業七〇八、名古屋)

○式紙、帳簿ノ保存期限ハ部外ヘ公表スヘキ性質ノモノニアラス(昭和九、三、郵業一二〇、私人)

第一類 内 規

● 遞信省徽章、通信日附印及郵便切手類模造取締規則

(明治四十二年十二月二十九日
省令六十五號)

第一條

遞信省徽章ハ遞信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス

第二條

郵便、電信及電話官署ニ於テ使用スル通信日附印ニ紛ハシキ印影ヲ描出スルモノ又ハ之ニ紛ハシキ印影ヲ有スルモノハ遞信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外之ヲ製造、販賣、領布又ハ使用スルコトヲ得ス

第三條

未使用又ハ使用済ノ帝國政府及郵便聯合條約國政府ノ發行ニ係ル現行郵便切手其ノ他郵便料金ヲ表彰スヘキ證票ニ紛ハシキ外觀ヲ有スルモノハ遞信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外之ヲ印刷、製造、販賣、領布又ハ使用スルコトヲ得ス

第四條

第一條ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ科料ニ處ス
第二條及第三條ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本規則ハ明治四十三年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

遞信省徽章、通信日附印及郵便切手類模造取締規則

●遞信省徽章、通信日附印及郵便切手類模造取締内規

(四三、六、通業三三八一)
(六、五、通業二一七〇改正)

第一條 遞信省徽章、通信日附印及郵便切手類模造取締方ニ關シテハ本内規ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本内規ニ規定ナキ事項ハ事實ニ就キ弊害ノ有無ヲ審査シ其ノ許否ヲ決ス
遞信省徽章ハ之ヲ帽、被服、旗幟、船車、標燈、標札、招牌及郵便函ニ紛ハシキ物件等ニ使用スル場合其ノ他其ノ使用カ遞信業務ニ障害ヲ加フルノ虞アリト認ムルトキハ之ヲ許可セス

第三條 郵便切手賣捌所ノ標燈、標札及電話番號又ハ振替替金口座番號ヲ附シタルモノニ遞信省徽章ヲ使用スル場合ハ許可ノ申請ヲ要セサルモノトス
通信日附印ト略同様ノ大サニシテ日印面ニ半月形及橫線印面ヲ兩側ニ橫貫セザルヲモ含ム以下做之ニ條ノ中間ニ日附ヲ表示スヘキ文字ヲ有スル印類カ通信用封皮若ハ葉書其ノ他郵便物ノ外部又ハ廣告等ニ押捺スルモノナルトキハ之ヲ許可セス

印面ニ半月形ヲ有セサルモノ又ハ半月形ヲ有スルモ橫線二條ノ中間ニ日附ヲ表示ス

第四條 へキ文字ヲ有セサルモノハ許可ノ申請ヲ要セサルモノトス
本條許可ノ申請ハ其ノ使用者ヨリ之ヲ爲サシム

通信日附印ト略同様ノ大サニシテ且印面ニ半月形及橫線二條ノ中間ニ日附ヲ表示スヘキ文字アル印影ヲ通信用封皮若ハ葉書其ノ他郵便物ノ外部又ハ廣告等ニ描出スルモノナルトキハ之ヲ許可セス
新聞、雜誌、書籍ノ内容ノ一部ヲ爲スモノ及前條第二項ニ準スヘキモノハ許可ノ申請ヲ要セサルモノトス

第五條 本條許可ノ申請ハ其ノ發賣、頒布ヲ爲ス者ヨリ之ヲ爲サシム
郵便切手類ト其ノ模様及材料ノ類似シタルモノハ之ヲ許可セス但シ特ニ必要ヲ認メタル場合ハ此ノ限ニアラス

第六條 本條許可ノ申請ハ其ノ發行者ヨリ之ヲ爲サシム
通信日附印又ハ同印影ノ模造物ニシテ其ノ圓ノ直徑實物ノ一倍半ヲ超過シ又ハ其ノ二分ノ一ニ達セサルモノ及郵便切手類ノ模造物ニシテ其ノ大サ實物ノ二倍ヲ超過シ又ハ其ノ二分ノ一ニ達セサルモノハ孰レモ許可ノ申請ヲ要セサルモノトス

第七條 廣告、引札、雜誌又ハ書籍等ノ送達ヲ業トスル者ニ於テ使用スル通信日附印、同印影又ハ郵便切手類ノ模造品ニ對シ取締上必要ヲ認メタルトキハ特ニ第三條乃至第六條遞信省徽章、通信日附印及郵便切手類模造取締内規

條ノ規定ニ據ラサルコトヲ得
廣告、引札等他人ニ頒布スルモノニ使用スル通信日附印、同印影又ハ郵便切手類ノ
模造品ニ對シテモ亦前項ニ同シ

●印紙模造取締規則

(大正五、七、二〇
大藏省令第十八號)

帝國政府ノ發行スル印紙又ハ印紙金額ヲ表彰スヘキ印章ニ紛ハシキ外觀ヲ有スルモノハ大藏
大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外之ヲ製造、輸入、移入、販賣、頒布又ハ使用スルコトヲ得ス
前項ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ五圓以上ノ科料ニ處ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○取締内規參考トシテ送付ス(六、五、通業二一七〇、各遞、警視總監、各府縣知事)

○遞信省徽章又ハ通信日附印ニ紛ハシキ印影ヲ遞信部内ニ於テ事務用ノ器具物品又ハ書類ニ
使用スル場合ハ許可ノ申請ヲ要セサルモノトス(四三、二、通業八三五九、熊本)

○遞信省徽章ハ大體明治二十年告示第十一號ニ依リ其縱横線ノ長短全然不釣合ノモノハ遞信
省徽章ト認メス(四三、三、通業七七二、東京)

○遞信官署ニ於テ簡易保險契約者ヲ表示スル爲遞信省徽章ヲ附シタル門標ヲ使用スル場合ハ

遞信省徽章、通信日附印及郵便切手類模造取締内規

許可申請ヲ要セス遞信局長限リ指示可然（一三、二、郵一九三、各遞）

○貯金及保險獎勵其ノ他ノ爲記念印章ヲ調製使用ノ場合ハ特殊通信日附印類似ノ意匠ヲ嚴ニ避ケ且ツ其ノ使用目的ヲ表示スル文字ヲ印面ニ挿入セシメラレタシ（一三、四、郵一一〇三、各遞）

○鐵道官署指定ノ驛使用ノスタンプ圖案ノ主要構部分カ郵便官署使用ノ風景入通信日附印ノ夫レニ類似シ混同誤認ノ虞アレハ格別然ラサルトキハ取締ノ要ナキモノトシテ處理スル方針トス（昭和七、四、郵業二七二、朝鮮、各遞）

○封皮類ニ通信日附印圖案（日附ナシ）ヲ印刷スルコトハ模造取締規則第二條ニ所謂通信日附印ニ紛ハシキモノニ該當スルヲ以テ取締アレ（昭和六、九、郵業第七三五、大阪）

○收入印紙ノ類ニシテ其ノ形狀、寸法、意匠、圖案等ノ點ニ於テ一見郵便切手類ニ紛ハシキ外觀ヲ有セサルモノハ模造許可ヲ要セサルモノトシテ處理アレ（昭和八、一一、郵業八一〇、札幌）

○日刊新聞紙ニ限リ「何年何月何日郵便切手類模造方遞信省許可」ノ文字ノ表示ヲ省略シ且

模造切手類ヲ印刷シタル新聞紙ハ頒布ト同時ニ納本（第三種認可ノ日刊新聞紙ハ差出見本ニ依リ取締リ別ニ納本ヲ要セス）シ支ヘナキコトニ改メラル（昭和一〇、三、郵業二一四、東京）

○圖案、意匠及寸法ノ點ヨリ一見郵便切手類ニ紛ハシキ外觀ヲ有スト認メ難キモノハ模造許可ヲ要セサルモノトス（昭和八、一一、郵業八一〇、札幌）

◎記念郵便切手並記念郵便繪葉書發行内規

(昭和九年五月
郵業第二三四號)

第一條 記念郵便切手ハ本邦歴史上重要ナル記念事項アリタルトキ之ヲ發行ス

第二條 記念郵便繪葉書ハ左ノ各號ニ該當スル場合ニ限り之ヲ發行ス

- 一、本邦歴史上重要記念事項タルコト
- 二、凡五萬枚以上賣捌ノ見込アルコト

第三條 記念郵便切手並記念郵便繪葉書ハ前各條ニ依ルノ外全國一般ニ亘ル重要ナル記念事項又ハ通信事業上特ニ記念スヘキ事項アリタル場合ニ之ヲ發行スルコトヲ得

第四條 本内規ハ即時之ヲ施行ス

●特殊通信日附印使用内規

(昭和九年五月
郵業二〇四號)

第一條

特殊通信日附印ハ左ノ各號ニ該當スル場合ニ限り之ヲ使用ス

- 一、規模大ナル博覽會若ハ共進會、鐵道重要線開通式、陸海軍特別大演習、記録ヲ破ルヘキ戰艦ノ進水式又ハ産業、交通、軍事若ハ國際上其ノ他全國一般ニ亘ル重要ナル記念事項タルコト

- 二、式典、祝賀其ノ他相當ノ催アリテ通信事業上特別ノ施設ヲ爲シタルトキ

記念郵便切手又ハ記念郵便繪葉書ヲ發行シタルトキ若ハ通信事業上特ニ記念スヘキ事項アリタル場合ハ前項ニ拘ハラズ之ヲ使用スルコトヲ得

第二條

遞信局長ニ於テ特殊通信日附印使用ノ必要アリト認メタルトキハ使用期日ヨリ少クトモ三週間以前ニ左ノ事項ヲ具シ稟申スヘシ

- 一、使用ヲ必要トスル事項ノ概要

- 二、會期、出品種類、出品地域、所要經費、入場見込人員(本號ハ博覽會共進會等ノ場合ニ限ル)

- 三、使用期日及使用局所

- 四、使用地ニ來集スヘキ人員ノ見込數

特殊通信日附印使用内規

圖案文字ヲ挿入セル通信日附印使用内規

三二四

ノ一ニハ局名及年月日ヲ挿入スルコト

三、局所名文字ノ大サハ十二「ポイント」、局所名ニ冠スル國、府縣名文字ノ大サハ

九「ポイント」又年月日數字ノ大サハ八「ポイント」ヲ以テ標準トス

第六條

圖案文字ヲ挿入セル通信日附印使用ノ場合ハ左ノ各號ニ依リ處理スヘシ

一、第二條ニ依ルモノハ其ノ都度、又第三條ニ依ルモノハ使用開始後一ヶ月間其ノ

押捺數ヲ特殊通信日附印使用内規附録様式ニ準シ速ニ郵務局宛報告スルコト

二、使用済ノ印類及毀損ノ爲使用シ能ハサルニ至リタル印類ハ速ニ遞信博物館へ保

管轉換スルト共ニ其ノ送付年月日ヲ郵務局へ報告スルコト

第七條

本内規ハ即時之ヲ施行ス

○明治四十四年六月秘第一〇一號内牒ノ記念郵便切手、記念郵便繪葉書發行竝特殊通信日附印使用内規ハ廢止セラレ新ニ別冊ノ通夫々制定セラレ候條了知相成度（昭和九、五、郵業二二四、各遞）

猶特殊通信日附印使用標準ニ達セサルモノ竝從來紫色通信日附印ヲ使用セル程度ノモノニ對シテハ圖案文字ヲ挿入シタル通信日附印ヲ使用セシムル趣旨ニ有之候條可然御取計相成度

○記念切手等發行スル場合ニ於テハ爾今一般ノ用例ニ倣ヒ言扁ノ「記」ヲ用フルコトニ改メ

ラル（昭和三、八、郵業七二一、各遞）

圖案文字ヲ挿入セル通信日附印使用内規

三二五

●郵便物運送違約謝金算定内規

第一條 郵便物運送命令書ニ依リ受命者ヨリ徴收スル違約謝金ハ本内規ニ依リ算定ス

第二條 違約謝金ハ左ノ標準ニ基キ其ノ情狀ニ依リ適當ニ之ヲ定ム
但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ標準ニ依ラサルコトヲ得

違 約 事 項

- 一、郵便物ヲ亡失セシメタルトキ
- 一、郵便物ヲ毀損濡濕シ其ノ他之ニ損害ヲ被ラシメタルトキ
- 一、郵便物受渡ヲ缺キタルトキ
- 一、郵便物積載若ハ引渡ヲ洩ラシタルトキ
- 一、規定ノ報告若ハ届出ヲ洩シ又ハ通信局長ノ承認ヲ受ケスシテ特ニ指定セル線路ノ發着時刻

郵便物運送違約謝金算定内規

違約謝金額

- 行囊若ハ結束二個迄ハ金五圓以内
- 同三個以上五個迄ハ金十圓以内
- 同六個以上ハ金二十圓以内
- 行囊若ハ結束二個迄ハ金三圓以内
- 三個以上五個迄ハ金五圓以内
- 同六個以上ハ金十圓以内
- 三圓以上十圓以内
- 行囊若ハ結束二個迄ハ金二圓以内
- 三個以上五個迄ハ金三圓以内
- 同六個以上ハ金五圓以内
- 金五圓以内

郵便物運送違約謝金算定内規

ヲ變更シタルトキ

一、郵便物ヲ運送スル船舶内郵便室ノ鎖鑰ヲ施ササルトキ

金五圓以内

一、郵便物ヲ他物ト混同シ又ハ其保管方完全ナラサルトキ

金三圓以内

一、郵便物運送用ノ舢舨端艇ニ雨潮其他汚損ヲ防クヘキ相當準備ヲ爲ササルトキ

金三圓以内

一、郵便物取扱ノ資格ナキモノヲシテ之カ取扱ヲナサシメタルトキ

金三圓以内

一、郵便物ヲ運送スル船舶舢舨端艇等ニ於テ規定ノ船旗角燈若ハ提燈ノ掲揚ヲ爲サス又ハ汽笛ノ吹鳴ヲ爲ササルトキ

金三圓以内

一、特ニ指定シタル航路ニ於ケル郵便物運送ノ舢舨端艇ニ旅客又ハ他ノ貨物ヲ搭載シタルトキ

金三圓以内

一、郵便物ヲ運送スル船舶ニ郵便函ノ設備方完全

金二圓以内

ナラサルトキ

一、郵便物取扱ノ手續完全ナラサルトキ

金二圓以内

一、船舶又ハ船舶郵便受渡所ニ於テ郵便ニ關スル書類帳簿保管方不備ナルトキ

金二圓以内

前項以外ノ違約事項ニ對シテハ前項各號ニ準シ相當ノ謝金徴收ス

第三條 前條ノ謝金ハ規定額ノ範圍ニ於テ運送料ノ多寡ニ應シ之ヲ參酌スルモノトス

第四條 違約謝金ハ一圓以上トシ拾圓未満ハ五拾錢十圓以上ハ一圓未満ノ端數ヲ付セス

第三類 協定及報告

協定及報告

一、協定及報告之種類
二、協定及報告之效力
三、協定及報告之程序
四、協定及報告之期限
五、協定及報告之保存
六、協定及報告之公開
七、協定及報告之修改
八、協定及報告之廢止
九、協定及報告之爭議
十、協定及報告之其他事項

第三類 協定及報告

●通信業務執行上外地トノ協定事項抜萃

臺灣(二九、一〇、令達及三五、二、協定)

樺太(四〇、四、令達及四〇、四、協定)

朝鮮(三九、一、協定)

關東(三九、九、協定)

南洋(一一、四、訓令及協定)

一、貴府(應)管内ニ於ケル通信業務執行ニ關スル法規及手續ハ相互統一ヲ期スル爲メ特殊ノ事由アルモノノ外可成遞信省ニ於テ定ムル一般ノ法規及手續ト同一タラシムルコト但シ特殊ノ事由ニ依リ遞信省所定ノ手續ヲ施行セサルトキ若ハ別段ノ規定ヲ設ケタルトキハ其ノ旨遞信省ニ通報スルコト

追テ内地ニ關係ヲ有スル事項ニ付テハ豫メ其ノ事由ヲ詳具シ認可ヲ受クヘシ(追書ハ臺灣、樺太及南洋應ニ對スル令達ニアルノミ)

一、内地ト貴府(應)管内トノ間ニ關係スル郵便、爲替、貯金及電信ノ事故ニ依リ請求人ニ通信業務執行上殖民地トノ協定事項抜萃

通信業務執行上殖民地トノ協事項拔萃

三三二

交付スヘキ損害賠償金及各種料金ハ其ノ事故發生地ノ如何ヲ問ハス總テ料金收納局所
所管廳ノ負擔トシ別ニ兩廳間ニ分割計算ヲ爲ササルコト
一、通信事務ニ關スル電報ニシテ貴府(廳)管内郵便電信局ト局報發送規程第一條ノ各局部
相互間ニ發著スルモノハ同規程ニ依リ局報トシテ取扱ヒ得ルコト

第三編 謝安又辨書

●郵便業務改良試驗執行局

○郵便事業用式紙、器具其ノ他郵便取扱上ノ改良等ニ關シ實地試驗ヲ要スル場合ハ遞信省構
内局、京橋局及東京中央局ヲシテ之カ試驗ヲ爲サシムヘニ依リ了知置相成度追而右試驗實
行ノ場合ハ其ノ都度貴局ニ通報可致候(六、七、通業三六四五、東部)

● 遞信局長報告事項

規定ノ根據	報告事項	發送期日	書式
專決施行及擔任事項報告規程	郵便切手類及收入印紙配給局及同區域ノ指定變更(大臣ノ認可ヲ受ケタルモノヲ含ム)	施行十五日前	適宜
同	三等局長同身(元引受人)辨償命令(現金取扱ニ關スルモノニ限ル)	即日	報告規程第八號
同	辨償徵收金分納又ハ延納許可	即日	同第九號
同	郵便事務従事者服務停止	即日	適宜
犯罪事件處理手續	先例トナルヘキ判決及大審院ノ判決	即日	判決謄本
同	重大又ハ異例若ハ特ニ事業ニ對スル影響甚大ト認ムル犯罪	即日	適宜
同	私訴ニ對スル判決	即日	同

遞信局長報告事項

○爾今貴局ニ於テ郵便業務ノ周知宣傳用トシテ印刷物(ポスター)ヲ調製頒布シタル場合ハ其ノ都度郵務局業務課宛ニ部送付ト共ニ左記事項回報アレ(昭和三、一二、郵業一一六三、各遞)

- 一 印刷物ノ名稱
- 二 調製ノ目的
- 三 調製ノ部數
- 四 調製ノ價格
- 五 頒布先

○統計製表ニ用ウヘキ地方名配列順序ハ特殊ノ事情アルモノ以外ハ務メテ左記採用相成度尙一遞信局管轄區域間ニ於テモ支障ナキ限り之ニ據ラレ度
(一三、七文二二八)

道府縣配列順序案

- 北海道
- 東北區 青森縣 岩手縣 宮城縣 秋田縣 山形縣 福島縣
- 關東區 茨城縣 栃木縣 群馬縣 埼玉縣 千葉縣 東京府 神奈川縣

- 北陸區 新潟縣 富山縣 石川縣 福井縣
- 東山區 山梨縣 長野縣 岐阜縣
- 東海區 靜岡縣 愛知縣 三重縣
- 近畿區 滋賀縣 京都府 大阪府 兵庫縣 奈良縣 和歌山縣
- 中國區 鳥取縣 島根縣 岡山縣 廣島縣 山口縣
- 四國區 德島縣 香川縣 愛媛縣 高知縣
- 九州區 福岡縣 佐賀縣 長崎縣 熊本縣 大分縣 宮崎縣 鹿兒島縣 沖繩縣

第四類處

務

處
務

第四類 處 務

● 遞信省處務規程

(大正六年十一月十七日
官文達第四百六十六號)

第一章 文書處理

第一條

本省ニ到達スル文書ハ總テ文書課ニ於テ收受シ大臣官房各課、遞信官吏練習所及遞信博物館、郵務局各課、電務局各課、工務局各課、電氣局各課、管船局各課及船舶試驗所、航空局各課、經理局各課、電氣試驗所、貯金局、簡易保險局、高等海員審判所(以下主務課)毎ニ區分シ當該課長(電氣試驗所、貯金局及簡易保險局ハ庶務課)所長、館長(以下主務課課ト稱ス)

ニ配付スヘシ但シ人事ニ關スル機密文書ハ秘書課(局課長專決施行ニ關スルモ)ニ於テ收受スヘシ定期報告又ハ之ニ類スル常例ノ文書ハ直接主務課ニ配付スルコトヲ得

第二條

收受文書中重要ナルモノハ文書課ニ於テ大臣、次官ノ查閱ニ供シタル上主管局長ヘ配付スヘシ若シ事件緊急ニシテ速ニ處理ヲ要スヘキモノアルトキハ文書課長旨ヲ承ケ處理ノ手續ヲ爲スヘシ

第三條

大臣宛親展文書ハ秘書課長又ハ秘書官、次官宛親展文書ハ秘書課長之ヲ開披シ人事遞信省處務規程

第四條 局課長宛親展文書中一般事務ニ關スルモノハ之ヲ文書課ニ回付スヘシ

第五條 削除

第六條 削除

第七條

收受文書中物品又ハ郵便切手類若ハ收入印紙添付セルモノアルトキハ收受文書ノ欄外ニ其ノ種類員數ヲ登記シ主務課ニ交付スヘシ

通貨又ハ有價證券ヲ添付セルモノアルトキハ取扱員二名以上立會ノ上收受文書ノ欄外ニ其ノ種類金額ヲ記入シ取扱員自ラ之ヲ携帶シ主務課ニ交付シ受領印ヲ徴スヘシ

第八條

主務課ニ於テ前項ニ依リ交付ヲ受ケタルトキハ之ヲ當該出納官吏ニ送付スヘシ
收受文書中本省ニ受理スヘカラサルモノアルトキハ文書課ニ於テ之ヲ其ノ提出先ニ返付シ若ハ當該主務官廳ヘ回付スヘシ

第九條

各局課ニ於テ文書課ヨリ其ノ主管ニアラサル文書ノ配付ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ附箋シ之ヲ文書課ニ返付スヘシ

第十條

主務課長ハ常ニ收受文書ノ處理狀況ヲ監査スヘシ
主務課長ニ於テ文書課ヨリ文書ノ配付ヲ受ケタルトキハ遲クモ三日以内ニ其ノ處分方法ヲ成案シテ提出スヘシ

事件複雑ニシテ前項ノ期間内ニ成案シ難キモノハ豫メ期間ヲ定メ其ノ事由ヲ文書課ニ通知スヘシ若シ其ノ期間一ヶ月以上ニ渉ルヘキモノニ付テハ大臣ニ具申スヘシ

第十一條

成案事項中他局課ニ關係ヲ有スルモノアルトキハ當該關係局課ニ合議スヘシ但シ急速處理ヲ要シ合議ノ違ナキ場合又ハ單ニ記錄若ハ知照ノ爲ニスル合議ハ執行後其ノ決議文書ヲ關係局課ノ供覽ニ付スヘシ

第十二條

合議ヲ受ケタル局課ニ在リテハ遲クモ二日以内ニ之カ調査ヲ了スヘシ若シ其ノ期間内ニ調査シ能ハサルトキハ豫メ其ノ理由ヲ主務局課長ニ通知スヘシ

第十三條

事務ノ處理ニ關シ關係局課ニ於テ其ノ意見ヲ異ニスルトキハ面議商量シ尙決セサルトキハ直ニ決裁ヲ請フヘシ附箋又ハ文書ヲ以テ應答シ處理ノ遲滯ヲ招クヘカラズ

第十四條

左記各號ノ成案ハ之ヲ事務審查委員ニ合議スヘシ

一

法令及法令ニ關スル疑義

二

條約及條約ニ關スル疑義

三

法令施行ニ關スル細則

四

成規定例ニ抵觸ノ嫌アル事項

五

豫算ノ標準ト爲ルヘキ成規定例ノ制定及改廢

六

工事又ハ物品供給其ノ他契約書案ニ關スル成規定例ノ制定及改廢並之ニ關

スル疑義

- 七 訴願及訴訟ニ關スル事項
- 八 帝國議會ノ建議質問及請願ニ關スル事項
- 九 各局課間ノ爭議
- 十 責任關係ニ關スル事項
- 十一 免許及之ニ付帶スル命令ノ規定ニ關スル事項
- 十二 其ノ他重要ナル事項

○參照

帝國議會提出建議事項閣議稟請ノ件

明治四十三年五月二十六日官文第一七三號決裁

帝國議會ノ送付ニ係ル請願ニ對シテハ內閣官制ノ明文ニ依リ閣議稟請致候得共建議ニ對シテハ各局區々ニ相成居候就テハ自今建議事項モ閣議ヲ稟請スルコトニ一定致度仰高裁

追テ內閣ニ打合濟ニ有之候若シ既ニ相當處理濟ノ場合ニ於テハ其ノ旨內閣ニ報告スルコトニ致度候

第十五條 主務課ニ於テハ回議件名簿ヲ設備シ成案文書中輕易ナルモノノ外ハ總テ之ヲ登錄

スヘシ

第十六條 局課長ニ於テ調査ヲ了シタル成案文書(供覽ヲ含ム)ハ其ノ專決施行スルモノ及人事ニ關スル機密事務ヲ除クノ外總テ文書課長ニ於テ審査シ決裁ヲ受クヘシ但シ緊急處理ヲ要シ又ハ機密ニ係ルモノハ主務局課長ニ於テ直接決裁ヲ請フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ決裁後相當手續ヲ履行スヘシ

第十七條 成案文書提出後訂正又ハ廢止セントスル場合ニ於テ既ニ關係課ノ合議ヲ了シタルモノナルトキハ更ニ當該局課長ノ同意ヲ經ヘシ
大臣次官ノ命ニ依リ訂正又ハ廢止シタルトキハ當該文書ニ其ノ旨ヲ附記シテ關係局課長ニ供覽スヘシ

第十八條 決裁濟ノ成案文書ニシテ發送(電報ヲ含ム)ヲ要スルモノハ文書課ニ於テ之ヲ淨書シ其ノ發送ノ手續ヲ爲スヘシ

電氣試驗所、貯金局及簡易保險局ノ成案文書ニ就テハ大臣、次官又ハ省名ヲ以テ發送スルモノニ限リ文書課ニ於テ前項ノ手續ヲ爲スヘシ
發送文書ニ添付スヘキ別紙及圖表類ハ主務課ニ之ヲ調製シ發送ノ際文書課ニ回付スヘシ

第十九條 人事ニ關スル機密文書ハ各局課ニ於テ之ヲ淨書シ其ノ發送手續ヲ爲スヘシ

第二十條 收受文書並成案文書ノ受授ニ就キテハ省内各局課間總テ受領印ヲ徵セス

第二章 文書編纂

第二十一條 文書ハ文書課ニ於テ之ヲ編纂、保管スヘシ但シ人事ニ關スル機密文書ハ秘書課ニ於テ之ヲ編纂、保管スヘシ

第二十二條 文書ハ左ノ四種ニ類別シ之ヲ保存スヘシ

- 第一類 永久保存
- 第二類 二十年保存
- 第三類 五年保存
- 第四類 廢棄

前項ノ保存期限ハ結了ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第二十三條 文書ハ處分結了後十日以内ニ之ヲ文書課ニ送付スヘシ但シ歲入歲出豫算決算ニ關スル文書ハ該會計年度決算完結ニ至ルマテ之ヲ主務局課ニ保管スルコトヲ得前項ノ期限内ニ送付シ難キモノアルトキハ其ノ事由ヲ具シ文書課長ノ承認ヲ受クヘシ

第二十四條 前條ニ依リ文書ヲ送付スルトキハ其ノ欄外ニ第二十二條ニ規定スル保存類別ヲ表示シ且送付年月日及其ノ紙數ヲ記載スヘシ

第四類ノ文書ハ回議件名簿ニ廢棄ノ旨ヲ記入シ前項ノ手續ニ依ラス之ヲ一括シテ送付スヘシ
文書課ニ於テ其ノ類別ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ主務局課ニ通知スヘシ

第二十五條

第一類乃至第三類ノ文書ハ別ニ定ムル編纂部門ニ別チ歷年毎ニ區別シ文書件名錄ニ其ノ記號番號件名等ヲ登記シ卷首ニ目錄ヲ附シテ成册スヘシ但シ歲入歲出豫算決算ニ關スル文書ハ會計年度ニ區別スヘシ

第三類ノ文ハ目錄ヲ省略シ且略綴トシテ保管スルコトヲ得
圖面又ハ別紙類ニシテ本書ニ合綴シ難キモノアルトキハ之ヲ別册トシ本書ノ目錄中ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第二十六條

保存期限滿了ノ文書ハ文書課ニ於テ廢棄ノ手續ヲ爲シ文書件名錄ニ其ノ年月日ヲ記入スヘシ

第二十七條

文書ノ借覽ヲ要スルトキハ借覽證書ヲ文書課ニ提出スヘシ
借覽期間ハ七日以内トス若シ其ノ期間以上ニ涉リ借覽ヲ要スルトキハ借覽證書ニ其ノ期限ヲ記入シ主務課長ノ證印ヲ受クヘシ

第三章 處務及服務

第二十八條

凡ソ事務ハ主務課長ニ於テ其ノ處分方法ヲ立案シ當該局長ノ調査ヲ經テ決裁ヲ受クヘシ

主務課長ハ事務ノ種類ニ依リ其ノ處分方法ヲ指示シテ課員ニ之ヲ調査セシムルコトヲ得其ノ特ニ重要ナル事務ニ關スル處分方法ニ就テハ豫メ所屬局長ノ指揮ヲ受クヘシ事務ノ處理ニ關シ特ニ必要ト認ムルトキハ委員ヲ設ケ又ハ他ノ職員ニ命シテ調査セシムルコトアルヘシ

第二十九條

事務ノ處理ハ總テ文書ヲ以テ之ヲ整理スヘシ但シ特ニ急速ヲ要シ又ハ輕易ナル事件ハ口頭ヲ以テスルコトヲ得此ノ場合ニ於テ他日ノ參照ニ資スヘキ必要アル事項ハ之ヲ筆記シ置クヘシ

第三十條

主務課ニ於テハ其ノ現ニ處理中ニ屬サセル文書ハ之ヲ事務別ニ區分シ一括シテ文書挾又ハ袋ニ容レ其ノ件名ヲ表示シ其ノ課又ハ係所屬ノ文書戸棚ニ保管スヘシ職員退廳ノ際ハ其ノ處理中ニ依ル擔任文書ヲ自己專用ノ抽出又ハ箱等ニ容レ置クヘカラス必ス前項ノ文書戸棚ニ藏置シ自身不在ノ場合ト雖之カ所在ヲ明カナラシムヘシ

第三十一條

職員ハ官吏服務規律ヲ遵奉スルノ外尙左記各事項ヲ心得ヘシ
一 法規成例ニ精通シ職務執行上錯誤ナキヲ期スヘシ

二 恪勤精勵事務ノ進捗整理ヲ圖ルヘシ

三 友誼ヲ重シ謙讓ノ徳ヲ守ルヘシ

四 衛生ヲ重シ健康ニ注意スヘシ

第三十二條

職員ハ在省中ハ勿論其ノ出入ノ際必ス洋服又ハ袴ヲ着用スヘシ

第三十三條

職員ハ定刻迄ニ出勤シ必ス出勤簿ニ捺印スヘシ

出勤簿ハ局課長之ヲ管理シ出勤定刻後二十分以内ニ之ヲ引揚ケ整理スヘシ

第三十四條

職員病氣、忌引其ノ他ノ事由ニ依リ缺勤又ハ遅刻スルトキハ當日午前中所屬局課長ニ其ノ旨届出ツヘシ但シ病氣ノ爲缺勤一週間以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ差出スヘシ

第三十五條

職員缺勤スルトキハ其ノ擔任事務ノ狀況ヲ所屬課長ニ申報スヘシ
主務課長前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ他ノ職員ニ命シテ之ヲ處理セシメ苟モ事務ノ滯滞ナキヲ期スヘシ

第三十六條

職員其ノ住所ヲ移轉シ又ハ出向若ハ出張ノ爲メ出發又ハ歸着シタルトキ及改氏名轉籍其ノ他身分ニ異動アリタルトキハ即日所屬局課長ヲ經テ大臣ニ届出ツヘシ

第三十七條

第三十四條乃至第三十六條ノ場合ニ於テ輕易ナル事項ノ届出ハ口頭又ハ電話ヲ

以テ之ヲ爲スコトヲ得

第三十八條 本規程中「局課」トアルハ「大臣官房各課、遞信官吏練習所及遞信博物館、郵務局、電務局、工務局、電氣局、管船局、航空局、經理局、電氣試驗所、貯金局、簡易保險局、高等海員審判所」ヲ云ヒ「局課長」トアルハ「各其ノ長官、局長、課長、所長及館長」ヲ云フ

第三十九條 局課長ハ其ノ局課ニ於ケル事務取扱手續ヲ制定シ大臣ノ承認ヲ經テ之ヲ施行スルコトヲ得

附 則

本規程中電氣試驗所、貯金局及簡易保險局ニ施行シ得ヘキモノハ總テ之ヲ電氣試驗所、貯金局及簡易保險局ニ準用ス

本規程ハ大正六年十一月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

●文書取扱細則

(大正六年十一月十七日
官文達第四六六號)

- 第一條 本省ニ到達スル文書中親展ニアラサルモノハ總テ文書課ニ於テ之ヲ開披シ受付日附印ヲ押捺シ各其ノ主管ヲ別チテ之ヲ配付スヘシ但シ重要文書ニ付キテハ文書課長ノ査閲ヲ經タル上之ヲ配付スヘシ
- 前項重要文書ニシテ大臣次官ノ査閲ヲ經タルモノハ之ヲ封皮ニ入レ直接主管局長ヘ配付スヘシ
- 第二條 同一文書ニシテ二課以上ノ主管ニ屬スル事項ニ關スルモノハ關係多キ課ニ配付シ省內一般ニ關係アルモノハ文書課ニ於テ謄本ヲ作製シテ之ヲ配付スヘシ
- 第三條 收受文書ニ添付スヘキ書類、通貨、有價證券、印紙切手類又ハ物品等到達セサルトキハ當該文書欄外ニ其ノ旨ヲ附記シテ配付スヘシ
- 第四條 削除
- 第五條 親展文書ハ大臣宛ノモノハ之ヲ秘書課長又ハ秘書官ニ次官宛ノモノハ之ヲ秘書課長ニ其ノ他ハ名宛人ニ配付スヘシ
- 第六條 成案文書ニハ主務課ニ於テ記號及起案番號ヲ記載スヘシ
- 第七條 起案番號ハ起案ノ順序ニ依リ號ヲ逐テ之ヲ記入シ同一事件ノ成案ニ就テハ其完結ニ

至ルマテ最初ノ記號及起案番號ヲ襲用スヘシ
起案番號ハ歷年毎ニ之ヲ更新スヘシ但シ會計年度ニ依ルヲ必要トスルモノハ會計年
度毎ニ更新スルコトヲ得

第八條 同一起案番號ヲ數年ニ跨リ使用スルモノニ在リテハ最初ノ起案ノ年ヲ併記スヘシ

第九條 成案文書ハ左記各號ニ依リ之ヲ調製スヘシ

- 一 回議用紙ニ其ノ文案ヲ記載スルコト但シ輕易ナルモノハ帳簿ニ依リ又ハ其ノ文
書ノ餘白ニ朱記シテ決裁ヲ受クルコトヲ得
- 二 字體ハ邦文ニ依リ特殊ノモノノ外「ペン」及「インキ」ヲ用ヒ總テ楷書又ハ行
書ニ認ムヘシ

三 文體ハ電報文ニ準シ簡明ヲ主トスルコト

四 成案ニ附記スヘキ理由ハ關係ノ複雑ナルモノノミニ限リ要領ヲ箇條書トシテ記
載スルコト

五 冒頭表記ノ件名ノミニテ事態明瞭ナルモノハ本文中ニ其ノ件名ヲ記載セサルコ
ト

六 立案事項ヲ異ニスルモ同一文體ニ據リ處理シ得ヘキモノハ豫メ回議用紙ニ其ノ
文例ヲ印刷シ置キ件名、金額、人員等事件ニ依リ之ヲ異ニスルモノノミニヲ缺字

トシ使用ノ際適宜之ヲ記入スルコト

七 處分ヲ異ニシテ同一文例ニ據リ難キモノハ回議用紙ニ豫メ各種ノ例文ヲ印刷シ
置キ立案ノ場合其ノ該當ノモノノミニヲ使用スルコト

八 電報案ニ努テ簡略ヲ主トシ片假名ヲ以テ傍訓ヲ施シ且略號アルモノハ必ス之ヲ
使用スルコト

九 立案ニ關シ參照スヘキ事項ハ其ノ要領ヲ摘記シ法規類ノ改正ニシテ重要ナルモ
ノハ新舊條項ノ對照ヲ示スコト

第十條 成案文書ニ修正ヲ爲スニハ「ペン」又ハ毛筆ヲ用ヒ其ノ個所ニ證印スヘシ

第十一條 收受文書中處分ヲ要セサルモノハ之ヲ回覽トシテ處理スヘシ

第十二條 事故報告等ニシテ急速大臣次官ノ查閱ニ供スヘキモノハ回覽ノ手續ニ依ラス收受
ノ際其ノ謄本ヲ作製シテ直ニ之ヲ提出スヘシ

第十三條 收受ノ際已ニ大臣次官ノ查閱ニ供シタル文書ヲ單ニ回覽トシテ處理スル場合ハ再
ヒ之ヲ大臣次官ニ提出スルヲ要セス

第十四條 收受文書ヲ供覽ニ付スヘキ場合ハ本書ノ欄外余白ニ檢閱者捺印スルコトシ回覽用
紙等ヲ貼付スヘカラス

第十五條 成案文書中合議ヲ要スヘキモノハ關係ノ重キ局課ヨリ順次ニ合議スヘシ

第十六條

成案文書ノ再回ヲ要スルトキハ「要再回」トシ其ノ課名ヲ記載スヘシ
前項ノ文書ハ施行後主務課ニ於テ之ヲ再回スヘシ

第十七條

官報公報ニ掲載ヲ要スルモノハ成案文書ノ欄外ニ其ノ旨表示スヘシ

第十八條

電報、使送、書留郵便若ハ親展其ノ他特殊ノ取扱ヲ以テ發送スヘキモノハ成案文書ニ其ノ旨表示スヘシ

第十九條

秘密ヲ要スル成案文書ニハ欄外ニ「秘」ノ字ヲ記載シ且之ヲ封皮ニ容レ假封緘ヲ爲シテ受授スヘシ

前項封皮ノ表面ニハ大臣、次官名竝ニ其ノ查閱ニ供スヘキ局課長名ヲ記載シ查閱ヲ了シタルトキハ其ノ封皮ノ當該箇所ニ之ヲ表示スヘシ

第二十條

成案文書中特ニ急施ヲ要スルモノハ欄外上部ニ赤紙ヲ貼付シ期限若ハ期日アルモノハ之ヲ記載スヘシ

○官房文書課長ヨリ官房各課、館、所長、省内各局所長へ通牒(大正七、一一、文五四八)成案文書中赤紙使用節減ノ件

成案文書中特ニ急施ヲ要スルモノハ赤紙ヲ貼付スルノ規定ニ有之候處近來其使用濫雜ニ流ルルノ慮アルニ依リ爾今實際急施ヲ要スルモノノ外赤紙ヲ貼付セサル様處理アリタシ

第二十一條

成案文書ハ大臣ノ決裁ヲ經テ施行スヘキモノヲ甲トシ次官ノ決裁ヲ經テ施行スヘキモノヲ乙トス

第二十二條

文書課長ハ成案文書ノ輕重ニ依リ之ヲ乙ニ區別シテ決裁ヲ受クヘシ
大臣及次官不在ノ場合特ニ急施ヲ要スヘキ成案文書ハ主管局課長又ハ文書課長ニ於テ之ヲ後伺トシテ執行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ處理後速ニ承認ヲ受クヘシ

第二十三條

成案文書決裁ヲ經タルトキハ文書課ニ於テハ決裁濟日附印ヲ當該文書ニ押捺シ主務課ニ於テハ回議件名簿ニ其ノ旨登記スヘシ

第二十四條

文書ノ淨書ハ例文用紙又ハ「タイプライター」ヲ使用スヘシ毛筆又ハ「ペン」ニ依リ筆書スル場合ハ楷書若ハ行書ニ依リ之ヲ認ムヘシ

第二十五條

主務課ニ於テ淨書前又ハ發送前當該決裁文書ノ回付ヲ受ケムトスルトキハ豫メ成案文書ノ欄外ニ「決裁後主務課戻」又ハ「淨書後主務課戻」ト表示スヘシ

第二十六條

前條ニ依リ回付ヲ受ケタル文書ハ即日之ヲ文書課ニ返付スヘシ

第二十七條

成案文案ヲ淨書シタルトキハ當該文書ニ記載セル記號及起案番號ヲ其ノ本書及封皮ニ記載シテ之ヲ發送スヘシ

第二十八條

文書取扱細則

文書發送ニ付特ニ指定アルモノハ其ノ指定ニ依リ其ノ他ハ種類ニ依リ通常郵